

# 思考力・判断力・表現力を育成する小学校社会科学習の在り方

～問題解決的な学習を取り入れた授業実践と評価の工夫を通して～  
(2年次)

小学校社会科において、1年次の研究では、4段階の学習過程を「気付く・調べるⅠ・調べるⅡ・まとめる」とし、調べ方、考え方、学び方について学ぶための学習形態を取り入れた問題解決的な学習に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力の育成を図った。

2年次の研究では、更なる学習形態を工夫すると同時に、思考の視点や観点を与える資料やワークシートを活用した授業実践を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図った。あわせて、事前に設定したルーブリックを活用したパフォーマンス評価による思考力・判断力・表現力の評価を試みた。

その結果、子どもは、習得した知識を比較、関連付け、総合して思考するようになり、社会的概念を自分の言葉で表現する力を形成することが分かった。また、適切なルーブリックを活用することで、パフォーマンス評価は、より客観性と信頼性の高い評価となることも確認できた。

## 研究会委員

尾張旭市立城山小学校教諭	坪井 隆博 (平成 23・24 年度)
愛西市立西川端小学校教諭	山田 剛史 (平成 24 年度)
知立市立知立西小学校教諭	橋本 宰 (平成 24 年度)
総合教育センター研究指導主事	佐々木佐知子 (平成 23・24 年度主務者)

## 1 はじめに

小学校学習指導要領解説社会編(平成20年8月)では、改善の具体的事項の中で、実際の授業では、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習をいっそう充実させることや、観察・調査や資料活用を通して必要な情報を入手し的確に記録する学習、それらを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習など言語活動の充実を図る必要があることが述べられている。

1年次の研究では、小学校社会科における思考力・判断力・表現力を育成するために、4段階の学習過程を設定し、学年の発達段階に応じた問題解決的な学習に取り組んだ。4段階の学習過程とは、問題解決的な学習の過程である「問題設定・問題追究・問題解決」を「気付く・調べるⅠ・調べるⅡ・まとめる」としたもので、調べ方、考え方、学び方について協同学習の形態を取り入れた授業実践を行い、調べたことを比較・関連付け・総合しながら再構成したり、考えたことを自分の言葉でまとめ、交流して更に考えを深めたりした。そして、客観性、妥当性の信頼度が高いと言われているパフォーマンス評価による思考力・判断力・表現力の評価を試みて、その成果の分析をした。

## 2 1年次の研究の成果と改善項目

### (1) 問題解決的な学習による成果

子どもは、4段階の学習過程「気付く・調べるⅠ・調べるⅡ・まとめる」を通して、問題解決的な学習に意欲的に取り組むとともに、表面的な知識の習得ではなく、知識を比較、関連付け、総合して思考することや社会的概念を自分の言葉で表現する力を形成することが分かった。

### (2) 継続研究が必要である項目とその改善策

思考力・判断力・表現力の育成のための更なる授業改善の工夫として、以下の改善策を考慮して社会科学学習の在り方を探る。

#### ① 学年の発達段階を考慮した目標の設定

- ・問題解決的な学習における4段階の各学習過程について、学年の発達段階及び扱う学習内容に応じた目標を明確にして実践を行う。

#### ② 学習問題の設定に向かわせる単元の導入の工夫

- ・単元の導入における工夫を行い、子どもの学習意欲を喚起し、主体的に学習に向かわせるとともに、学習が見通せるような問題の選択、把握など学年に合う設定の仕方を検討する。

#### ③ 記入しやすいワークシートの工夫

- ・調べ方やまとめ方の学び方を指導するため、問題追究のヒントを示したワークシートを作成する。
- ・協同学習での学びにおいて、自分の考えと友達の考えを自分の言葉で記入できるようにする。

#### ④ 評価の仕方の検討

- ・観点「思考・判断・表現」の評価は、単元終了時の事後テストとその2か月後の保持テストを実施して、学習指導の目標に照らし合わせて実現状況を判定する。この二つのテストは、ルーブリックを設定したパフォーマンス評価で行う。

## 3 研究の目標

思考力・判断力・表現力を育成する小学校社会科では問題解決的な学習の充実が求められている。実社会に生きて働く問題解決能力を育てることもねらいの一つであるが、主体的に学ばせるための学習方法としても重視されているからである。主体的に学ぶ社会科学学習では、子どもが各単位の中で自ら問題を選択し、把握し、それについての自分の考えをもつことができる。

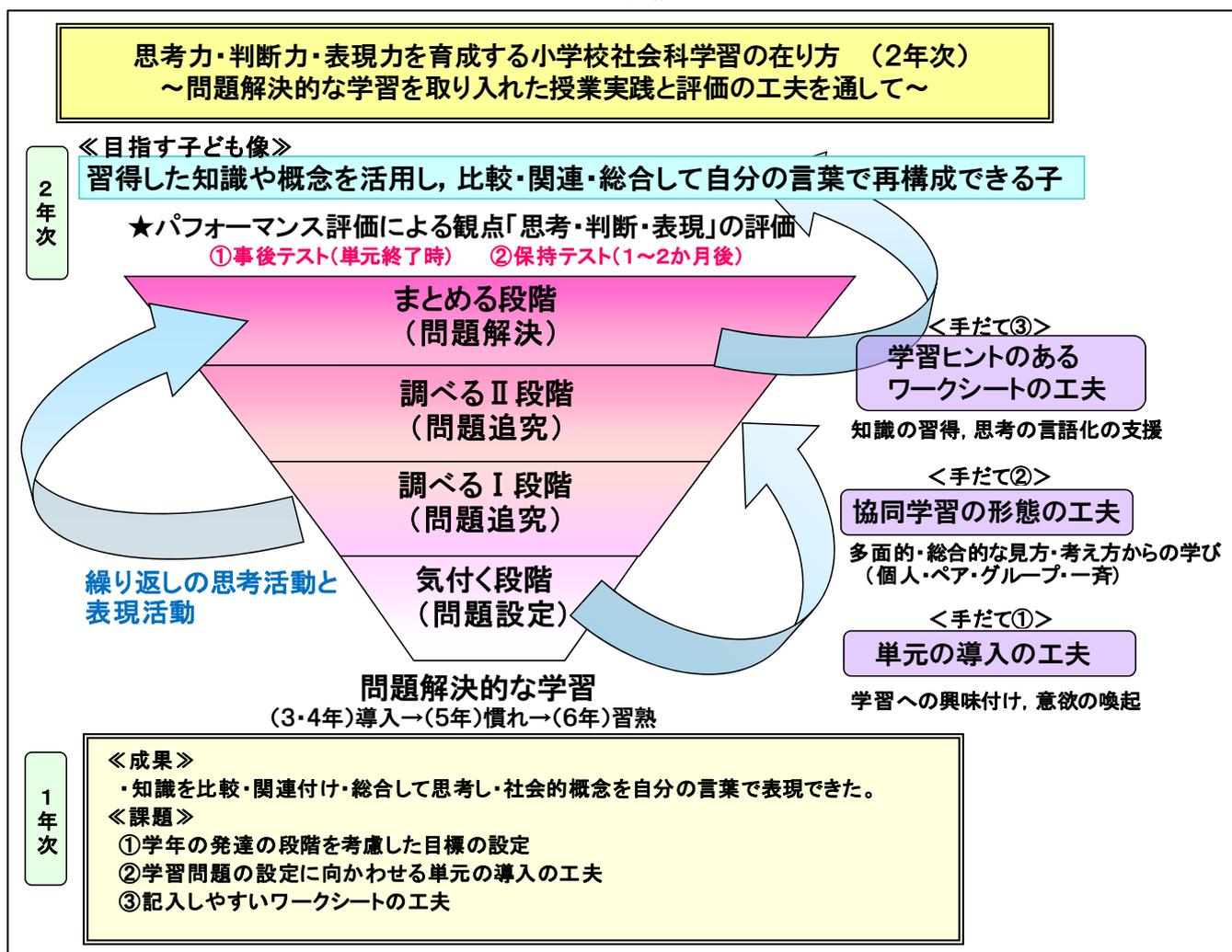
また、その考えについて、教科書や資料などで調べた根拠を基にして友達に伝える機会をもつことができるとともに、友達の考えや意見と比較・関連付け・総合して考えを再構成することも多くなる。

さらに、子どもは、自分の考えや意見を内言としてまとめてはっきりさせてから、友達や全体に発

表することにつながり、自信をもつことができるようになる。つまり、問題解決的な学習は、思考活動と表現活動を繰り返し行うことができる学習方法であり、思考力・判断力・表現力の育成ができると言える。そして、思考力・判断力・表現力の育成ができたかどうかについては、子どもが学習内容等に即して思考や判断したことを可視化できるように表現させ、ルーブリック（判定基準）に照らし合わせて評価するパフォーマンス評価を実施して判定する。ルーブリックとは、子どもの学習の実現状況の度合いを示す数段階の尺度と、それぞれの尺度に見られる学習の質的な特徴を示した記述語から構成されたものである。

そこで、2年次の研究では、図1の構想のように、1年次の成果と課題を基に、思考力・判断力・表現力を育成するために、学年の発達段階を踏まえ4段階の学習過程、協同学習やワークシートの工夫を行った問題解決的な学習の在り方について、評価法を通していっそう研究の深化を図る。

図1 2年次の研究構想



(1) 目指す子ども像

- 「習得した知識や概念を活用し、比較・関連・総合して自分の言葉で再構成できる子」
- 《3・4年生》 学習問題を把握して、体験を通して調べ、問題の答えとして考えを短い文で書き表すことができる子
  - 《5年生》 学習問題を導き出して、体験や調べたことから分かったことを伝え合い、考えを論述することができる子
  - 《6年生》 学習問題を導き出して、その問題に対する予想をし、調べたことから分かったことや考えたことを伝え合い、その考えを再構成させて論述できる子

(2) 研究の仮説

- ①小学校社会科の学習において、学年の発達段階を踏まえて4段階の学習過程を設定し、話し合い活動とワークシートを活用した問題解決的な学習を展開すれば、子どもは社会的事象についての思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。
- ②パフォーマンス評価において、適切なルーブリックの設定をすることにより、思考力・判断力・表現力の客観性、信頼性の高い評価ができるであろう。

(3) 具体的な手だてと検証方法

	具体的な手だてと期待できる効果 (*学習過程)	検証方法	
①	<b>単元の導入の工夫</b> *「気付く」段階 ・学習問題を意欲的に把握、導き出して追究・解決のための学習計画を立てることができる。	・意識調査 ・事後感想 ・目標の達成度	（事後テスト・パフォーマンス評価 ・保持テスト）
②	<b>協同学習の形態の工夫</b> *「調べるⅠ」「調べるⅡ」「まとめる」段階 ・問題追究から得た考えと友達の考えを比較・関連付け・総合しながら交流し、共通点や相違点を見いだすことができる。	・意識調査 ・事後感想 ・目標の達成度	
③	<b>思考を促すワークシートの工夫</b> *「調べるⅠ」「調べるⅡ」「まとめる」段階 ・学習内容の基礎・基本を習得することができる。 ・分かったことから考えを導き出し、社会的事象の概念や意味を自分の言葉で表現することができる。	・理解への役立ち度 ・事後感想	

(4) 各学年の学習段階及び学習過程

学年	学習の段階
3・4年	基本的な問題解決的な学習の仕方の導入段階
5年	問題解決的な学習に慣れる段階
6年	問題解決的な学習を習熟する段階

各学年の具体的な学習過程の内容及び指導の留意点については、以下に示す。

《3・4年》

学習過程	主な学習内容・指導の留意点
気付く	・提示した数個の問題の中から自分の調べたい問題を選択させる。
調べるⅠ	・資料の読み取り方、見学の視点や見学のマナーを指導する。 ・自分の見学したことを見学シートに記入させる。見学後、ペア学習中心で分かったことや自分と友達の考えを比較し、互いの意見の長短を検討させる。
調べるⅡ	・グループ学習で他のグループの意見や考えをよく聞き、自分のグループで調べて分かったことと比較・関連付けをして考えを広げさせる。
まとめる	・学級全体で話し合い、本単元で分かったことを文や絵にまとめさせる。 ・地域における生産や販売などについて、それぞれの立場から願いや思いを考えさせる。

《5年》

学習過程	主な学習内容・指導の留意点
気付く	・単元全体を概観して、自分の追究したい問題を1～2選択させる。
調べるⅠ	・ペア学習中心に自分の考えと友達の考えを図表や文章に整理して、課題を追究する。友達と意見や複数の資料を比較・関連付けさせて自分の考えをもたせる。
調べるⅡ	・グループ学習で他のグループの意見や考えをよく聞き、考えを交流させて社会的事象の概念化を図る。各グループは他のグループが追究し、発表した内容について、自分のグループで追究した問題と比較・関連付けして質問する。
まとめる	・学級全体で話し合い、本単元で分かったことを文や図にまとめさせる。 ・生産者と消費者のそれぞれの願いを考えさせる。 ・学級全体の交流の場で、産業は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを確実に理解させる。

《 6 年 》

学習過程	主な学習内容・指導の留意点
気付く	・単元全体を概観させ、自分の追究したい問題を2～3選択させる。
調べるⅠ	・ペア学習中心に自分の考えと友達の考えを図表や文章に整理して、問題を深く追究する。 ・友達と複数の資料を比較・関連付け・総合して自分の考えを再構成させる。 ・考えを交流させて意見の長短を検討する。
調べるⅡ	・グループ学習で他のグループの意見や考えをよく聞き、考えを交流させて歴史的事象や登場人物の業績について捉え直させる。 ・各グループは他のグループが追究し、発表した内容について、自分のグループで追究した問題と比較・関連付け・総合させて質問させる。
まとめる	・歴史的事象や登場人物の業績を自分の言葉で文章にまとめて表現させる。 ・支配者と被支配者のそれぞれの願いを対立させて考えさせる。 ・学級全体の交流の場で、歴史的事象や登場人物の業績を確実に理解させる。

#### 4 研究の方法

##### (1) パフォーマンス評価による思考力・判断力・表現力の育成における成果の測定

思考力・判断力・表現力の評価には、結果の判定に客観性、妥当性の信頼度が高いパフォーマンス評価がよいと言われている。子どもの思考活動には、より多くの社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能が必要である。習得した知識や概念を活用して、社会的事象や歴史的事象を的確に説明し、的を射た解答であるかどうかについて、あらかじめ判定基準を設定する評価法である。判定基準としてルーブリックを使用するので、多くの判定者が判定してもズレが少ない。この評価法は、単元終了時や学期末に実施するが、やや長いスパンで行わないと、暗記力や記憶力のある子どもにとって知識・理解の測定になる可能性が大きいと考えられるため、単元終了後1～2か月程度で実施する。また、評価問題にも配慮したい。ここでは、パフォーマンス課題を設定して実施する。パフォーマンス課題とは、習得した知識や概念を比較・関連付け・総合して使いこなしながら表現することを求めるような問題のことである。

観点「思考・判断・表現」の評価については、検証授業で表1のように単元中と単元末、単元終了後に行う。単元中には、ワークシートの記述内容の状況から次の学習活動へと「指導に生かす評価」を行い、単元末では、単元全体を通して学習した問題のまとめの記述内容から「記録に残す評価」を実施する。授業例では、仮説の検証のため、それぞれルーブリックを設定し、その達成度から判定するパフォーマンス評価を用いるが、実際の授業において「指導に生かす評価」は教師の観察とする。

本研究では、単元終了時の事後テストとその1～2か月後の保持テストを実施し、二つのテストの結果を比較、分析することにより、問題解決的な学習過程による思考力・判断力・表現力の育成の有効性を検証する。事後テストと保持テストは同様の問題で実施し、パフォーマンス評価をする。

表1 観点「思考・判断・表現」の評価時期及び方法

評価時期	評価方法及び評価内容
単元中	ワークシートの記述内容の変容及び事実(☆指導に生かす評価)
単元末	ワークシートのまとめの記述内容または発表内容(★記録に残す評価)
事後テスト(単元終了時)	単元の社会的事象についてのパフォーマンス課題を設定する。パフォーマンス課題とは、単元全体を通して学習した問題について、用意したいいくつかの用語を活用して社会的事象を説明させる設問である。また、段階別の模範解答例のルーブリックを設定して評価する。
保持テスト(1～2か月後)	事後テストと同様の方法及び内容で実施する。

また、表2「一般的な模範解答のルーブリック例」として、観点「思考・判断・表現」の判定基準の例を挙げ、実践の中で取り入れていくことにする。この観点での評価は、量的・質的の両面から進めていく必要があるという1年次の研究の結果を踏まえて作成したものである。ただし、ルーブリック

クの例は、授業者及び学校の実態に合う方法で活用する。

表2 観点「思考・判断・表現」の一般的な模範解答のルーブリック例

学年	段階	模範解答例	使用する用語数
3年 ・ 4年	A	複数（双方向）の立場（販売者と消費者，生産者と消費者，昔の暮らしと今の暮らし，地域事業と市民生活）から2文以上で比較して，それぞれ論述していて内容も正確である。	4以上の用語
	B 1	一方の立場から2文で比較して論述していて，内容も正確である。	2～3の用語
	B 2	複数（または一方）の立場から2文で比較して論述しているが内容が矛盾している。（どちらか1文は正確に記述されている）	2～3の用語
	C	一方の立場に立って論述しているが事実が誤っている。 一方の立場に立って論述しているが正しくまとめられない。 無答である。	0～1の用語
5年	A	複数（双方向）の立場（生産者と消費者，情報産業と国民生活）から2文以上で比較，関連付けて，それぞれ論述して内容も正確である。	4以上の用語
	B 1	一方の立場からの2文で比較，関連付けて論述して内容も正確である。	2～3の用語
	B 2	複数（または一方）の立場から2文で比較，関連付けて論述しているが内容が矛盾している。（どちらか1文は正確に記述されている）	2～3の用語
	B 3	一方の立場から比較，関連付けて1文で論述していて内容も正確である。	2～3の用語
	C	一方の立場に立って論述しているが事実が誤っている。 一方の立場に立って論述しているが正しくまとめられない。 無答である。	0～1の用語
6年	A	複数（双方向）の立場 {支配者（将軍，大名）・政府と被支配者（農民，町人）・国民} から2文以上で比較，関連付け，総合してそれぞれ論述して内容も正確である。	4以上の用語
	B 1	一方の立場からの比較，関連付け，総合して2文以上で論述していて内容も正確である。	2～3の用語
	B 2	複数（または一方）の立場から比較，関連付け，総合して2文で論述しているが内容が矛盾している。（2文のうち，どちらか1文は正確に記述されている）	2～3の用語
	B 3	一方の立場から比較，関連付け，総合して，1文で論述していて内容も正確である。	2～3の用語
	C	一方の立場に立って論述しているが事実が誤っている。 一方の立場に立って論述しているが正しくまとめられない。 無答である。	0～1の用語

※B段階では，使用する用語数が2以下の場合，B 1～B 2またはB 3の段階を，Bのみとする。

## (2) 単元構成

問題解決的な学習過程は，「つかむ→調べる→まとめる」を基本形として先行研究として実践されている（表3）。「社会科における指導力の向上と授業研究の充実」（『初等教育資料』平成23年8月号）の中で，澤井陽介氏は問題解決的な学習を充実させるために大切な学習活動を見いだす必要があることを述べ，以下のような学習活動を盛り込んで指導計画を作成し，子どもの育つ学力を意図した指導を示している。

表3 問題解決的な学習における基本的な単元構成

学習過程	主な学習内容
つかむ段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査活動や資料活用を行って事実を集め、そこから問題を見いだす。</li> <li>・学習問題に対する予想をもち、追究や解決のための学習計画を立てる。</li> </ul>
調べる段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題の追究や解決に必要な情報を自力で集めたり読み取ったりする。</li> <li>・それらの情報から一つ一つの社会的事象の様子を理解する。</li> </ul>
まとめる段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を整理したりまとめたりすることで、比較・関連付け・総合などの思考を働かせ、社会的事象の意味や特色、相互の関連を考え、理解する。</li> <li>・学んだことを踏まえて、よりよい社会を考えようとする。</li> </ul>

こうした学習活動を盛り込んだ指導計画として、本研究では単元の学習過程を「気付く・調べるⅠ・調べるⅡ・まとめる」の4段階として行う(表4)。調べる段階を2段階にしているのは、情報を収集して考えをまとめることと、協同学習の中で交流活動をし、学びを深めるとともに、考えの相違や類似に気付かせることを目指している。

表4 本研究における問題解決的な学習における基本的な単元構成

学習過程	主な学習内容
気付く段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人が単元の社会的事象について、調査や資料等から興味・関心をもち、学習問題を把握したり、選択したりする。</li> <li>・個人がその学習問題に対して予想をし、追究のための学習計画を立てる。</li> </ul>
調べるⅠ段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人またはペアまたはグループで学習問題を見学、観察、さまざまな資料等から必要な情報を選択して見付けたり、読み取ったりする。</li> <li>・学習問題について、根拠や理由を付けてワークシートに自分の考えや意見をまとめる。</li> </ul>
調べるⅡ段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアまたはグループ学習で、自分と友達の考えを比較、関連付け、総合して考える。また、ワークシートに自分と友達の考えを分けて書き、相違点について話し合い、その要因を見いだす。</li> <li>・グループ学習で、発表を聞き質疑応答しながら学習問題の解決を図り、一つ一つの社会的事象の多面性を理解する。</li> </ul>
まとめる段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体で学習問題について整理したりまとめたりして概念化を図る。</li> <li>・本単元の社会的事象についての意味や特色、相互の関連を考え、理解と関心を深める。</li> </ul>

### (3) 気付く段階での導入の工夫

気付く段階(問題設定)の学習問題は、「社会科における指導力の向上と授業研究の充実」(『初等教育資料』平成23年8月号)の中で先行研究による分類例が表5のように提示されている。

表5 学習問題の設定のための分類例

型	学習のねらい	例
どのように・どのような型	事実(社会的事象)を丹念に調べる。	どのように…しているのだろうか どんな…があるのだろうか
なぜ・どうして型	理由を考えることで社会的事象の意味に気付かせる。	なぜ…のだろうか どうして…のだろうか
どうすれば・どっちが型	学んだことを根拠にした判断を求めることで社会的事象をより自分に関わることとして捉えさせたり、考えを深めさせたりする。	…のためにどうすればよいのか どっちが…のだろうか

単元構想に当たっては、それぞれの機能を踏まえ、より効果的な学習問題を設定することにより、子どもに考えさせる指導内容を計画する。

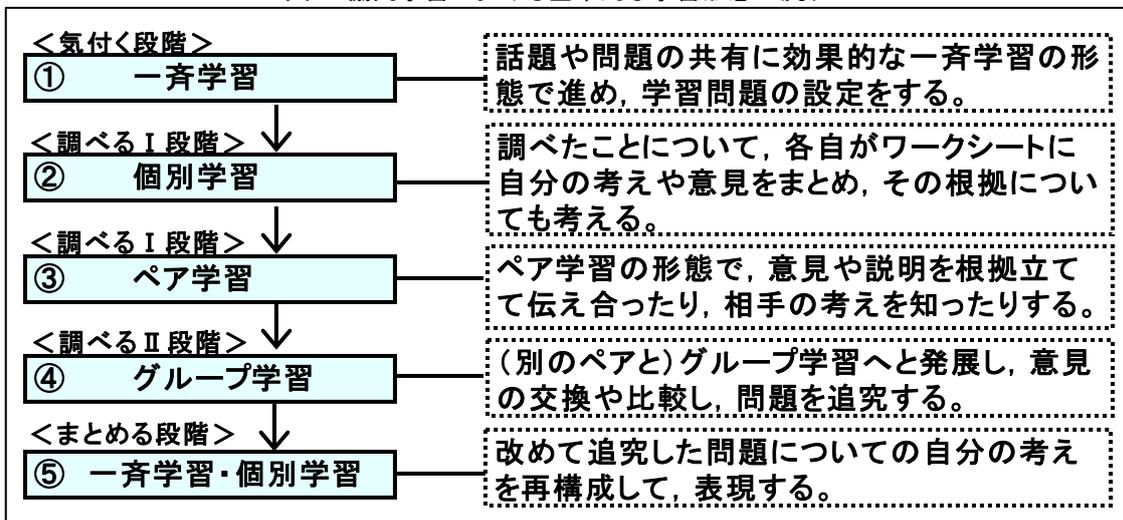
また、単元を見通せる学習問題を設定できるように、単元の導入段階での資料提示を工夫し、資料の読み取りから「なぜだろう。調べたい」「どのようになっているのだろうか」という疑問が生まれるようにしていく。そして、教材に興味・関心をもち、学習に対する意欲を喚起し、主体的に学ぼうとする姿勢を育てていく。

#### (4) 学年の発達に応じた話し合いの仕方の習熟

思考力・判断力・表現力の育成を図るためには、どのような考え方や表現の仕方を求めるのか、十分に意識して指導することが大切である。1年次の問題解決的な学習での学習過程では、友達との交流が問題を解決する大切な場になっていることが分かった。問題解決的な学習の過程において、調べた事実を基にして考え、考えたことをお互いに表現し合い、自他の考えを比較し、再度自分の考えを見直すことができるような学習場面を取り入れる。このような他者との表現活動は、考え方の視野を広げ、多面的に物事を考察する力を養うことができるからである。

しかし、1年次では、初めての問題解決的な学習への取組のため、よりよい協同学習を見いだすことができなかった。2年次の実践では、図2の学習形態を基本にして、学習内容や学年の系統を考慮に入れてよりよい協同学習の在り方を見いだしたい。特に、2年次ではペア学習も取り入れ、自分の考えを気軽に話すとともに、他の考えを尊重するという態度を養いたい。また、グループ学習や一斉学習では、更に自他の考えとその理由や根拠を明確にして意見交換を行い、その考えを比較・関連付け・総合して自分の考えを再構成させる。

図2 協同学習における基本的な学習形態の流れ



また、「話し合いの仕方」として、学年に応じた話型(表6)を取り入れながら協同学習に役立たせるようにする。

表6 取り入れたい基本的な学年別の話型

考え方や表現の仕方	発言の仕方(例)	34年	5年	6年
比較(対比)	〇〇と◇◇とを比較すると、……というところが、よく似ています(違います)。	●	●	●
関連付け	〇〇と◇◇は、……というところが同じです。 〇〇と◇◇は、……というところで違います。 〇〇と◇◇は、……というところで関連しています。	●	●	●
総合	……は、まとめて言えば〇〇です。 ……は、つまり〇〇です。			●
理由付け	(～と考えると)なぜなら、……だからです。	●	●	●
列挙	……について、〇つのことが考えられます。 一つ目は、……です。 二つ目は、……です。		●	●
立場から	～の立場から考えると～です。 ～側では……だと考えられます。			●

調べたことや考えたことを表現することによって子どもは、自分の調べたことを確かなものにした

り、新しい事実や意味に気付いたり、新しい課題に出会ったりして、自分の考えを練り上げていくことができる。特に、話し合いでは、互いの考えを出し合いながら、よりよい考えをつくり出していくことができる。そして、話し合いを通して、互いの違いを認め合いながら合意を形成することによって、社会に参画していく資質や能力を育成していくことにもつながる。

ここでは、調べたことを考え、表現するために、「比較・関連付け・総合する」と「多面的に捉える」ことを取り上げる。比較は、自分が調べた二つ以上の事実や友達の考えを比べること、関連付けは、比較したことから共通点や差異点を見付け出すこと、総合は、調べた情報や友達の考えなどから、どのようなことが言えるかを自分なりに考えて表現することとする。その他、多面的に捉えるため、自分とは違う考え方や違う視点などを取り入れながら考え、表現できるようにする。また、その考えに至ったのはなぜかという理由や根拠を明らかにして表現する。

これらの話型を活用しながら、学年の発達段階に応じた話し合いの仕方を習熟させていく。

さらに、話し合いの態度として、相手の立場に立って真剣に聞くことや考えの相違点を理解し合えるようにするとともに、調べたことをまとめて伝えることができるようにする。

そして、協同学習としての話し合い活動では、表7の身に付けたい話し合いのルールを子どもに指導しながら、互いの違いを認めながら合意形成ができるようにもしていきたい。

表7 各学習形態における身に付けたい話し合いのルール

学習形態	話し合いのルール
ペア学習	①自分の予想、考え、分かったことを理由や根拠を明確にして相手に話す。 ②友達の予想、考え、分かったことを最後まで真剣に聞く。 ③互いに意見や考えの相違点を理解し合えるように相手を尊重して話し合う。 (一方的に自分の意見、考え等を主張したり、押し付けたりしない)
グループ学習	①②③と ④異なる意見や考え、分かったことについて、その理由や根拠を資料や教科書等の出典を明確にして話し合う。 ⑤異なる意見や考え、分かったことについては、互いの考えを尊重し、他のメンバーを傷付ける発言を慎むようにする。 ⑥グループ全員がコーディネーター（調整）役やファシリテーター（発言を促したり、まとめたりする）役を体験する。
学級全体の話し合い	①②③④⑤と ⑥（グループによる発表の場合）グループの意見、考えを分かりやすく、文や絵、時には動作で発表するために、リーダーを中心にみんなの意見として、まとまった事柄と違っている事項を明らかにする。

#### (5) ワークシートの改良

1時間の授業の終了時や単元の最後に、学年に応じてある程度まとまった文章を書く活動を取り入れられるようなワークシートを作成する。話し合いや討論から分かった事実だけでなく、自分の考えも入れて記述できるようにする。また、書くことによって自分の考えを明確にし、書いたことを基に話し合っ、考えを深めるようにする。

- ・学習過程が見通せるようなヒントの多いワークシートを使用する。
- ・自分と友達の考えをそれぞれ記入できる欄を設け、共通点や差異点ができるように作成する。
- ・子どもの内言（つぶやき）を記入できる欄を設け、多様な考えを吟味しながら自分で意思決定していく力を身に付けさせる。

## 5 検証授業

3年と6年の3実践で検証授業を行い、問題解決的な学習における仮説の有効性を検証する。

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| ① 3年 単元名「店ではたらく人々の仕事」     | 愛西市立西川端小学校 |
| ② 6年 単元名「武士の世を安定させたのは誰だ！」 | 知立市立知立西小学校 |
| ③ 6年 単元名「明治の国づくりを進めた人々」   | 尾張旭市立城山小学校 |

## 【検証授業Ⅰ】

愛西市立西川端小学校 3年

### 1 単 元 店ではたらく人々の仕事

#### 2 単元について

本学級の児童は、男子10名女子17名の合計27名の学級である。1学期に実施した校区探検では、校区内にある神社、寺社、工場を訪ね、そこにある建物の使い方や目的について興味をもち、自ら進んで調べたり、質問をしたりする姿が多く見られた。自らの中に芽生えた小さな疑問を大切にし、より深く学んでいこうとする意欲をもつ児童が多く見られる。

本単元では、学区近くにあるスーパーマーケットAを取り上げていく。このスーパーマーケットは、ほとんどの児童が行ったことがあり、保護者とともに買い物をする経験もあって、児童の生活の中にとっても身近な場所であると言える。しかし、スーパーマーケットは、児童にとって商品が置かれていて、それを購入するだけの存在であり、販売側の工夫や願い、商品が店に並べられるまでの経緯、消費者が利用する理由などについて、目を向けることもない場所である。このスーパーマーケットを調べる学習を通して、地域の人々の販売に関わる仕事は、自分たちの生活を支えていることや販売に携わっている人々の工夫や他地域との関わりについて気付かせるには、よい教材であると考えられる。

本単元では、問題解決的な学習に取り組んでいく。児童が学習問題を設定し、見学をして調べたり、話し合ったりして問題追究をしていく。そして、児童は与えられた問題を要領よく処理するだけでなく、自ら学ぶという姿勢を大切に、自ら問題を発見するという力を伸ばしていきたい。その上で、問題をどのような方法で追究していくかを知り、見学や体験を通して問題解決するための情報収集し、活用する力を高めていくことを目指していきたい。

#### 3 単元目標と評価規準

##### (1) 単元目標

地域には、販売に関わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや販売に携わっている人々の工夫や他地域との関わりについて具体的に考え、理解するとともに、調べたことや考えたことを表現する。

##### (2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評価 規 準	① 地域の人々の販売の仕様の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ② 地域の人々の販売の仕事について、自分たちの生活との関わりを考え地域社会の一員としての自覚をもとうとしている。	① 地域の人々の販売の仕様の様子について、学習問題について予想をし、追究している。 ② 地域の人々の販売の仕事に携わる人々の工夫を、自分たちとの生活と関連付けて考え、適切に判断し、表現している。	① 地域の人々の販売の仕様の様子について、見学・調査して情報を収集し、販売者の工夫を読み取っている。 ② 地域の人々の販売の仕事の様子について、見学・調査したことを絵や地図などを用いて、分かりやすくまとめている。	① 地域の人々の販売の仕事は、自分たちの生活を支えていることを、消費者の工夫と関連付けて、理解している。 ② 地域の人々の販売に関わる人々の工夫や他地域とのつながりがあることを理解している。

(3) 単元計画と評価計画 (12 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
<p>気付く【斉】①</p>	<p>○ 買い物調べた結果を、学級全体の買い物地図や棒グラフにまとめ、気付いたことを話し合い、学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物した店と理由をグラフにまとめる。</li> <li>・グラフを見て、気付いたことを話し合う。</li> </ul>	<p>関① 家の人の買い物に関心を持ち、買い物した場所や行く理由を調べている。</p>	<p>・家の人の買い物に関心を持ち、買い物した場所や行く理由を具体的に調べている。</p>
<p>スーパーマーケットAの人気のひみつを探りだそう！</p>			
<p>調べるI【ペア】【グ】②【グ】③④【斉】⑤</p>	<p>○ スーパーマーケットを見学する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題を解決するためには、何を調べればいいのかを話し合う。</li> <li>・消費者の立場に立ち、実際に買い物し、消費者の立場に立って、店の工夫についてイメージをもつ。</li> </ul> <p>○ スーパーマーケットを見学し、自らが買い物をし、消費者様の視点からスーパーマーケットを考える。</p> <p>[売り場の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の種類ごとに分類されている。</li> <li>・安売りのセールをしている。</li> </ul> <p>[働く人の様子]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジの人が忙しそうだね。</li> <li>・品物を運ぶ人や、店の奥で何かをしている人がいる。</li> </ul> <p>○ 見学のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店の様子について気付いたことを、カードに書いて発表する。</li> <li>・店内だけでなく、店の奥にも多くの人々が働いていることにも気付いて発表する。</li> </ul>	<p>思① 学習計画の説明を受け、店に行く理由に目を向け、追究・解決しようとしている。</p> <p>技① 見学の視点に基づき、店内で働く人を取材したり、その様子を観察したりして情報を記録している。</p> <p>技① 買い物を通して、消費者の立場から店の工夫を読み取っている。</p>	<p>・学習計画の説明を受け、店への見学の視点を意識し、自分なりの視点で追究・解決しようとしている。</p> <p>・見学の視点に基づき、自分の予想を生かしながら、店内で働く人を取材したり、その様子を観察したりして情報を記録している。</p> <p>・買い物を通して、消費者の立場から店の工夫について、売り場の様子など具体的に読み取っている。</p>

<p>調べるⅡ【グ】⑥⑦⑧【個】⑨【齊】⑩⑪</p>	<p>○ スーパーマーケットの見学をする計画を立てる。          ・店の奥で仕事をしている人          ・販売者のよりよい商品を消費者に届けるための工夫          ・各売り場の工夫の違い</p> <p>○ スーパーマーケットの見学をする。          ・店長の話を聞き、質問をする。          ・商品が置かれている倉庫          ・店の奥での働き          ・各売り場の工夫や宣伝・広告の工夫          ・調べるテーマ以外に気になったことの記録</p> <p>○ さまざまな店の工夫についてまとめる。          ・各売り場で働いている人の工夫          ・商品の並べ方の工夫          ・店の外の工夫          ・宣伝の工夫</p> <p>○ 店の工夫について発表する。</p> <p>○ 商品を通して、自分たちの生活とさまざまな地域とのつながりを考える。</p>	<p>思① 調べるテーマから、スーパーマーケットの工夫について質問を考えている。</p> <p>技① 見学の視点に基づき、店内で働く人の工夫や努力を取材したり、観察したりしてまとめている。</p> <p>思② スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に、販売者側の視点から考え、まとめている。</p> <p>知② 商品を通して、販売の仕事は自分たちの生活や他地域との関わりがあることを理解している。</p>	<p>・調べるテーマを意識し、自分の予想を生かしながら、スーパーマーケットの工夫について、具体的な内容で質問を考えている。</p> <p>・見学の視点に基づき、自分の予想を生かしながら、店内で働く人の工夫や努力を取材したり、観察したりしてまとめている。</p> <p>・スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に、販売者立場と消費者の立場を関連付けて考え、まとめている。</p> <p>・商品を通して、販売の仕事は自分たちの生活や他地域との関わりがあり、それらのつながりは不可欠なものであることを理解している。</p>
<p>まとめる【個】【齊】⑫</p>	<p>○ スーパーマーケットに多くの人がある理由を学習したことを基に発表する。          ・スーパーマーケット見学のお礼の手紙の中に、お店の工夫をまとめる。</p>	<p>思② スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いていることに気付いて表現している。</p>	<p>・スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いている理由を考えると、自らが消費者として気を付けなければならないことを考え、表現している。</p>

【齊】一斉学習 【個】個別学習 【ベ】ペア学習 【グ】グループ学習

#### 4 指導実践事例 調べるⅡ（問題追究）【一斉】⑩

##### (1) 目標

発表を通して、捉え直した店の工夫について、自分の考えを自分の言葉で表現することができる。  
(思考・判断・表現)

##### (2) 準備

教師 見学したときの写真，ワークシート

児童 発見カード

##### (3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
2	1 本時の学習課題を知る。	・課題を思い出せるように見学の時の写真を提示する。
	スーパーマーケットAは、どんな工夫をしていたのでしょうか。	
33	2 見学で見つけた工夫を発表する。 魚売り場の工夫 ・魚を使いやすいように切って売る。 ・似た種類の魚を並べない。 肉売り場の工夫 ・肉と一緒に使う商品を近くに置く。 ・賞味期限まで短いほど値段が安い。 お店の外や裏の工夫 ・中にいる人と外で販売している人は服装が違う。清潔にしている。 ・きれいに掃除がされている。掃除をしている人がいる。 ・トレイ入れがある。 ・カートを運んでいる人がいる。 商品の並べ方の工夫 ・斜めに商品を置いて見やすくしている。 宣伝の工夫 ・店内放送で目玉商品を呼びかけている。 ・店の周りにのぼりを立てている。 ・入口に広告を貼っている。 ・数字の色や大きさを変えて、値段を示している。 店員さんの工夫 ・目玉商品は手の届きやすい棚の高さに並べている。 ・肉や魚は店の奥で売っている。	・児童が考えやすいように、分類する。 ・友達の見解を聞くように声をかける。 ・見つけた工夫を発表するときに、その理由も発表するように声をかける。 ・同じ意見や似ている意見から発表するように促し、その関連性に気付かせる。 ・児童が発表した内容が、他の児童に伝わりにくい場合は、写真を提示して確認をする。 ・清掃をしている人など、裏方で働いている店員に気付くことができない場合には、写真を提示する。 ・ゴミ置き場やトレイ置き場に意見が出た時には環境問題と関連付けていく。 ・商品の表示方法の違いにも目を向けるようにする。 ・店内放送の工夫が出た場合、聞き逃した児童のために録音を流す。 ・表示の工夫が出た場合には、多様な意見が出るように、工夫と考えた理由を発表するように声をかける。 ・産地についての工夫が出た時には、どんな商品がどこから運ばれているかを発表させ、多くの地域から多くの種類の商品が運ばれていることに気付かせる。
10	3 店の工夫について、分かったことやその理由を書き、発表する。	・友達の発表からも店の工夫を捉え直し、まとめることができるように声をかける。

##### (4) 評価

・発表を通して、友達の見解を聞いて捉え直した店の工夫について、自分の考えを自分の言葉で表現することができたか、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

## 5 実践の流れ

### (1) 「買い物調べをしよう」 気付く（問題設定）

#### 「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出そう！」【一斉】①

事前に家族への聞き取りをして、買い物調べを行い、ワークシート（資料1）には、「買い物をした店」と「買ったもの」について記入をさせた。また、「そのお店に買い物に行く理由」について、保護者に確認をしてくるように課題を出しておいた。

「買い物をした店」と「買ったもの」について発表させ、買い物に行った店とその回数を示したグラフ

資料1 買い物調べワークシート

第1回 西川端小学校 3年 買い物調べ 3年1組 番			
店名	店名	何をかう	何をかう
		① 買べる・飲む物 ② 着る物 ③ 本・文房具 ④ おもちゃ ⑤ その他	
B店	①	鳥もやし	たまご
スーパーA	③	赤えんぴつ	
C店	⑤	電球	
C店	①	ジュース	ハンバーガー
D店	①	レタス	たまご
スーパーA	①	かりがりくん	パペット
E店	①	コマラのマーチ	

★ どのお店で買ったかをきりさせよう。例えば「コンビニ」だけではどのコンビニかわからないので2学期の勉強で役立ちません。  
★ 3日間いじょう調べよう。自分の生活のものを調べてください。

を教師がまとめた。児童は、そのグラフを見て、「Aの店に行く人が多い」「愛西市以外の店に行く人も多い」という声が上がった。また、買った商品の内容を見て、「買う物によって、場所が変わる」という意見も出てきた。そして、郊外の大型ショッピングセンターを利用している家庭が多いという一面に目を向けることもできた。

そこで、教師は事前にグラフの結果を把握していたので、「クラスのほとんどの人がスーパーマーケットAを利用しているのはなぜだろう」という疑問を投げかけた。児童は、自分たちの保護者から聞いた意見を参考にしながら「近いから」「品ぞろえが豊富だから」「遅くまでやっていて、仕事の帰りに寄れるから」「ポイントカードがあるから」「リサイクル場があるから」という意見を発表した。利用している理由について、近くて便利であるだけでなく、いろいろな面に目を向けることができていた。ただ、これらの意見は推測であり、明確な証拠をつかむために「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出そう！」という学習問題を設定し、みんなで追究していくことにした。

### (2) 調べるI（問題追究）

#### 「スーパーマーケットA 第1回見学の計画を立てよう」【ペア】【グループ】②

見学の計画を立てる段階において、児童は「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出すためには何を調べればいいのか」というテーマで話し合い、消費者の立場からスーパーマーケットAに行く理由を考えた。資料2のワークシートに考えを書き、2人1組のペアで話し合いをしたところ、「安売りセールをやっているから」「いろいろな店があるから」「季節に合

資料2 ペア・グループの話し合いワークシート

第2～4時  
<お店ではたらく人びとのしごと> 3年 1組 番 名前

1 どうしてスーパーAは多くの人びとが買い物をするのだろうか。

(ペアどうして考えてみよう) ※第2時でペアで考えた理由を書く。

○品ぞろえがよい(服や文房具が売っている)  
○中にいろいろな店がある(ケータインヤさんなど)

(グループどうして考えてみよう) ※第2時でペアの考えを踏まえ、グループの考えを書く。

○中日か日一がまけたりしたらセールがある  
○中にいろいろな店がある

せて売っている物が変わるから」「駐車場が広いから」「品ぞろえがいいから」「店員さんが優しいから」という多様な意見に広がった。その意見を基に、更に4～5名1組のグループで話し合い、資料2のワークシートにその各グループで調べるテーマを書いた。そして、活動目標（資料3）を決めた。

資料3 各グループの第1回見学時の調査テーマと活動目標

- (1はん)  
○季節に合わせて売っている物が違っている。→売り場ではどんな工夫をしていたかを調べる。
- (2はん)  
○中にいろいろなお店があるから。セールをやっているから。→どんなお店があるかを調べる。
- (3はん)  
○ポイントカードについて調べる。ポイントカードを使ってみる。  
→ポイントカードについてお店の人に聞く。実際にポイントカードを利用してみる。
- (4はん)  
○駐車が広いから。リサイクルコーナーがあるから。  
→駐車場やリサイクルコーナーを調べる。駐車台数やリサイクルコーナーの様子を調べてまとめる。
- (5はん)  
○安い店がいっぱいそろっている。→安く売するためにどんな工夫をしているかを見付ける。
- (6はん)  
○店員さんが優しいから →実際に店員さんに商品を買う時に質問をしてみて触れ合う。

また、児童が消費者としての心理をより体験的に把握するために、1回目の見学において、実際に買い物を体験することにした。「上手な買い物をするためには、どのようなことに気を付ければよいか」と児童に聞くと、「必要なものだけを買う」「賞味期限に気を付ける」「セールになっている物を選ぶ」という声が出た。このような消費者の願いをかなえるために、スーパーマーケットAでは、どのような工夫がされているかを調べるといった視点を意図的に与え、見学活動へとつなげた。

(3) 調べる I (問題追究)「スーパーマーケットAに見学に行ったよ」【グループ】③

グループの各テーマに別れて、ワークシート

資料4 見学用ワークシート

(資料4) にメモをしながら意欲的に調べ活動を行った。自分たちのテーマを調べるだけでなく、他グループのテーマに関連する内容をメモする児童もあり、さまざまな角度から意欲的に調べ活動を進める様子が伺えた。また、教師はデジタルカメラを利用し、各グループが調べるテーマの回答やヒントとなる場面を撮影して、まとめておいた。

見学後、教師が「どうしてスーパーAに多くの方が行くのか、ヒントはつかめましたか」と聞くと、「店員さんが書いた商品の感想の宣伝があった」「自分の買いたい商品が分からなくて困っていると、店員さんの方から声をかけてくれた」と見学で観察したり体験したりしたことを挙げる児童が多くいた。また、「5分くらいの間に、リサイクルコーナーにどんどん人が来ていた」と、見学する中での発見や驚きを声に出している児童もあり、見てきたことを基に考えを広げていく姿が見られた。

(4) 調べる I (問題追究)「見学したことについて発表しよう」【一斉】④

自分たちが調べてきたことについて、見学ワークシートを基に発表した。

グループの代表者が調べたテーマ、調べたことを発表した。そのあと、発表したグループに対して質問をしたり、そのグループが発見できなかったことを補足発表したりして、より深まった追究活動を行った。

3 スーパーマーケットのひみつをさがそう。自分たちが、よそうしたことの「しよこ」をみつけれられるといいですね。

○ちゅうしゃ場が広い。  
○しるいごとに場所がわかるからわかりやすかった。  
○店員がコンビニより丁寧で店員がやさしかった。

4 スーパーAは他の店とどんなところがちがうのかな。お店を見ながら書いてみよう。

★ちゅうしゃ場が広いから。  
★ほしいものが全部あるから。  
★中せんたいが広いから。  
★店員さんが場所がわからないときにやさしくて丁寧に教えてくれるから。  
★しるいごとにしるいから10しるいじな  
★いからお客さんたちがうれしんじな  
★いかと思う。  
★おじいちゃんやおばあちゃんたちが自分で車でいけるから。  
★コンビニより文房具や17ラジカが多いから。



グループのテーマに沿って、「大きな数字で値段が書かれていた」「駐車場には1,500台の車が停めることができる」「お肉コーナーや魚コーナーが分けられていた」「お弁当やお刺身は出来立てを売っていた」と発表が続いた。

「店員さんが優しいから」というテーマで追究活動をしたグループは、次のように代表者が発表した。「麦茶を買う時、売り場まで案内してくれた店員さんに2種類ある麦茶のうち、安い方を買った方がいいよと勧められた」と発言をした。それに対して「自分が店員なら、高い方を勧めるよ。だって、そっちの方がもうかるのに」という反論を受けた。反論者に同調する声も多く、店員さんの行動についての話し合いに発展したが、「なぜだろう」という疑問に学級全体が困惑した雰囲気になった。

そこで、教師が「それなら実際にお店の人に聞いてみよう」と提案し、再度スーパーマーケットAを訪問することにした。

### (5) 調べるⅡ (問題追究)「スーパーマーケットA 第2回見学の計画を立てよう」【グループ】⑥

第2回目の見学をする事前学習として、「第1回の見学のときに、お店でどんな仕事をしている店員さんがいるかを思い出してみよう」という問いを児童に投げかけた。すると、児童は直接触れ合った「レジの人」「商品を並べる人」で意見が止まってしまった。

教師は、駐車場を調べたグループの児童に「駐車場に店員さん、いませんでしたか」と切り返しをすると、「掃除をしている人がいた」「カートを移動させる人がいた」と意見を発表し始めた。そして、「肉を切っている人がいる」「お弁当を作っている人がいる」と、児童は店を支える人々に目を向けることができた。

そこで、「スーパーマーケットAを支える店員さんは、どんな仕事をしているのだろうか。その人たちは、お客さんに商品を買ってもらうために、スーパーマーケットAにいっぱい来てもらうためにどんな工夫をしているかを調べてみよう」と、販売者の目線に立って、追究活動を進めることとした。

2回目の見学活動を進める上で、個々の店員の仕事に目を向けさせながら、販売者が消費者に買ってもらうために行っている工夫について予想した。すると、児童は、1回目の見学活動や本時で考えたことから、「お店の奥で働いている人の工夫」「商品を並べている人の工夫」「安売りをしている人の工夫」「お店の外で働いている人の工夫」などの意見が出た。

これらの意見を踏まえて、各グループの追究活動のテーマを資料5のように設定した。そして、資料6のワークシートに見学のときに店の工夫についての調べたい内容を記入した。

資料5 各グループの第2回見学の調査テーマ

- (1はん) ○商品の並べ方の工夫について
- (2はん) ○魚売り場の工夫について
- (3はん) ○お肉屋さんの工夫について お肉スコープ
- (4はん) ○お店の外の秘密を探ろう
- (5はん) ○なぜ安売りをするか。広告・宣伝の工夫について
- (6はん) ○店員さんの工夫について

資料6 第2回見学のためのワークシート

**スーパーマーケットのひみつをさがろう その2**  
3年 | 組 番 名前

1 お店にはどんなしごとをしている人がいたかを思い出してみよう。

○レジをしている店員。 ○しょう品をならべている店員  
○ダンボールからしょう品を出している店員。  
○かんしかつを見る人。○ゆかをそうじする人

2 見学にむけての、たしかめをしましょう。

① グループのメンバー

② じぶんたちのグループが調べるテーマ  
○お店の表うらの魚うりばについてしらべよう!

③ もちもの  
ひっきょうぐ・たんけんバック・社会のプリント・デジカメ (はん長のみ)  
ハンカチ・はなかみ・名札

3 店長さん、お店ではだらく人へのしつづを考えてみよう!

○お店にくる人のために、どんなことをきくふうしているのかな??  
○魚は1日に何パック売れますか(かいたいでいいです)  
○魚うりばではおすしも作っているんですか。  
○何人で魚うりばをやってるんですか。  
○かいたい魚うりばには何時間いるんですか。  
○魚うりばの人がうれしい時はいつですか。  
○1日でかいたい魚を何ひき使うんですか。  
○毎月何時ぐらいに来ていんびくしますか  
全額現金で買いたいから、お釣は現金で返して

(6) 調べるⅡ (問題追究) 「スーパーマーケット

写真1 魚売り場の取材

A第2回見学】【グループ】⑦⑧

2回目の見学では、最初に全児童でスーパーマーケットAの倉庫、冷蔵庫など、消費者の立場では見られない店の裏側を見学した。マイナス24度の冷蔵庫内に入り、その寒さに驚くとともに、多くの種類の商品が保管されていることを目の当たりにした。また、倉庫内を移動した際には、多くの商品が種類ごとに分類されていることや、扉の入り口にビニール製のすだれがあって鳥が入ってこないように工夫されていることなどに気付き、児童にとって新鮮な発見がたくさんあった。



資料7 取材ワークシート(魚売り場)

見学後、店内に入り、各グループで取材を行った。魚売り場の取材グループは、1日1,000パック以上売れることを聞くとともに、お客さんのために毎日100匹以上の魚を切り分けること、開店から新鮮な魚を出すために、早いときには6時半から仕事をしていることを知って驚いていた(写真1)(資料7)。

広告・宣伝を調べたグループは、店内での価格表示や広告には値段の色や文字の大きさを変えて目立つようにしていること、消費者に知ってもらうために店内では大きな声で安売りのお知らせをしているということを取材した。

(7) 調べるⅡ (問題追究) 「お店のさまざまな工夫のまとめ」【グループ】⑨

見学のまとめをグループごとの観点で行い、発表の準備をした。販売者の工夫が、消費者の願いとつながっていることに児童が気付くように「なぜ工夫と言えるのか」についても発表のためのまとめを指示した。

「魚売り場の工夫」では、「魚売り場で魚をさばっている。理由は新鮮なものをお客様に食べてもらうため」や「魚売り場は種類ごとに魚を並べている。理由は魚の種類が多いから」とまとめた。「広告・宣伝の工夫」では、「値段の部分だけ目立つように赤色にしている。理由は、安い商品を目立たせるために色を変える。みんなに伝わらないと商品を買ってもらえないから」とまとめた。しかし、「お店の外の工夫」では、リサイクルコーナーだけに目が向き、学習問題を十分に解決できそうでない様子であった。そこで、見学時の写真を提示することによって、リサイクルコーナーの他に駐車場やカート置き場など、消費者がスーパーマーケットAを利用しやすくしている他の要素にも目を向けさせることができた。

(8) 調べるⅡ (問題追究) 「お店の工夫についての発表」⑩【一斉】

第9時でまとめたお店の工夫について、各グループの視点で発表をした。児童は、自分が見学で撮影した写真を用い、発見してきた工夫をより分かりやすく伝えようと意欲的に取り組んだ。

4 さあ見学です。スーパーAに多くの人がやってくるヒントをみつけてきてね。
自分のテーマ: お店の表うらの魚売り場はどのくらいか
答え
5人でやっている
すしは作っていない(魚売り場)
たくさん売れる時早くかえれるとき
1000/パック以上
1日/1000パック以上(魚)
6時半から7時半くらいにくる(魚売り場に来る時間)
12時から14時くらい(魚売り場にいる時間)
50%くらい(肉)
しょうみきけんか、七切れ、そうな、かつを半が、お
ま、ず、見、か、れ、は、う、に、と、箱、か、か、り、か、す、い、よ、う、に、な
それ
火日お客3000人それ以外2900人がくる。
おそうざいあげものは5分くらいでできる。
おそうざいを作るくふうは見た目きれいになるよ
うにくる <span style="color:red">よく調べてありますね</span>

特に、発表のポイントとして、「お店の工夫で分かったこと」「なぜその工夫をしているのか」を示し、聞いている児童に分かるように分かりやすい発表を目指した。

「駐車場には1,500台も車が停めることができることを調べました。また、体が不自由な人のための車を駐車するスペースがありました。また、店内にわざわざカートに戻さなくてもいいように、カート置き場が外にもありました」と自分たちが見付けた工夫を理由付けて説明した（資料8）。

また、第1回の見学の際、麦茶を買う時、売り場まで案内してくれた店員さんが2種類ある麦茶のうち、「安い方を買った方がいいと勧められたのはなぜだろう」という疑問に対して、再度、児童に尋ねた。児童は調べ活動の中で、答えを探し出すことができなかったため、教師が取材しておいた内容である「お客にとって、何が一番いいのかを考えて接するようにしています。またスーパーAに来てもらうことを考えています」という店長の話を紹介した。すると、児童は「スーパーマーケットAにまた行って買い物をしよう」という声を上げた。そして、店員の接客が自分たち消費者の立場に立ったものであると感じることができた。

ここでは特に、販売者の工夫が消費者のためにつながっているものであることに気付かせるために、それぞれの発表を振り返り、「商品の並べ方」に着目させた。魚売り場・肉売り場のグループの発表では、種類ごとに集められていて斜めに置かれているという発表があったことをきっかけに、「並べ方の工夫」を調べたグループを中心に、他の商品の並べ方がどうであったかを確認した。

次に、「並べ方を工夫すれば売れるのか。置いてあるだけで、君たちは買いに来るのか」と問いかけた。すると、「大きな声でお客さんに知らせなきゃいけない」「セールをしなければいけない」など、いろいろな意見が上がったが、それぞれの発言は、各グループで調べた内容であることに気付かせた。それを確認していくうちに「全部いると思う。どの工夫が抜けてもダメだと思う」「駐車場もないとお客が減ると思う。いっぱい買ったら大変になる」など、販売者の工夫が消費者の便利さにつながっていることに気付くことができた。

写真2 お店の工夫の発表



資料8 各グループによる発表内容

**【店員さんの工夫】**

- ・新発売の商品をお客さんにたくさん買ってもらえるように大きな声で知らせている。
- ・厳しく指導をしてくれる人がいて、その人が教えてくれた通りに言っている
- ・商品の値段を少しでも大きくして見やすくしている。

**【広告・宣伝の工夫】**

- ・値段だけ目立つようにしている。
- ・店内では、大きな声で商品の宣伝をしている。
- ・お店の人の商品に対する意見が書かれていた看板があった。
- ・割引セール広告は分かりやすく目立つようにしている。

**【店の外の工夫】**

- ・リサイクルコーナーはスチール缶・ペットボトル・アルミ缶などの種類に分けられている。
- ・カート置き場が外にある。
- ・1,500台停めることができる駐車場があり、体の不自由な人ためのスペースもある。
- ・朝、掃除をして気持ちよくお客に来てもらえるようにしている。
- ・店の外でも2～5名の人が交代で働いている。

**【魚売り場の工夫】**

- ・魚売り場を魚の種類で分けている。 ・魚売り場で魚をさばいている。
- ・魚をさばいているところを見えるようにしている。
- ・早いときは朝6時半からお店にきて魚をさばいている。

**【肉売り場の工夫】**

- ・肉が種類ごとに集められている。
- ・いろいろなところから来た肉が置いてある。外国から来たものが多い。

**【並べ方の工夫】**

- ・商品を見やすく斜めにして置いてある。
- ・商品がなくなりそうな時は、機械でバーコードを読み取って、なくなった商品を取り扱っているお店に伝えて商品を持って来てもらうようにしている。

**(9) 調べるⅡ (問題追究) 「自分たちの生活とさまざまな地域のつながりを考えよう」【一斉】⑪**

スーパーマーケットの商品がどこから来ているのかを調べると、日本各地だけでなく、外国からも来ていることが分かった。地球儀で確かめながら記録をした(資料9)。その後、それぞれの国や地域からどのように商品が届くかを予想した。

ヒントとして、スーパーマーケットAの商品搬入口に停まって商品を卸しているトラックの写真を見せ、見学時のことを想起させた。そこから飛行機・船・トラックの輸送手段を使い、スーパーマーケットAまで商品が届き、最終的に自分たちの手元に届くことに気付いた。

**(10) まとめる (問題解決)**

**「学習のまとめをしよう」【一斉】【個】⑫**

単元を通しての学習問題「スーパーマーケットAの人気の秘密を探り出そう!」について、学習してきたことを基に話し合った。

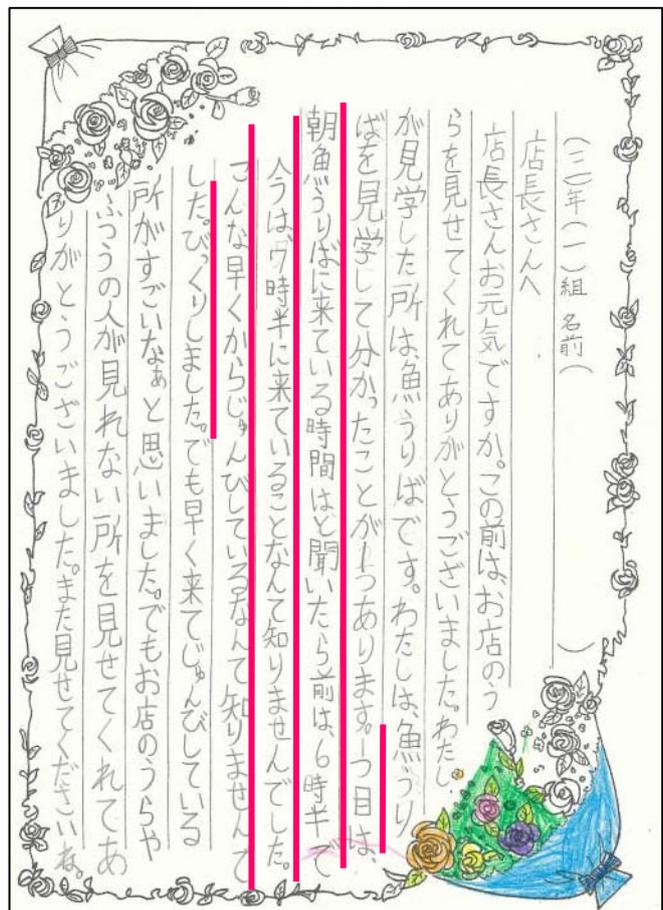
話し合いの中で、学習全体を振り返って、店の工夫の一つ一つについて「商品が斜めに置いてあって見やすくしている」「いろいろな商品を分かりやすくまとめて置いてある」と目に見えるスーパーマーケットAの工夫を発表する児童が多くいた。また、「商品の場所が分からずに困っていると店員さんが優しく教えてくれた」「早朝から店に来て、品物の準備をして、新鮮な物をお客様に渡そうとしているから」と店員との触れ合いの中で学んだことを発表する児童も多く見られた。

全体的に見ると、「安くて品ぞろえが豊富」「近い」という気付きの段階からの予想に加え、「駐車場が広い」「商品の置き方・向きも工夫してある」「店員さんが困っていると優しく教えてくれる」という理由を挙げた。客が買い物をしやすいように、スーパーマーケットAには多くの工夫が詰まっていることに気付くことができた。それは、店の工夫について、単元を通し、消費者と販売者の立場から着目してきたからであると考えた。

資料9 地域とのつながり調べ



資料10 お礼の手紙



そして、最後にお礼の手紙を書くことを通して、本単元の学習のまとめとした（資料10）。手紙の文中には、2回の見学で学んだことを二つ入れることとした。文中には、それぞれのスーパーマーケットAで学んだお店の工夫について具体的なことを記述することができた。また、「これからはスーパーAの人々の願いを意識しながら買い物をしたい」という店で働く人々の思いを十分に感じた記述が多く見られ、学習を通して販売者側の工夫を踏まえた感想であることが分かる。

6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例 (N=27)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
②	<p>なぜスーパーマーケットAに行く人が多いのか予想してみよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; 学習計画の説明を受け、見学の視点を意識し、<b>具体的な例を挙げながら</b>お店に行く理由を考えている。</p> <p>&lt;B判定&gt; 学習計画の説明を受け、お店に行く理由に目を向けている。</p> <p>(例) A 安いし、店員さんも優しいから。ほしい商品がどこにあるのかわからない時は店員さんに聞くと教えてくれるから。</p> <p>A 一つ一つのお店に分かれているから。買いたい時に迷わず買えるから。</p> <p>B 近いし、すぐに買い物に行けるから。</p> <p>B ポイントカードでポイントが貯まるから。</p> <p>B 駐車場が広いから。</p> <p>C お母さんがよく買いに行くから。</p> <hr/> <p>&lt;Cを支援する手だて&gt;</p> <p>ペアからグループへの話し合いを進めていく中で、友達の意見を参考にし、自分なりの予想をもたせる。</p>	20	7	0
⑥	<p>スーパーマーケットの工夫を見付けるため、どんな質問をしたらよいのか考えよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; 見学の視点を意識し、自分の予想を生かしながら、スーパーマーケットの<b>具体的な工夫について</b>質問を考えている。</p> <p>&lt;B判定&gt; 見学の視点を基にスーパーマーケットの工夫を知る質問を考えている。</p> <p>(例) A なぜ果物を入り口の方に置いて、肉や魚を奥に置くのですか。</p> <p>A 高いところにある商品をお客に見えやすくするためには、どんな工夫をしていますか。</p> <p>B 駐車場には何台車を停めることができますか。</p> <p>B お肉は一日に何パック売れますか。</p> <p>B 店員さんが一番大変なときはどんなときですか。</p> <p>C 休みの日はいつありますか。</p> <hr/> <p>&lt;Cを支援する手だて&gt;</p> <p>自分たちのグループのテーマを再確認し、自分たちのテーマを解決させるための質問につながっているかを問い直し、友達の考えを参考にさせる。</p>	8	14	5
⑩	<p>スーパーマーケットの見学したことを基に、お店の工夫について考えをまとめよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に<b>販売者と消費者の立場を関連付けて</b>まとめている。</p> <p>&lt;B判定&gt; スーパーマーケットの工夫について、見学の視点を基に販売者側の視点からまとめている。</p> <p>(例) A 魚やお肉も種類が多いので、種類ごとにまとめてあって、買いやすくしていると、買い物が簡単に済むのでこの店に来てくれるから。</p> <p>A 新発売の商品をお客さんに買ってもらうために大きな声で知らせたり、値段の色を変えたりして、お客さんにちょっとでも分かりやすくと、お客さんがこの店で買いたいと思って、どんどん来てくれるから。</p> <p>B リサイクル場が細かく分けられていて、お客さんが缶などを捨てたい時に捨てられるから。</p> <p>B ゴミを減らすために、賞味期限が切れそうな商品を安く販売している。</p> <p>B 少しでも買ってもらうために試食してもらう。</p> <p>C 肉を工夫して並べている。</p>	9	16	2

⑫	<p>スーパーマーケット見学して分かったことを入れてお礼の手紙を書こう。</p> <p>&lt;A判定&gt;スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いている理由を考えるとともに、<u>自らの生活と結び付けて</u>表現している。</p> <p>&lt;B判定&gt;スーパーマーケットの工夫が消費者の願いと結び付いていることに気付いて表現している。</p> <p>(例)A 自分は足が不自由なので、よく車椅子マークのところに車を停めています。お店が一番近いので、すごく楽でした。</p> <p>A スーパーAで買い物をするときに、いろいろな商品があつて、とても選びやすかったです。</p> <p>B 商品を並べたり、カートを運んだり、いろいろな仕事をしている人がいるのが分かりました。</p> <p>B お店の人が朝早くから掃除をしていることに驚きました。</p> <p>B 1日に魚を1,000匹切るのがすごいと思いました。</p> <p>C いろいろな工夫をしていることが分かってすごいと思いました。</p>	3	24 ★ 記録に残す評価	0
---	--	---	--------------------	---

### 7 単元定着後評価

単元の終了時に事後テストと2か月後に保持テストを行った。予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にせず、テストの時間は20分とした。また、使用させたい事柄や用語を選択して文章表現をする記述式のテストで実施した。

設問は、単元で学習した内容の中で、集客理由と店の工夫について、消費者と販売者のそれぞれの立場で事柄と具体例を関連付けながら記述させる。これは思考力・判断力・表現力が確実に身に付いているかを測定するテストである。3年生であることも配慮しながら、児童が分かったこと及び考えたことについて、それぞれを比較、関連付けて短文で表現できればよしとした。

**【設問】** スーパーAが人気の理由を下の言葉を使って、お客とお店の願いを結び付けながらまとめてみよう。

<お客>

① 安い ② 近い ③ しんせん ④ 品ぞろえがよい ⑤ えらびやすい ⑥ こうこく  
⑦ 車(ちゅうしゃ場) ⑧ 楽 ⑨ べんり

<お店>

① バーコード ② れいとう室 ③ 店員さん ④ ならべ方 ⑤ 商品のせつめい  
⑥ ねふだの色 ⑦ 夜おそくまで ⑧ 商品のじゅんぴ ⑨ ね引き ⑩ カートおき場  
⑪ リサイクルボックス ⑫ ちゅうしゃ場が広い

### ★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問②における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=27)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点以上の事柄について消費者と販売者の思いを関連付けて説明することができる。	13	15
B	1点～2点の事柄について消費者と販売者の思いを関連付けて説明することができる。	11	9
C	1点の事柄も説明できない。または、消費者と販売者の関連を正しく説明できていない。	3	3

### ★ 解答例A

- お店は並べ方を工夫している。それはお客さんが品物を選びやすいという願いをかなえるためである。また、お店は値札の色も工夫している。それは、お客さんに広告の商品を分かりやすくして、お値打ち商品を買ってもらうためである。そして、お店の外にカート置き場があるのは、いっぱい買い物をしたお客が駐車場まで買ったものを楽に運ぶことができるからだ。
- お店の裏側にいっぱい商品が準備してあつて、商品がなくなったらすぐに出せるようにしてあつて、お客は品ぞろえがいいからいろいろ選びやすい。お店は商品を種類ごとに集めて並べ方を

工夫しているから、お客は商品を選びやすい。スーパーAは値引きをして、お客に安い商品をいっぱい買ってもらえるようにしている。

★ 解答例B

- お店は値引きをしている。なぜなら、このお店はお客さんに安いと言われ、お客さんを多くするため。お店は駐車場が広い。なぜなら、多くのお客さんが車で来て、いっぱい買い物ができるようにするため。
- お店は並べ方を工夫している。それは、お客さんが品物を見やすく選びやすくするためです。お店は遅くまでやっている。それは、お客はお店が近くていつでもほしいものがあると、すぐに買い物に行けて便利。
- お店は冷凍室で魚などをとっておいて、商品の準備をされていて、品ぞろえをよくしている。それは新鮮なものを食べてもらいたいというお店の人の願いがある。

★ 解答例C

- 広告があれば、お客さんを呼ぶことができる。

事後テストと保持テストの結果、スーパーマーケットの人気の理由について、いくつかの用語を結び付け、消費者と販売者の立場から説明できている児童（B判定以上）は、約8割で変化がなかった。

## 8 成果と課題

### (1) 成果

#### ① 協同学習における話し合いの設定

問題解決的な学習の過程において、ペアやグループで話し合い活動に取り組んだ。第2時や第6時では、学習問題の解決に向けて、何を調べればいいのかを考えたり、分かったことを踏まえて自分と友達の考えを比較したりして、新たな自分たちの問題づくりをしていった。仲間同士の意見を取り入れることで、学習問題解決のためへの新たな視点を得ることができ、社会的事象に対する視野を広げることができていた。

#### ② ワークシートによる学習支援

ワークシートの活用は、児童がそれぞれの学習において、何を考え、何を調べ、どんなことを発見したらよいかを支援するのに役立った。また、学習したことを整理することが苦手な児童にとっては、学習してきたことをまとめ、学んだことを整理し、習得することにつながった。

#### ③ 体験的な学習による意欲の高まりと知識の定着

2回の見学は、取材活動を通して、児童が自ら抱いた疑問を自らの手で解決していくことで調べることの楽しさを体感するとともに、事象の意味を理解し、働く人の思いを感じ取ることができた。また、保持テストの結果を見ると、体験的に習得した知識は時間を経ても、大きな変化は見られない。更なる日常の生活体験を通して、それぞれの知識がより体系的に習得されていく面も見られる。体験的な活動は、主体的な学びの意識を高め、知識の習得につながると考えられる。

### (2) 課題

#### ① ワークシートの在り方

児童の中には、ワークシートをうまく活用できない子や問題をよく理解せずにまとめている子がいた。ヒントを与えすぎると児童の主体的な表現活動にならないことがある一方で、学習のヒント（視点）がなければ学習を進められない児童もいる。ヒントの与え方を検討していきたい。

#### ② 自作テスト問題

昨年度の研究では、「消費者の願い」「販売者の工夫」について、それぞれ記述することはできていたので、今年度は「消費者と販売者の工夫と願いを結び付けてまとめる」という設問でテストを試みた結果、文章表現に差が出た。記述のさせ方、選択肢にする用語などを再考し、よりよいテスト問題を検討する必要がある。

## 【検証授業Ⅱ】

知立市立知立西小学校 6年

### 1 単元 武士の世を安定させたのは誰だ！

#### 2 単元について

本学級の児童に対して6月に社会科に関するアンケート調査を実施したところ、「社会科は好きな教科である」について肯定的な回答が約80%であった。この回答に児童は「調べたりまとめたりする学習が好きである」の項目に高い値を示している。しかし、「学習問題を見付けることが得意である」の項目には非常に低い値であった。このことから本学級の児童は、社会科学学習に対して意欲的に取り組もうとする姿勢があるが、自ら問題を見付け、調べることによって主体的に問題を解決するまでには至っていないことが分かった。したがって本単元では、話し合い活動を取り入れた問題解決型の単元を設定することにした。

単元の導入は、年表を用いて江戸時代の長さを確認する。また、長篠合戦図屏風や江戸図屏風を見て、短期間の時代の変化を読み取る。これらの活動から提起される「3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」という疑問を取り上げ、単元を貫く学習問題として設定したい。そして、発展的な段階として参勤交代という制度が幕府や大名だけでなく、池鯉鮒（ちりゅう）の宿場町に暮らす庶民にとってどのような意義があったのかについて考える場面を設定する。これらの意見を表現し合う場を設定することにより、新たな理解が導き出され、歴史的事象を違う立場から捉え、社会科において自ら考え、表現することができる児童が育成されると考える。

#### 3 単元目標と評価規準

##### (1) 単元目標

キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、家康の江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国とそれらに関わる人物の働きや代表的な文化遺産から学習問題を見だし、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、戦国の世が統一され、身分制度が確立して武士による政治が安定したことを理解し、それらのことやそれらに関わる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを的確に表現する。

##### (2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評価規準	①全国天下統一への信長、秀吉、家康の働き、江戸時代の人々の暮らしや文化などに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 ②江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国とそれらに関わる人物の働きについて関心を持ち、進んで調べようとしている。	①キリスト教の伝来や織田・豊臣の全国統一、江戸幕府の始まり、参勤交代や身分制度や鎖国について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ②戦国の世が統一され、身分制度が確立して武士による政治が安定したことについて、民衆の立場からも考え判断し、適切に表現している。	キリスト教の伝来や織田・豊臣の全国統一、江戸幕府の政治の仕組みや暮らしの様子について、絵図、池鯉鮒（ちりゅう）の古地図や年表、その他の資料を活用して具体的に調べ、まとめている。	①織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の武将によって全国が統一されたことが分かっている。 ②江戸幕府によって世の中を支配する仕組みが整えられ、身分制度が確立して武士による政治が安定したことが分かっている。

(3) 単元計画と評価計画 (19 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
第一 次「三武将の魅力を探れ」	<p>気付く【斉】①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 飛鳥時代からの年表を提示して、これから学習する時代を確認する。</li> <li>○ 安定した武士の世の中が確立されるきっかけとなった長篠の戦いについて、長篠合戦図(1575)から話し合う。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・織田信長が鉄砲を駆使する戦術を使って武田軍を破り、主導権を握った。</li> </ul> </li> <li>○ 江戸図屏風(1640 頃)を見て、気付いたことを発表する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・長篠の戦いから約 65 年後には安定した武士の世の中になっている。</li> </ul> </li> <li>○ どのように安定した武士の世の中が築かれていったのかを調べるため、3 人の武将のうち、一人を選ぶ。</li> </ul>	<p>関① 合戦図を見て、織田信長の戦略について興味をもって考えている。</p> <p>関① 江戸図屏風を見て、武士の世の中の安定について興味をもって考えている。</p> <p>思① 3 人の武将について関心をもち、誰について調べるのかを考えている。</p>	<p>・合戦図を見て、織田信長の戦略について興味をもち、火縄銃や馬防柵の在り方について考えている。</p> <p>・江戸図屏風を見て、武士の世の中の安定について理由を示しながら興味をもって考えている。</p> <p>・3 人の武将について関心をもち、誰の何について調べるのかを考えている。</p>
	3 人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか。		
	<p>調べる I【価】②【グ】③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題について調べる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>A 織田信長が行ったことをまとめる。</li> <li>B 豊臣秀吉が行ったことをまとめる。</li> <li>C 徳川家康が行ったことをまとめる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>関① 自分の選んだ武将の業績について調べようとしている。</p> <p>技： 自分の選んだ武将の働きについて、年表や地図などの資料を活用して調べ、それぞれが全国統一を目指していたことを読み取ってまとめている。</p>	<p>・自分の選んだ武将の業績と考え方について調べようとしている。</p> <p>・自分の選んだ武将の働きについて、年表や地図などの資料を活用して調べ、それぞれが全国統一に向けてとった具体的な手だてを読み取ってまとめている。</p>
	<p>調べる II【斉】④⑤⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことを発表する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>A 織田信長が行ったことを発表する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安土城を築いて楽市楽座を設け、商工業を発展させた。</li> <li>・南蛮貿易を行い、進んだ文化や品物をもたらした。</li> <li>・キリスト教を保護し、寺社の勢力を抑えた。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>知① 織田信長が商業都市を支配しながら商業や工業の発展を促進させるとともに、キリスト教を保護して外国の新しい文化や情報を取り入れていたことが分かる。</p>	<p>・織田信長が商業都市を支配しながら特権を廃止し、自由に商業や工業の発展を促進させるとともに、仏教勢力に対抗してキリスト教を保護し外国の新しい文化や情報を取り入れていたことが分かる。</p>

	<p>B 豊臣秀吉が行ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検地や刀狩を行い，農民を統制する。</li> <li>・金銀の鉱山を支配する。</li> <li>・武士と農民・町人の身分を区別し，武士が支配する仕組みを整えた。</li> </ul>	<p>知① 豊臣秀吉が検地や刀狩によって農民を統制し，武士が支配する体制を整えていったことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊臣秀吉が検地によって年貢を確実にとれるようにし，刀狩によって反抗できなくすることによって農民を統制し，武士が支配する体制を整えていったことを理解している。</li> </ul>
	<p>C 徳川家康が行ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関ヶ原の戦いに勝利する。</li> <li>・江戸幕府を開き，江戸を中心とした支配体制を整える。</li> <li>・大名を従えて，戦いのない安定した世の中をつくる。</li> </ul>	<p>知① 徳川家康が江戸に幕府を開き，幕府による全国支配の基礎をつくったことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳川家康が江戸に幕府を開き，城下町をつくって江戸を栄えさせるとともに，幕府による全国支配の基礎をつくったことを理解している。</li> </ul>
<p>まとめる 【個】 ⑦ 【斉】 ⑧</p>	<p>○ 3人の武将の業績について表にまとめ，武将の取組について評価する。</p>		
	<p>武士の世の中を確立させたMVB（最優秀武将）を決めよう。</p>		
	<p>○ 学習問題を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信長は鉄砲，戦術，楽市楽座などを取り入れて世の中を変えていった。</li> <li>・秀吉は全国を統一し，武士の身分（兵農分離）を確立させた。</li> <li>・家康は江戸幕府を開いて平和な世の中にするために基礎づくりをした。</li> </ul>	<p>思② 学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り，自分の考えや根拠となる事柄を適切に表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武将の業績について，他の武将と比較しながら，そのよさを判断して，それらを自分の考えの根拠として適切に表現している。</li> </ul>
<p>第二次「江戸幕府の政策と人々」 気付く【斉】 ⑨</p>	<p>○ 江戸時代の浮世絵を見て，昔の知立を想像し，東海道の宿場町だったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立は東海道の宿場町で多くの人が往来していた。</li> </ul> <p>○ 加賀藩の参勤交代図を見て，大名行列について気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立を通して大名行列が江戸に向かっていた。</li> <li>・大名行列は何のために行われたのか。</li> </ul>	<p>関① 知立が「池鯉鮒」として東海道の宿場町だったこと，参勤交代図を見て，江戸時代の人々の往来について関心をもっている。</p> <p>思① 徳川幕府が築いた支配体制の在り方について学習問題を考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立が「池鯉鮒」として東海道の宿場町だったこと，参勤交代図の細かい部分を指摘しながら見て，江戸時代の人々の往来について関心をもっている。</li> <li>・徳川幕府が築いた支配体制の在り方について，大名行列の意義を考えながら学習問題を考えている。</li> </ul>
<p>幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろうか。</p>			

調べるⅠ 【個】 ⑩ 【グ】 ⑪	○ 学習問題について調べる。 A 大名の配置について ・多くの大名が取り潰しや領地を換えられた。	技： 幕府が大名を支配していった様子について、参勤交代などの諸政策を調べ、ノートに記述している。	・幕府が、大名統制を行った理由を調べ、それらの政策の効果について考えている。また、今までの武士政権との違いを見だし、ノートに記述したり、発言したりしている。
	B 武家諸法度について ・厳しい定めを行って、全国の大名を取り締まった。		
	C 参勤交代について ・大名は行列を従い江戸に挨拶に行き、自分の妻子などを人質として江戸の屋敷に住ませた。	知② 武家諸法度や参勤交代の制度による支配の仕組みを理解している。	・武家諸法度や参勤交代の制度により支配が強化され、江戸幕府が長く続く要因になったことを理解している。
	D 身分制度について ・身分によって職業や住む場所のほか、税の負担が決められ、代々引き継がれた。	技： 幕府が農民や町人を支配した様子について、絵図や図、文章資料などを活用して調べ、まとめている。  知② 身分制度による農民や町人の支配を理解している。	・幕府が農民や町人を支配した様子について諸資料を基に調べ、身分制度を基盤とした武士による政治が安定したことを読み取り、まとめている。 ・慶安のお触書をよく読み、身分制度による農民や町人の支配を理解している。
	E キリスト教禁止について ・天草一揆をきっかけに絵踏みを取り入れて厳しく取り締まった。 ・信者たちが幕府の命令に従わなくなることを恐れた。	技： 幕府がキリストの禁止や鎖国を行った様子を資料から読み取り、ノートなどにまとめている。	・幕府がキリスト教の禁止や鎖国を行った様子を資料から読み取り、武士政権の安定化が図られたことをノートなどにまとめている。
	F 鎖国について ・オランダと中国に限り、出島で貿易を行った。 ・貿易相手をキリスト教の伝播の恐れのないオランダと中国に限定し、その出入りを長崎に限定して貿易の利益を独占した。	知② キリスト教禁止の過程や鎖国下による貿易の仕組みについて理解している。	・島原の乱をきっかけにしたキリスト教禁止の過程や出島での鎖国下によるオランダとの貿易について詳しく理解している。
調べるⅡ	○ 大名の統制（ABC）について調べたことを発表し、制度の意義を考える。 ・大名の力を弱め、幕府が大名を統制できるようになった。	知② 大名統制を通して、徳川幕府の力が強まり、政治が安定したことを理解している。	・さまざまな大名統制とその効果を考えることを通して、徳川幕府の力が強まり、政治が安定したことを理解している。

【齊】 ⑫ ⑬ ⑭	○ 農民・町人の統制（D）について調べたことを発表し、制度の意義について考える。 ・身分を分けることで、力の差を示し、武士の支配を強めた。	知② 農民・町人の統制を通して、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解している。	・農民・町人の厳しい統制とその効果を考えることを通して、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解している。
	○ 宗教の統制（E）や鎖国（F）について調べたことを発表し、制度の意義について考える。 ・キリスト教の禁止や鎖国は幕府の支配の安定化につながった。	知② 宗教の統制や鎖国を通して幕府への不満が起らない体制を確立して、武士による政治が安定したことを理解している。	・宗教の統制や鎖国とその効果を考えることを通して幕府への不満が起らない体制を確立して、武士による政治が安定したことを理解している。
まとめる 【個】 ⑮ ⑯ 【齊】 ⑰	江戸幕府は、なぜ長く続いたのだろうか。		
	○幕府の政策に対する民衆・大名・武士にとってプラス面・マイナス面を表にまとめる。 ○江戸幕府を長続きさせるために有効だったと思う政策について考える。	思② 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。	・江戸幕府の政治が安定した理由を、それぞれの政策のプラス面やマイナス面を考え、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。
第三次「池鯉鮒宿に生きた人々」	○ 池鯉鮒宿の古地図を見て、当時の住人の生活を考える。 ・たくさんの宿があって、多くの武士や旅人が宿泊した。 ・大名に対して失礼がないように、気をつかっていた。	関① 池鯉鮒宿の資料から気が付いたことや疑問、自分の課題を見付けようとしている。	・池鯉鮒宿の資料から気が付いたことや疑問を、当時の人々に想いを巡らせながら、自分の課題を見付けようとしている。
	まとめる 【個】 ⑱ 【齊】 ⑲	池鯉鮒宿の住人は武士の世の中をどのように思っていたのだろうか。	
	○ 知立市史を要約した資料を読んで、自分の意見をまとめよう。 ・岡崎や宮にはさまれていて、宿場の経営は大変だった。 ・農民が荷役に借り出されていて、苦勞していた。 ○ 池鯉鮒宿の住人の気持ちを考えよう。 ・多くの大名に宿泊してほしいと考えていた。 ・農民は農繁期にはやめてほしいと願っていた。 ・町民は税金をまけてほしいと願っていた。	技： 池鯉鮒宿の宿場町に関する資料を読み、池鯉鮒宿の特徴をノートにまとめている。  思② 大名行列を支えた宿場町の機能を踏まえて、宿場町の住人の気持ちを考えている。	・池鯉鮒宿の宿場町に関する資料を読み、池鯉鮒宿の特徴を宿場町の人々の思いを想像しながらノートにまとめている。  ・大名行列を支えた宿場町の機能を踏まえて、住民にとって苦勞していた事象にも触れながら、宿場町の住人の気持ちを考えている。

【齊】一斉学習 【個】個別学習 【ペア】ペア学習 【グ】グループ学習

#### 4 指導実践事例 第一次「三武将の魅力を探れ」まとめる（問題解決）【一斉】⑧

##### (1) 目標

- ・ 学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、自分の考えを根拠となる事柄を明確にしながらか表現できる。(思考・判断・表現)

##### (2) 準備

- ・ 教師 ワークシート（振り返り）
- ・ 児童 これまでの一人調べの資料 教科書 資料集 社会科ファイル

##### (3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
4	1 前時までの学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易年表を使い、「3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」について調べてきたことを思い出せるようにする。</li> </ul>
1	2 本時の学習課題を確認する。	
	武士の世の中を確立させたMVB（最優秀武将）を決めよう。	
30	3 発表を行う。 (織田信長) ・三武将の中で一番早く天下統一をめざしたことがすごい。 ・楽市楽座をやって誰でも商売できるようになった。 (豊臣秀吉) ・検地や刀狩によって農民と武士の区別を行い、大阪城を築いた。 ・太閤検地と刀狩で農業政策と兵農分離を行い、農民の人たちが苦しまないようにした。  (徳川家康) ・江戸を栄えさせた。我慢強い性格。 ・一番長く平和な幕府を200年以上も続けている。 ・全国統一をして安定した武士の世の中を築いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠となる資料を明確にし、ワークシートを使って発言することをおさえる。</li> <li>・話型を意識しながら、できるだけ関連して発表するように声をかける。</li> <li>・徳川家康への支持のみに終始しないように織田信長、豊臣秀吉を支持する意見をもつ児童を意図的に指名する。</li> <li>・それぞれの武将が行った代表的な業績をカードで示し、その業績について評価を加えて発言するように助言する。</li> </ul> <p><b>織田信長</b> 楽市・楽座 キリスト教の保護 商業都市の支配</p> <p><b>豊臣秀吉</b> 刀狩 検地 身分制度の確立</p> <p><b>徳川家康</b> 江戸幕府を開く 参勤交代 一国一城令</p>
10	4 学習の振り返りを行い、発表する。 ・三武将の活躍が安定した武士の世の中を築いたことがわかった。 ・徳川家康の努力が次の世代に受け継がれていった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、発言できなかった児童を意図的に指名する。</li> <li>・友達の発表を聞いて感じたことを書き、授業の前と後での自分の変容に気付けるようにする。</li> </ul>

##### (4) 評価

- ・ 学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、三武将を比較して自分の考えを根拠となる事柄を明確にして表現できたか、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

第二次「江戸幕府の政策と人々」まとめる（問題解決）【一斉】⑰

(1) 目標

- 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを表現することができる。(思考・判断・表現)

(2) 準備

- 教師 ワークシート（振り返り用紙）
- 児童 これまでの一人調べの資料 教科書 資料集 社会科ファイル

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動（・教師の支援）
1	1 本時の学習課題を確認する。 江戸幕府は、なぜ長く続いたのだろうか。	
35	2 発表を行う。 A 大名の配置 ・外様を遠くに置き、江戸に攻めにくくする。 ・親藩や譜代に重要な土地を安心して任せすることで、信頼関係を築いた。 B 武家諸法度 ・幕府の許可があるものが多いので、大名は幕府の支配の中で生活していても苦しかった。 ・幕府の力で確実に大名を取り締まった。 ・幕府の許可があるものも多く、これに背いた大名は厳しく罰せられた。 C 参勤交代 ・多くの費用を使い、藩の財政に大きな負担となった。 ・参勤交代は交通の整備や地方文化の交流に役立った。 D 身分制度 ・身分制度によって世の中が安定したが身分がかえられない。 ・農民にいろんなことをやらせて村を良くした。宿場の応援などいろいろな役割をもっていた。 E キリスト教の禁止 ・確実に信者が減ったが、貿易の相手がオランダと中国だけになって、日本人が海外に行けないという点がある。 F 鎖国 ・幕府は貿易による利益を独占できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠となる資料を明確にし、自分がまとめた資料を使って発言することを押さえる。</li> <li>話型を意識しながら、できるだけ関連して発表するように声をかける。</li> <li>政策のメリットだけでなく、デメリットもあれば発表するように声をかける。</li> <li>それぞれの政策について、被支配者の立場から考えるように促し、板書の中に対立構図を示して議論の展開を図る。</li> <li>資料集にある藩の財政を見て、参勤交代と江戸屋敷にかかる費用が48%を占めることを確認する。</li> <li>農民が年貢だけでなく、宿場の応援などの課役があったことを知らせ、知立周辺の農民がその役を背負っていたことを連想できるようにする。</li> <li>鎖国の絵を提示し、オランダとの貿易が出島で行われていたことを連想できるようにする。</li> </ul>
9	3 学習の振り返りを行い、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の発表を聞いたりして感じたことを書き、授業の前と後での自分の変容に気付けるようにする。</li> </ul>

(4) 評価

- 江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたA～Fの視点を踏まえて、自分の考えを表現することができたか、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

## 5 実践の流れ

### (1) 第一次「三武将の魅力を探れ」 気付く (問題設定) ①【一斉】

「三人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」

資料1の簡易年表を提示し、江戸時代が長く続いたことに気付かせ、「なぜ江戸時代は長く続いたのだろうか」と問いかけた。「平和だった」「支配の制度がうまくいった」「徳川家康のおかげ」という意見が出されたので、「徳川家康の他に知っている戦国武将はいますか」と問いかけたところ、「織田信長」「豊臣秀吉」「武田信玄」らの名前が出てきた。

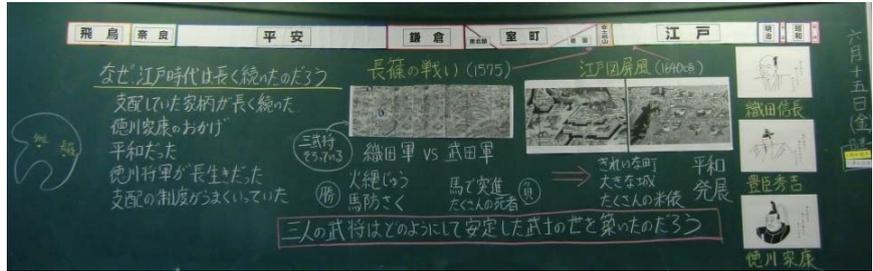
まず、これらの武将が集った長篠の戦い(1575)の様子が描かれている「長篠合戦図屏風」を提示し、織田軍の新しい戦術や織田信長の下で豊臣秀吉と徳川家康が戦ったことを確認した。

次に、「江戸図屏風」(1640頃)を提示し、安定した江戸の様子に気付かせた上で、「長篠の戦いから約65年後には安定した世の中になっている。3人の武将はどのようにして安定した武士の世の中を築いたのだろうか」と問いかけ、三武将について調べる指示をした。

多くの児童は戦国武将に興味をもっており、授業後の感想からは今後の調べ学習に対して意欲が感じられた。児童Aは「私たちの住んでいる近くでとても大きな戦いがあり、こんな有名な3人がいるのは今日、初めて知りました」「3人が何年に何をしていたのか知りたいし調べたい」とワークシート①(資料2)に書き、戦国時代に興味をもった。そして、他の児童も、三武将の性格が表れた俳句には強い関心をもった。そして、それぞれ調べたい武将について、常に「3人の武将は、どのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」を念頭において調べるように促した。

(2) 第一次「三武将の魅力を探れ」 調べる I (問題追究) 【個別】 ②【グループ】 ③

資料1 第1時の板書



資料2 児童Aのワークシート①「二つ絵図から分かること」

社会科ノート 名前 ( )

1 年表を見て  
 平安と江戸時代が長い時代

なぜ江戸時代は長いのか? → 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人がいたから。天皇が長生きしたから平和だった。徳川家康が軍政の安定を成している家だから長かった。

2 長篠の合戦(1575)を見て  
 1つの固まりで戦っている。個人で戦っている人はとても少ない。燃えている(右かど)川と山に囲まれている。  
 ・大、五の旗がある。・火縄銃を使っている。  
 ・馬防柵 ⇒ 織田軍 × 武田軍

3 江戸図屏風(1640頃)を見て  
 川が黒い。家がたくさんあり□になって回りはお店になっている。お侍がたくさんある。・大きな城がある。  
 平和、発展

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の肖像画が描かれ、それぞれ「お侍さん」と呼ばれている。織田信長と豊臣秀吉の横には「3人は何年に何をしていたのか知りたいし調べたい。」と書かれている。徳川家康の横には「私たちの住んでいる近くでとても大きな戦いがあり、こんな有名な3人がいるのは今日初めて知りました。織田は少しいじわるな人だと思いました。私は3人の中で一番徳川家康が好きです。な」と書かれている。江戸にはたくさんのお侍さんがいるので、これからは調べていきたいと思います。」と書かれている。

資料3 児童Aのワークシート②「豊臣秀吉の取組」

社会科ノート 名前 ( )

学習問題 「三人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか」

豊臣秀吉の取組みについてまとめよう  
 1590年(全統一)をなすとげる  
 その拠点として(大阪城)を築く

<豊臣秀吉が行った政策>

1 (大規模な) (1582~1598)  
 耕作方法を各地に広げさせた  
 ものさしやかりを統一した  
 全国同じ基準で田畑の面積を測ることで年貢を確実に取れるようになった

2 (刀狩) (1598)  
 百姓から刀を隠蔽せよ。お侍の武器を取り上げて戻さず  
 せまいようにした  
 集められた刀は今は今度つる方角の丸のくぎにする。と  
 理由を言っていた

(1) と (2) によって社会の仕組みはどうなった?  
 ・武士と町人(商人)という身分の区別が  
 ・武士と町人... 城下町に区別  
 ・農民... 農村に住んで、農具に専念する

秀吉ってこんな人! (その他の政策・エピソードなどを教えておう)  
 ・派手好き  
 ・明智光秀を討った  
 ・朝鮮使節(使臣)  
 ・金銀山を支配

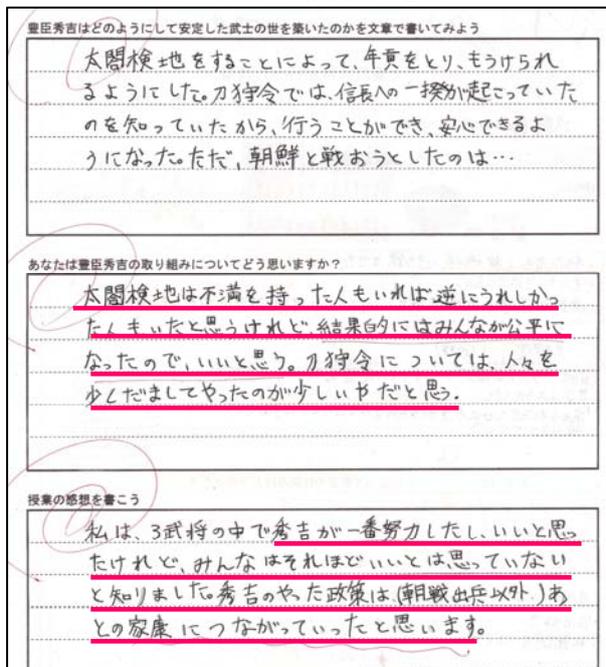
調べたい武将を一人決め、教科書や資料集などを使って、三武将の業績をまとめた。まず、一人調べノートに自分の調べた武将のことをまとめた。児童Aは豊臣秀吉が行った朝鮮侵略や検地、刀狩について箇条書きでまとめた。感想には「いろいろなことをやって努力した人なんだと思いました」と、秀吉の業績に共感する様子が表れていた。また、調べた内容をペアで教え合ったり、グループで伝え合ったりした。その際には、ワークシート②(資料3)に基本事項である語句を教科書や資料集から調べ、学び合っていた。

### (3) 第一次「三武将の魅力を探れ」 調べるⅡ (問題追究)【一斉】④⑤⑥

ワークシート②(資料3)に記載すべき事項を確認しながら、各武将が行ってきた政策について評価を加え、発表し合った。

児童Aは豊臣秀吉に関して、「太閤検地は不満をもった人もいれば、うれしかった人もいた。結果的にみんなが公平になったのでいい」「刀狩令は人々を少しだましてやったのが少し嫌だ」と書いた。また、みんなの意見を聞いた後の感想では、「秀吉が一番努力したしいと思ったけど、みんなはそれほどいいとは思っていない」「秀吉の政策は後の家康につながっていった」と書き、自分の意見は友達の見解とは違うが、秀吉は後の世に影響を与えた人であると捉えた(資料4)。これらの思いを基にして、もう一度三武将が行ったことを見直し、安定した武士の世の中を確立することに最も貢献した武将をMVB(最優秀武将)と決めようと問いかけた。

資料4 児童Aの授業後の感想



### (4) 第一次「三武将の魅力を探れ」 まとめる (問題解決)【個別】⑦

武士の世の中を確立した最優秀武将について、三武将の魅力やエピソードも交え、自分の意見を明確にしなが作文にまとめた(資料5)。

### (5) 第一次「三武将の魅力を探れ」 まとめる (問題解決)【一斉】⑧

第7時の各自の意見文を交換し合った。話し合いは徳川家康への支持から始まり、続いて豊臣秀吉の評価に及んだ。

児童Aは「農民だったのに天下取りになったのは、ずるいと思うものもあるかもしれないけど、秀吉はそうやって天下取りになるまでに見合う努力をしたから、天下統一ができたと思います」と発言し、豊臣秀吉が低い身分から天下統一を果たした努力を賞賛した。

また、家康は武田軍との戦いで敗北し、その経験を生かして天下が統一されたことが紹介された。家康が苦勞しながら江戸幕府を開いたことに共感した児童も多くいた。

資料5 児童Aの最優秀武将に対する意見文

#### 豊臣秀吉

武士の世の中を確立させた最優秀武将は豊臣秀吉だと思います。

一つ目の理由は、太閤検地を行ったことです。太閤検地では、測量の道具をみんなそろえたことによって国民みんなが公平に税を納めるようになりました。

二つ目の理由は、頭がいいことです。戦上手なことです。味方に付くことが利益で敵を説きふせ、降伏させました。もし、従わないときでも野外での合戦をできるだけ、敵を城に閉じ込め、相手ががまんできなくなるまで包囲しました。そうすることで、見方の損害をできる限り少なくしました。その戦法を使ったのが小田原城攻めです。・・・

再度、豊臣秀吉に話が及んだとき、秀吉の戦い方や朝鮮を攻めたことに対して、「ずる賢い」「欲張りすぎ」というマイナスの評価が出た。それらに対して、C6(児童A)「より自分の力を強めようとして努力し、天下統一を果たせた」という秀吉を擁護する意見も出た。そして、C7「冬の陣では、

朝鮮を攻めた秀吉の一族を攻めて、徳川家康がだましたみたいな感じで進めていって・・・」という発言から、当時の武将の戦い方にも触れ、C8～C10で秀吉を再評価する意見が出てきた(資料6)。

資料6 意見交換(豊臣秀吉について)の授業記録

＜豊臣秀吉はずるいのか＞	
C1	豊臣秀吉は、ずる賢いという感じになったかもしれないけど、頭がよかったから、戦のときに、自分の味方の被害をできるだけ少なくするために、敵を説得してできるだけ野外での合戦を少なくしたのは、秀吉の力にもつながったと思う。
C2	兵農分離を行って、農民の人たちが暮らしやすいようにしたこととかした。
C3	検地とかは年貢を納めるようにしたからいいと思うけど、天下統一してから、朝鮮だったかに手を伸ばしたのは欲張りすぎだと思う。
C4	C3の意見に反対で、朝鮮を攻めたのは確かに欲張りなのかもしれないけど、理由はそれだけじゃなくて、朝鮮と友好な関係をつくって、貿易を進めるということもあったと思う。
C5	でも、城攻めにしたというのはちょっとよくないと思う。
C6	C5の意見に反対で、確かにずるいのかもかもしれないけど、そうすることで、より自分の力を強めようとして努力し、天下統一を果たせたから、別にそれでいいと思います。
(児童A)	冬陣では、朝鮮を攻めた秀吉の一族を攻めて、徳川家康がだましたみたいな感じで進めていって、豊臣家を滅亡させたけど、それはそれでしょうがないと思う。
C7	秀吉はあまり好きではなかったけど、家柄が低い身分に生まれて、努力して天下統一を実現したから、すごいなと思いました。
C8	さっきのC6(児童A)に似ていて、朝鮮を攻めたことは、秀吉が力を強めて安定させようと思っていたことは私には分からなかったの、私は家康よりも上じゃないかなと思いました。
C9	私は豊臣秀吉を選んだけど、信長が天下統一を目指したから、秀吉がそれを実現できたと思います。
C10	

授業の終末では、三武将を新たに再評価する意見が出た。C11では「信長、秀吉がいなかったら家康も江戸幕府を開くことはできなかった」とし、3人の力が備わって天下を統一できたことが示唆された。また、児童AはC12で、「どの武将にもいいところと悪いところがあるから、全く悪いところがない人はいない」とし、時には策略を用いることで天下を統一した秀吉の能力を評価した(資料7)。

資料7 意見交換(まとめ)の授業記録

＜みんなの意見を聞いて＞	
C11	確かに、最終的に成功したのは家康かもしれないけど、信長、秀吉がいなかったら家康も江戸幕府を開くことはできなかったと思います。
C12	どの武将にもいいところと悪いところがあるから、全く悪いところがない人はいないと思う。秀吉が言った、「戦は頭でするものだ」という言葉は、ずるがしこさも時にも必要だという意味も含まれていると思ったから、ずる賢さを一番多く使ったのは秀吉だと思う。
(児童A)	秀吉は農民とかの低い地位から天下をとったから、調子に乗って朝鮮とかを侵略しようとして、失敗したから悪い方にとったけど、ものさしとか、後に残る、利用されるものを作ったりしたから、悪いところだけじゃないことが分かった。
C13	秀吉はやっぱすごいと思うけど、家康は今まで信長秀吉の力を借りて天下を取ったように見えたけど、今日、自分が戦いに負けたときの姿を教訓にして、家康が江戸幕府を開くときにたくさん努力をしたということが分かった。
C14	そうやってリレー方式で江戸幕府を開いたけど、この江戸幕府がなんで260年続いたのかというところは、まだ詳しく知りません。その3人が成し遂げてきたことを家康以降、どうやって江戸幕府が築かれたのかということは今度やっていきたいと思っています。
T	

資料8 児童Aの授業後の感想

授業後の感想では、児童Aは「どの武将もいいところ、悪いところがある」とし、発言内容を再度感想に書いて、秀吉が時にはずる賢く、頭脳を使って天下統一を成し遂げていったことに感銘を受けていた(資料8)。

ちゃんと考えれば、どの武将にもいいところ、悪いところがあると思います。逆に、全く悪いところのない人はいないと思います。「戦は頭でするものだ」という秀吉の言葉は、「ずる賢さもなければいけない」という意味も含まれているんだと思います。ずる賢さを一番うまく使ったのが秀吉だと思います。

(6) 第二次「江戸幕府の政策と人々」 気付く(問題設定)⑨【一斉】

「幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう」

江戸時代の浮世絵(歌川広重作)を提示した。すると、児童は「池鯉鮒(ちりゅう)と書いてあるから、昔の知立を描いている」ことはすぐに気付いた。しかし、池鯉鮒(ちりゅう)が江戸時代に宿場町で、多くの人々が行き来する交通の要衝であることは知らなかった。

そこで、古地図「東海道分間延絵図（とうかいどうぶんけんのべえず）の複製」を提示して、知立が昔、池鯉鮒（ちりゅう）と呼ばれていて、東海道の宿場町であったことを伝えた（写真1）。また、教科書にある加賀藩の参勤交代図について触れ、このような長い大名行列が、池鯉鮒宿を頻繁に行き来していたことを伝えた。すると、児童Aは「知立はいろいろな人が通っていて、意外と発展していたんだな」と書き、地域を見直すことができました。また、「何のためにこんなことをしたのか知りたい」と、大名行列について興味をもった。

写真1 「東海道分間延絵図」を見る児童



そこで、大名行列などの江戸幕府の政策について調べ、それがどのような効果となって幕府を長く維持できたのかという学習問題を設定した。

(7) 第二次「江戸幕府の政策と人々」

調べるⅠ（問題追究）【個別】⑩【グループ】⑪

調べるⅡ（問題追究）【一斉】⑫⑬⑭

江戸幕府が行った代表的な政策をワークシートに提示し、記載すべき事項を確認しながら、それらの政策について評価を加え、発表した。ワークシートは資料の読み取りを重視した。

< A 「大名の配置」と B 「武家諸法度」について >

ワークシート③（資料9）では、大名の配置や取り潰された大名の数のグラフ、そして武家諸法度の資料を読み取った。児童Aは「参勤交代は妻子が人質にとられ、遠い国の大名は大変だった。なぜそんなことをさせたのだろう」と書いた。また、友達の意見を聞く中で、「外様以外の大名も反乱を起こさなかったのか」という疑問をもった。さらに、意見を聞くことで、「幕府はいろいろな工夫をして世の中を安定させていったんだと思います」と書くに至った。このように、意見交換を行うことにより、幕府の政策に対する考えが深まっていった。

資料9 児童Aのワークシート③「大名の支配」

学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。」  
～ 大名の支配について ～

### A 大名の配置

江戸の近くや重要な土地に配置  
(親藩) …… 徳川氏一族の大名  
(譜代) 大名 …… 関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従った大名

江戸から遠い地域に配置  
(外様) 大名 …… 関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った大名

①徳川家康や三代将軍の徳川家光は、大名の配置をどのように工夫したかを文章で説明しよう。

親藩や譜代大名は信用があるから重要な土地や江戸の近くにおき、外様大名は江戸から遠い場所においた。

● (親藩) 大名  
● (譜代) 大名  
○ (外様) 大名  
■ 幕府が直接治めた都市

(徳川家光)

取りつぶされた大名の数

幕府	親藩	譜代	外様
徳川家康	91家	21家	1家
徳川家光	39家	27家	15家
徳川家継	15家	15家	

気がついたこと  
家康のころは外様が多いけれど、あとになっていって来ると親藩や譜代もつぶされるようになった

### B 武家諸法度

武家諸法度は、1615年に、幕府が大名を取りしめるために出した決まりです。

- ◆ 学問や武芸にはげみなさい。
- ◆ 毎年四月に(参勤交代)をしなさい。連れてくる家来は、自分の身分に合った人数にしなさい。
- ◆ 勝手に(城)をつくってはいけない。(城)の修理も、幕府の許しを得てからにしなさい。
- ◆ 幕府の許可なく、大名どうして(結婚)してはいけない。
- ◆ 500石以上の(大船)をつくってはいけない。

徳川幕府の大名の支配について、どう思いますか？

大名の配置の仕方は安全安心だからかと思っていいと思います。でも、参勤交代は妻子を人質にとったり遠い国の大名は大変だったので、なぜそんなことをさせたのだろうと思います。

みんなの意見を聞いて！！

武家諸法度で大名が守るようになったというのは、私も賛成です。でも、このルールの中にはなぜだろ？と思うものもあるので、外様以外の大名でも反乱を起こさなかったのかと思います。

探究の感想を書こう

家康のころは外様は味方になったはかりなので外様のとりつぶしが多ければ、後になってくると親藩、譜代が多くなっているのは、武家諸法度がかさずきたらだと思えます。外様が九州に多いけれど、なぜ九州は重要でなかったらうと思いました。幕府はいろいろな工夫をして世の中を安定させていったんだと思います。

### <C「参勤交代」について>

ワークシート④（資料10）では、参勤交代にかかる費用や、大名行列にかかる日数を示した。児童Aは「なぜ幕府はそんなことをしたのか不思議です」と書いた。この疑問はここでは明らかにせず、後の「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」において詳しく考えさせることにした。

また、池鯉鮒宿に大名行列が通っている浮世絵を提示したところ、児童は茶店の前で土下座をしている町民の姿に注目した。そして、大名行列が権威のあるものとして通行していることから、「池鯉鮒宿の人々は大名行列が来てほしかったのか」ということが話題となり、大名行列が宿場町の経済にとって重要であることが意識された。児童Aは「池鯉鮒宿の宿は周りがどのような環境だったのかと思います」と感想を書き、池鯉鮒宿の様子に興味をもつことができた。

資料10 児童Aのワークシート④「大名行列」

学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろう。」  
～ 大名の支配について（参勤交代）～

C 参勤交代

【参勤交代とは】

江戸幕府が大名を取りしめるために定めた制度の1つ。大名は（1）年ごとに江戸と（領地）を往復すること。大名の妻や子は、（人質）として江戸のやしきに住むことが決められました。

下のグラフを見て、気がついたことはありますか。

肥前藩（鍋島藩36万石）の1年間の予算

下の日本地図を見て、気がついたことはありますか。

参勤交代にかかった日数（各藩の宿下前から江戸までの日数）

池鯉鮒の宿場にも、大名行列は通っていた。

参勤交代について、どう思いますか？

遠い国だと大変だし、妻や子も大変でつらいと思うので、なぜ幕府はそんなことをしたのかがしきです。

友達の見聞を書いて

もし、土下座するのかわいやなからやらなかったら、自分たちの町を大名がきざらて、あまり物を買ったりしてくれなくなるかもしれないから、やめたと思います。

授業の感想を書こう

年に一回町かにぎわうので、よかったです。

池鯉鮒の宿はまわりがどのような環境だったのかと思います。前後の宿が遠いなら、店によってくれる大名も多かったと思うし、近くに大名なところがあれば、手伝って好感を持ってもらえるからです。

### <D「身分制度」について>

身分制度では、幕府による農民の支配について、身分ごとの人口の割合を提示して、わずか7%の武士が残りの93%の人々を支配していることを知らせた。また、農民のきまりと身分は基本的には変えることができないことを強調した。

児童Aは友達の見聞を聞き、「何でもかんでも制限されて、ほとんど自由はなかった」と書き、当時の農民の生活を想像した。また、「身分制度をつくることで差別されて大変な人もいれば、武士のように楽な生活をする人もいて、うらやましいと思っている人もいたと思います」と書いた（資料11）。

資料11 児童Aの授業後の感想

江戸時代の百姓の生活についてどう思うか書こう。

農民はがんばっていてもいい思いができません。幕府に制限されているので、大変だったんだろうと思います。

友達の見聞を書いて

なんでもかんでも制限されて、ほとんど自由はなかったと思います。反乱も本当にいつおそるか分からないくらいだと思います。

授業の感想

大変なことはわかりをさせられていた農民は、毎日とても苦しい生活を送っていたんだろうと思います。身分制度をつくることで差別されて大変な人もいれば、武士のように楽な生活をする人もいてうらやましいと思っている人もいたと思います。

以上のように、資料を読み取ったり、友達の意見を聞いたりして当時の人々の様子や思いを感じる事ができた。

資料 12 児童Aのワークシート⑤「身分制度」

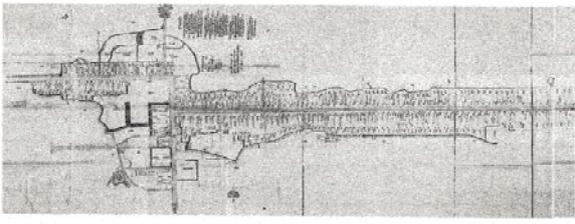
学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安んずらせていったのだろう。」  
～ 町人の支配について ～

D 身分制度について  
教科書76Pを読んで( )に語句を書こう

武士や町人は、豊臣秀吉の時代から、政治の中心である城下町に集められました。江戸をはじめ、全国につくられた城下町では、大名やその家来たちが住む武家地、寺や神社の地域、町人地など、(身分)によって住む場所が決められました。町人地では、町人たちが町という社会にまとまり、商業や手工業、流通、文化など、さまざまな仕事を営みました。

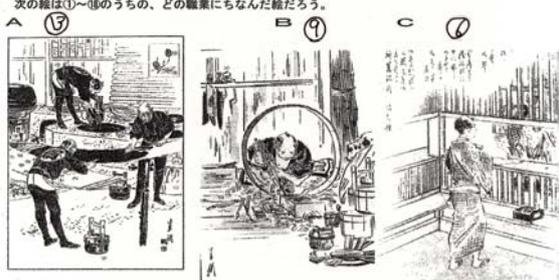
都市には城下町のほか、門前町や(宿場町)町、鉾山町などがありました。

池鯉鮒の宿場町にはどのような人々が住んでいたのだろう。<池鯉鮒宿場並図より>



①旅籠 32件	②茶屋 20件	③公家大 17件	④日置敷 13件
⑤酒屋 2件	⑥質屋 5件	⑦焼草屋 1件	⑧舌かね屋 1件
⑨福屋 2件	⑩曲げ物屋 1件	⑪小間物屋 1件	⑫米屋 1件
⑬和屋 4件	⑭桶立 2件	⑮茶屋 2件	⑯餅屋 1件
⑰鍛冶屋 1件	⑱手習師匠 1件		

次の絵は①～④のうちの、どの職業にちなんだ絵だろう。



D ⑬ 授業の感想を書こう

知立はにぎわっていてよかったです。大名行列は通りすぎるだけでも旅館ではない店は見てもらえたりするので来てもらうのはいいことであつたのかなと思います。いろいろな仕事をもつ人がいたんだと思いました。

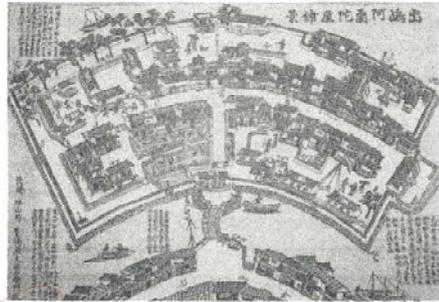
また、ワークシート⑤(資料12)では、町人の暮らしについては古地図である「池鯉鮒宿場並図」も提示し、池鯉鮒の宿場町にはどのような人々が暮らしていたのかについて興味をもたせた。児童は古地図に興味津々の様子で観察し、池鯉鮒の宿場町に32件もの旅籠があつたことに驚いた。宿泊施設が予想以上に多くあつたことから、宿場の人々は大名行列で来た人々に宿泊してほしいと願っていたであろうと考えた児童が多かつた。児童Aは、いろいろな店があつたことに驚きながら、「大名行列は通り過ぎるだけでも旅館でない店は見てもらえたりするので、来てもらうのはいいことであつたのかなと思います」と書いた(資料12)。

<E「宗教の統制」について>

授業では、幕府のキリスト教禁止について確認した後、絵踏みの実物資料(複製)を提示し、これが何かを想像させた。児童は「絵踏み」についてすぐに連想できた。しかし、そのような強制的な信仰については、嫌悪感をもつ児童がほとんどであつた。児童Aは、「キリスト教をやめさせられたとして

資料 13 児童Aのワークシート⑥「貿易の統制」

F 貿易の統制について  
これは一体何だろう? どんどころだろう? これは(出島)の絵



幕府のやり方 貿易の利益を独占

今の(長崎)につくられた人口の島で、(オランダ)との貿易の場所になった。

江戸幕府の外国への政策のことを(鎖国)という。

外国との貿易や交渉を行う場所を厳しく制限したため、貿易で得られる利益や海外からの情報などは、幕府がほぼ独占することになりました。

江戸幕府の貿易の統制についてどう思うか?

宗教を信じることは自由なので、一揆という理由だけでやめたのなら、一揆対策をすればいいと思います。貿易も独占してしまうと日本が発展できないと思います。

授業の感想を書こう

さんの、今貿易にたよっているから昔はどうだったのかという意見はなるほどなと思いました。私はその意見を聞いて、武士は足りなくても農民は苦しんだから一揆を起こしたのかなと思います。昔は一部の人ばかりがいい思いをすることが多かったのだらうと思います。

も、その人は仏教になっても不満はあったと思います」と書き、当時の人々に思いを寄せて考えていた。しかし、この政策が幕府にとってどのような意味をもつかについては明らかにならなかったため、後の話し合いにもちこすことになった。

## < F 「貿易の統制」について >

ワークシート⑥では、出島の地図を提示し、これがどんなところなのかを問いながら基礎事項を確認した。また、江戸幕府の統制についてどう思うのかを書いて発表した。

児童Aは、「貿易を（幕府が）独占してしまうと日本が発展できない」と考えた。また、友達の発言を聞き、「なるほどなと思いました」と書いた。相互に考えを交換することによって、考えを深めている様子が伺えた（資料13）。また、これまで習ったことを生かして、「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」について改めて考え、意見をまとめて発表することにした。

### (8) 第二次「江戸幕府はなぜ長く続いたのだろう」まとめる（問題解決）【個別】⑮⑯【一斉】⑰

まず、幕府の政策に対する民衆・大名・武士にとってプラス面・マイナス面を表にまとめた。その後、「江戸幕府はなぜ長く続いたのだろう」というテーマについて、江戸幕府の政策のうち、最も有効であると考えたものを基に資料を活用しながら意見文を書いた。そして、意見交換を行った。児童Aは、大名の配置と武家諸法度について意見文をまとめた（資料14）。

意見交換（資料15）では、授業ではまず、参勤交代のことが話題になり、関ヶ原の戦い以降に家来となった外様大名に長い距離を歩かせ、大量にお金を使わせて、弱体化する意図があったということが理解できた。また、参勤交代は街道の整備や地方文化の発展を促すことに寄与することが明らかになった。その恩恵は当然に池鯉鮒宿にもあったことが再確認できた。

児童Aは、C15で武家諸法度に触れ、「守りたくないという大名はいたと思うけど、武家諸法度を守らないと自分の土地がつぶされたり、減らされたりするから守るようになったと思う」と発言し、幕府の強化に従わざるを得なかった大名の立場を考えた。また、C17で児童は、「昔から仕えていた人はより信頼され、領地をたくさんもらえたりしたから、親藩や譜代は裏切らなかった」とし、大名の配置が江戸幕府を長く続かせる要因であったことを主張した。

#### 資料14 児童Aの意見文

##### 江戸幕府はなぜ長く続いたのか

私は、江戸幕府が行った大名の配置と武家諸法度が効果があったと思います。

江戸幕府は、大名を徳川家の親せきである親藩、古くからの家来である譜代、関ヶ原の戦い後に従った外様に分けました。資料集を見ると、親藩は江戸から関西にかけて散らばっていて、重要な土地にいます。譜代も、親藩の近くが多く、外様は関西よりも西や東北などの遠い場所に多いことが分かります。江戸幕府は配置を考えることで重要な土地を安心して任せられるようになりました。

さらに、武家諸法度を守らせるためにも大名の配置は使われていて、資料集のようなきまりを守らない大名は取りつぶされたり、領地を変えられたりしました。大名は、自分の領地を守りたいので、武家諸法度を守るようになり、幕府も長続きすることができたと思います。

#### 資料15 意見交換（まとめ）の授業記録

	< A: 大名の配置 B: 武家諸法度 >
C15 (児童A)	武家諸法度を守りたくないという大名はいたと思うけど、武家諸法度を守らないと自分の土地がつぶされたり、減らされたりするから守るようになったと思う。
C16	大名からしたら武家諸法度は幕府の都合にいいものだったから苦しかったけど、幕府にとったら全て幕府の指示で大名が動くから、いい政策だと思う。
C17	外様は裏切りたくても江戸から遠い場所に配置されていて、裏切ろうと思ってもすごい時間がかかるから裏切れなくて、昔から仕えていた人はより信頼され、領地をたくさんもらえたりしたから、親藩や譜代は裏切らなかったのだから、効果があったと思う。
	< D: 身分制度 >
C18	百姓を土地にしばりつけることで、大名とか武士にとっては世の中が平和になって、それによって江戸幕府が安定したと思います。
T2	じゃあ、身分制度はいいことばかり。デメリットはないわけ。
C19 (児童A)	大名は常に自分が一番上で、続けられるかいいけど、百姓や町人はいくらがんばっても上には上がれないというのとはとても不満があったと思う。
C20	百姓や町人よりも更に身分が低い人もいるから、大名にとってはいい制度だけど、それ以外の人にとってはとてもつらい制度だったと思う。

	<E:キリスト教の禁止, F:鎖国>
T3	キリスト教の禁止と鎖国についてどうですか。
C21	キリスト教を禁止することで、幕府が心配していた命令を聞かずに反発が起きる心配がなくなったと思います。
C22	鎖国をすることで、貿易を独占したので、幕府にはお金がたまったと思う。
C23	C22に付け足して、出島という小さい島で貿易する場所が1箇所のため、海外からの貿易や情報が独占できたということもありました。
T4	そうすると、鎖国というのはデメリットがないのかな。
C24	キリスト教を禁止して、ポルトガルとかと貿易しなくなって、貿易の幅が狭くなったと思う。これは世界から取り残されることになると思う。
C29	江戸時代は長く続いて、それはいろいろな政策があつて、武家諸法度だったり、参勤交代だったり、それらが合わさって長く続いたのだと思う。
C30	武家諸法度が一番効果があるかなと思ってたけど、デメリットもあるし、他の政策も十分効果があつたと思うから、全部合わさって長く続いたのだと思う。

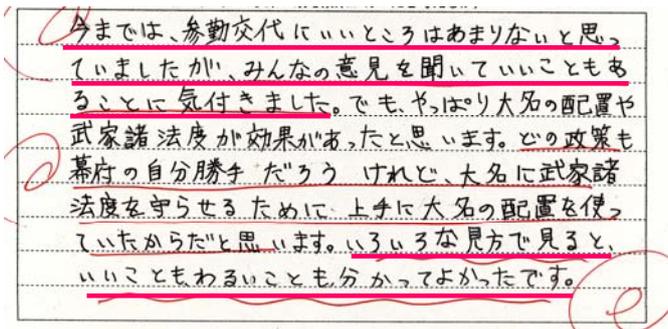
次に、身分制度について話題となった。C18で幕府や武士にとっては、農民を土地にしばりつけ、耕作に専念させるのに好都合な制度であることを指摘した。しかし、児童AはC19で「大名は常に自分が一番上で、続けられるかいいけど、農民や町人はいくらがんばっても上には上がれないというのはとても不満があつたと思う」と述べ、身分制度の閉鎖性を指摘した。

最後に、キリスト教の禁止と鎖国について意見を述べ合った。キリスト教を禁止することで、天草・島原の乱後は反乱もなくなり、一定の成果を上げたと判断した児童が多かった。しかし、C24で「キリスト教を禁止して、ポルトガルとかと貿易しなくなって、貿易の幅が狭くなったと思う。これは世界から取り残されることになると思う」との発言もあり、他の児童も納得した様子であった。幕末の事象につながる重要な意見である。

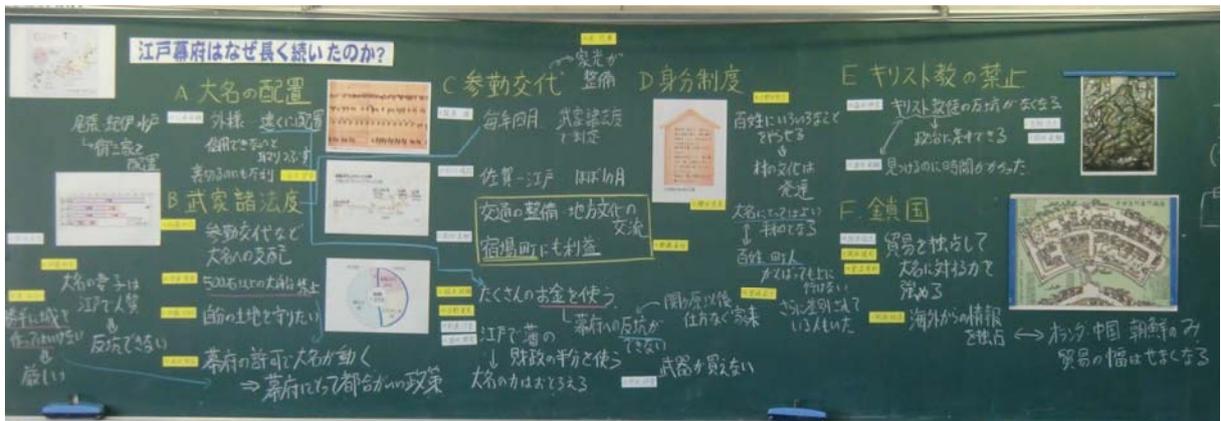
そして、江戸幕府が様々な政策を駆使して全国を統一し続けたことが明らかになった(資料16)。

児童Aは「今までは・・・みんなの意見を聞いていいこともあることに気がきました」「いろいろな見方で見ると、いいことも悪いことも分かってよかったです」と授業後の感想に書き、話し合いによって多面的に物事を捉えることができたことが伺えた(資料17)。

資料17 児童Aの授業後の感想



資料16 第17時の授業の板書



(9) 第三次「池鯉鮒宿に生きた人々」 まとめる(問題解決) ⑱【個別】 ⑲【一斉】

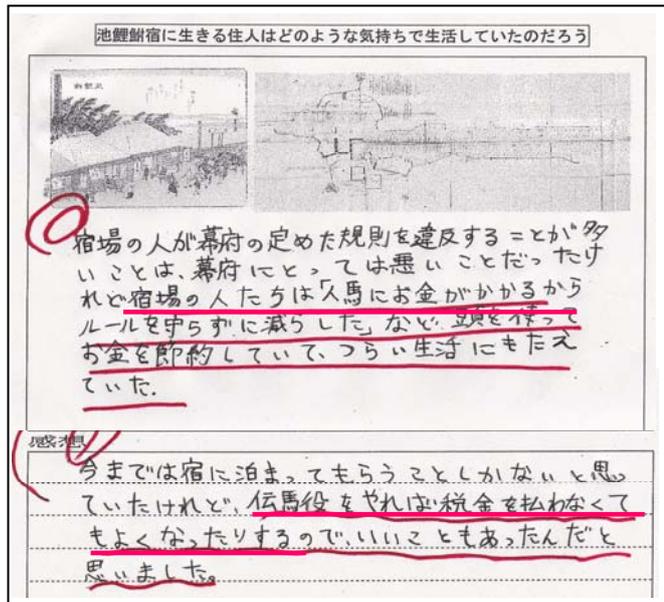
単元の最後に、発展学習として池鯉鮒宿の人々の気持ちを考えることにした。以前、池鯉鮒宿を通る大名行列を描いた浮世絵について、土下座をしている町民の気持ちを考えたが、もう一度「池鯉鮒宿に生きる住人はどのような気持ちで生活していたのだろう」というテーマで考えることにした。また、知立市史の近世「知立の宿場」を児童向けに簡単に訳した資料を使い、各自調べた。

児童Aは、ワークシート⑦に、「宿場の人たちは人馬にお金がかかる」としながらも、「伝馬役をや

れば税金を払わなくてもよくなったりする」と書いた(資料18)。宿場町には人馬を供給して荷物の継ぎ送りを行う伝馬役や、それを一種の税として行う農民の助郷制度があり、決して暮らしは楽ではなかった。しかし、大名行列が宿泊してくれなくては、宿場経営は成り立たない。このようなジレンマを抱えながら生活していた宿場町の人々について、調べ、考えたことを交流した(資料16)。

授業では、池鯉鮒宿の人々が苦労していた様子が紹介された。また、C33では日光例幣使について、C37では琉球使節について、C38ではお茶壺道中についてもふれた。

資料18 児童Aのワークシート⑦

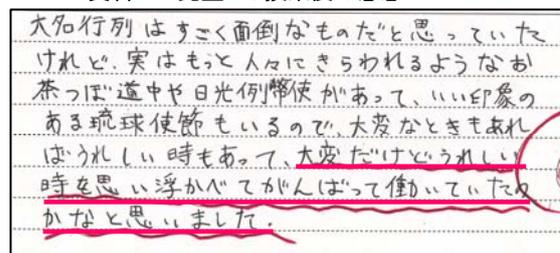


資料19 意見交換(まとめ)の授業記録

- C31 : 大名が宿に泊まってくれるといいけど、人馬のただ働きが多く、運送費がかなり赤字だったそうです。だから、とても大変だと思いました。
- C32 : 大名に泊まってくればもうかるけど、泊まってくれないと土下座するだけだから疲れると思います。
- C33 : 日光例幣使が来ると、借金して宿代を払わないので、困っていたと思う。来てほしくなかったと思います。
- T1 : 徳川家康が日光に祭られたので、徳川家康をあげるために通った行列がある。すごく権威があったんだね。時にはわがまま言ったりする。そういう場合もあったそうだね。
- C34 : 宿場の人は人馬にお金がかかるからルールを守らずに減らしたけど、そうやって宿場の人は頭を使ってお金を節約して辛い生活に耐えたのだと思います。
- T2 : この前も言ったように、荷物を宿場から宿場へ継ぎ送りしていたのだね。だから、そのための馬を常に宿で決められた頭数を飼っておかなくてはいけなかった。でも飼っておくのはすごくお金がかかるから、決められた数よりも少ない数で何とかやっていたということだね。
- C35 : 旅籠の人は大名が来ないか、夜は寝ずに一晩中ちようちんを持って見張らなくてはいけぬ。旅籠の人は一日中大変で、大名行列が来た日は辛いと思います。
- C36 : 旅籠や茶屋は大いにもうかったけど、運送費は赤字で大名にとって負担なので、全体的には負担だったと思います。
- C37 : 琉球使節も池鯉鮒宿に泊まっていたから、そういう場合は宿ももうかったと思います。
- T3 : 琉球使節は今の沖縄から来ていた使節だね。
- C38 : お茶壺道中はお金も払わず、来るとすごく困ったと思います。
- T4 : お茶壺道中って分かる? 何と将軍が飲むお茶を宇治、京都から大名行列みたいに運んだ。やはり権威があったから、壺に向かって土下座もしなくてはいけぬし、わがまま言っていたみたいだね。
- C39 : 道路などを無理やり作らせて辛い気持ち。旅籠や茶屋に税金をかけるとお金持ちから借金するので大変。馬を置いておくと、莫大な費用を使う。幕府に言いなりの生活をしていたということもあります。
- C40 : 宿場は大名が来るように努力していたと思う。でも、来れば来たで大変だったと思います。
- C41 : 交通量が増加し、必要な人馬の数は無制限に割り当てられた。助郷役は命令されれば必ずやらなくてはいけぬ。いいところも悪いところもありました。
- C42 : 来れば栄えるので、来てほしい。もうけたりして「うれしい」と思う人が多かったと思います。でも、大名行列は「いやだな」と思う人の方が多かったと思います。
- C43 : でも、大名行列が来てくれたら、すごくうれしい気持ちで生活していたと思います。

意見交換の授業後、児童Aは、「大変だけどうれしい時を思い浮かべてがんばって働いていたのかなと思いました」と感想を述べている(資料17)。どの児童も、苦労しながらも宿場を運営しながら努力している当時の人々の姿を思い描いており、江戸幕府が、名も無き人々の日々の営みによって支えられ、存続したことを感じる事ができた。

資料20 児童Aの授業後の感想



## 6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例

(N=31)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
①	<p>3人の武将はどのように安定した武士の世の中を築いたのだろうか。</p> <p>&lt;A判定&gt; 3人の武将について関心をもち、誰の<u>何について</u>調べるのかを考えている。</p> <p>&lt;B判定&gt; 3人の武将について関心をもち、誰について調べるのかを考えている。</p> <p>(例) A 安定した武士の世の中を築くために、織田信長はどんな政治を行ったのかを調べたい。</p> <p>A 安定した武士の世の中を築くために、織田信長はどんな人物だったのかを調べたい。</p> <p>B 安定した武士の世の中を築いた織田信長のことを調べたい。</p> <p>B 織田信長に興味があるから調べたい。</p> <p>B 織田信長のことを聞いたことがあるから調べたい。</p> <p>C 織田信長を調べたい。</p> <p>-----</p> <p>&lt;Cを支援する手だて&gt;</p> <p>3人の武将(織田信長)がどのような人物で、どのような政治を行うことで、天下統一を成し遂げようとしたのか、教科書や資料中の書かれている箇所を示す。</p>	7	16	8
⑧	<p>武士の世の中を確立させたMVB(最優秀武将)を決めよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; 武将の業績について、<u>他の武将と比較しながら</u>、そのよさを判断して、それらを自分の考えの根拠として表現している。</p> <p>&lt;B判定&gt; 学習したことを基にそれぞれの武将の業績について振り返り、自分の考えや根拠となる事柄を表現している。</p> <p>(例) A 信長の楽市楽座は商業を発展させたのでいいと思うが、豊臣秀吉は刀狩や検地を行うことで、確実に年貢を得るばかりでなく、一揆できないようにし、身分制度を確立させたのだから、最も優れた武将だと思う。</p> <p>A 豊臣秀吉は数々の戦いにも勝利し、武士の身分を確立させて、天下統一を成し遂げたのでいいと思うが、その基礎を築いた織田信長がいなければ、豊臣秀吉の天下統一はなかったと思う。だから、織田信長が最も優れた武将だと思う。</p> <p>B 織田信長は楽市楽座を行うことで、経済を発展させ、自らの経済的な力を強くして天下統一の基礎を築いたので、最も優れた武将だと思う。</p> <p>B 豊臣秀吉は刀狩や検地を行うことで、身分制度が確立したのだから、最も優れた武将だと思う。</p> <p>B 徳川家康は小さい頃人質になるなどしたが、我慢を重ねながら数々の戦いに勝利し、最後に安定した江戸幕府を築いたので、最も優れた武将だと思う。</p> <p>C 徳川家康は、やっぱりすごい武将だと思うから最も優れた武将だと思う。</p>	15	11	5
⑨	<p>幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろうか。</p> <p>&lt;A判定&gt; 徳川幕府が築いた支配体制の在り方について、<u>大名行列の意義を考</u> <u>えながら</u>学習問題を考えている。</p> <p>&lt;B判定&gt; 徳川幕府が築いた支配体制の在り方について学習問題を考えている。</p> <p>(例) A 幕府は大名行列のような制度を使って、幕府の権威を保ちながら多くの人々を従えたが、他にどのような政治を行っていたのだろうか。</p> <p>A 幕府が大名行列を行っていたのは、将軍にあいさつをさせることだと思うけど、どうやってそんなことをさせたのか。もっと大名行列やそのほかの制度について調べてみたい。</p> <p>B 幕府は大名や人々をどのように従えながら政治を行っていたのだろうか。</p> <p>B 大名行列はどのようにして行われていたのだろうか。</p> <p>B 大名行列の他にどのような制度があったのだろうか。</p> <p>C 江戸幕府について調べたい。</p>	8	18	5

	<p>&lt;Cを支援する手だて&gt; 大名行列について、なぜそのようなものが行われたと思うかを再度問い、さらに教科書や資料集中に江戸幕府の様々な政策が書かれている箇所を示す。</p>			
⑰	<p>江戸幕府はなぜ長く続いたのか、幕府の政策を踏まえてまとめよう。 &lt;A判定&gt;江戸幕府の政治が安定した理由を、<u>それぞれの政策のプラス面やマイナス面を考え</u>、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。 &lt;B判定&gt;江戸幕府の政治が安定した理由を、これまで調べてきたことを踏まえて、自分の考えを書いている。 (例)A 大名行列はたいへんなお金を使うために、街道沿いが潤うが、藩の財政を苦しめてしまった。そのために各藩は幕府に反抗できなくなり、幕府が安定した。 A 武家諸法度は外様などの大名にとっては厳しい内容だったと思うが、これを守らなければ取り潰しにあたりるので、仕方なく従ったと思う。これが幕府の安定につながったと思う。 B 大名行列などにより、江戸幕府に反抗できなくなり、幕府が安定した。 B 身分制度は、農民や町民にとって厳しく、武士の身分が確立して幕府の安定につながった。 B 鎖国を行うことで、貿易上の利益を独占することができ、幕府の安定につながった。 C 身分制度や大名行列のおかげで江戸幕府が長く続いた理由が分かった。</p>	16	9	6
⑱	<p>池鯉鮒宿の住人は武士の世の中をどのように思っていたのだろうか。 &lt;A判定&gt;池鯉鮒宿の宿場町に生きた人々の思いを、<u>宿場機能を維持する際の苦労も理解しながら</u>想像している。 &lt;B判定&gt;池鯉鮒宿の宿場町に生きた人々の思いを想像している。 (例)A 池鯉鮒宿の人々は、荷物の継ぎ送りに苦労しながらも、多くの大名行列や旅人に宿泊して、宿場町がもうかってほしいと思い、努力をしていた。 A 宿場町の人々は、お茶壺道中や日光例幣使の横暴に苦慮しながらも、大名が多く宿泊してもうかることができるように、努力をしていた。 B 池鯉鮒宿の人々は、多くの大名行列や旅人に宿泊してほしいと願っていた。 B 宿場町の人々は、苦労してもお金がもうかるとうれしいから、懸命に働いていた。 B 宿場町の人々は大名が泊まってくれるとうれしいが、負担も大きいのでいやだと思っていた。 C 大名行列が来るときは土下座してはいけないので、来てほしくなかったと思う。</p>	15	10	5

## 7 単元定着後評価

単元終了時に事後テストとその2か月後に保持テストを行った。それぞれ予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にさせず、テストの時間は20分間とした。また、設問②の使用させたい語句は提示せず、文章表現をする記述式のテストで実施した。

設問① 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の誰か一人を選び、三つの語句について説明しながら、その武将がどのように国をまとめていったかを書きなさい。また、その武将についてどう思うかを、理由を付けて述べなさい。

<語句>

- 織田信長・・・楽市楽座 商業都市の支配 キリスト教
- 豊臣秀吉・・・刀狩 検地 武士と農民の身分が明確になる
- 徳川家康・・・江戸幕府 征夷大將軍 一国一城令

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=31)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点の語句について関連付けて説明し、その武将についてどのように思ったかが書けている。	12	14
B	1点～2点の語句について関連付けて説明できる。または、語句を列挙し、その武将についてどのように思ったかが書けている。	16	13
C	1点の語句も説明できない。または、その武将についてどのように思ったかのみ書いている。	3	4

★ 解答例A

○織田信長

・**楽市楽座**を行い、誰でも自由な商売ができるようにしました。また、**商業都市の支配**によって税金を集め、鉄砲や軍備を整えていきました。さらに、**キリスト教を保護**して、仏教勢力に対抗しました。私はこのように効果を上げた政策を行い、天下統一を目指した織田信長はすごいと思いました。

○豊臣秀吉

・**刀狩**を行い、農民が武器をとって反抗できなくなりました。また、**検地**を行って田畑の面積を記録し、年貢を確実にとれるようにしました。そして、これによって農民は武士に反抗できなくなり、身分の確定と兵農分離がおり、**武士と農民の区別をはっきりさせる**ことになりました。私は織田信長の意志を受け継ぎ、努力することによって、秀吉は天下統一を成し遂げることができたのだと思いました。

○徳川家康

・江戸に150年続く**江戸幕府**を開き、武士の総大将である**征夷大將軍**となって江戸を中心とする政治を行いました。また、**一国一城令**を出して、大名以外の城を取り壊すことで、幕府に反抗する勢力をどんどん減らしていきました。家康はこのような政策を行うことで江戸幕府が長く続く土台をつくったので、頭がいい人だと思いました。

★ 解答例B

○織田信長

・**楽市楽座**を行い、誰でも自由に商売をできるようにしました。そして**商業都市の支配**を行って、力を強めていきました。また、**キリスト教の保護**を行い、西洋文化を取り入れていきました。楽市楽座とキリスト教の保護は人々を幸せにしたからよかったけど、商業都市の支配は人々に不利益だったと思うので、よくなかったと思います。

○豊臣秀吉

・全国で**刀狩**や**検地**を行いました。それによって**武士と農民の身分が明確**になりました。農民はいくらがんばっても農民から抜け出すことができずに、不満があったと思います。しかし、天下を統一して戦国の世を終わらせた点はいいいと思います。秀吉はとて頭がいい人だと思いました。

○徳川家康

・**江戸幕府**を開き、**征夷大將軍**となりました。そして、**一国一城令**を出して多くの城を破壊し、大名の力を弱くしていきました。家康は優しい人だという評価もあるけれど、時には冷たく大名にあたりながら自分の力を強めていき、全国を支配していったのだと思いました。

★ 解答例C

○織田信長

・織田信長は楽市楽座や商業都市の支配し、天下統一を目指して武田軍の戦いに勝ちました。最後は死んでしまったけど、その思いは豊臣秀吉に受け継がれたと思います。

○豊臣秀吉

・豊臣秀吉は貧しい身分から努力して天下統一を果たしました。すごいことだと思いました。

○徳川家康

・徳川家康は江戸幕府を長く続かせて、すごいと思いました。我慢強かったと思います。

設問② 江戸幕府のさまざまな政策について、下のどれか一つ（関連したものであれば二つ以上も可）を選び、その政策がどのように行われ、江戸幕府にとってどのようなよさがあったのか（またはよくない点があったのか）を書きなさい。また、その政策について自分がどう思うのかを書きなさい。

<政策> 大名の配置 武家諸法度 参勤交代 身分制度 キリスト教の禁止 鎖国

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問②における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=31)	
		事後テスト	保持テスト
A	3点の事柄について関連付けて説明し、その政策についてどのように思ったかが書けている。	12	14
B	1点～2点の事柄について関連付けて説明できる。または、3点の事柄を列挙し、その政策についてどのように思ったかが書けている。	15	13
C	1点の事柄も説明できない。または、その政策についてどのように思ったのかのみ書いている。	4	4

<使用させたい語句>

大名の配置 …親藩、譜代、外様、関ヶ原の戦い、武家諸法度、参勤交代、領地替え  
 武家諸法度 …参勤交代、勝手に城、500石以上の大船、大名同士で結婚、幕府の許し  
 参勤交代 …大名行列、武家諸法度、多額の資金、人質、外様、地方文化の発達、交通整備  
 身分制度 …7%の武士、身分を変えられない、朝から晩まで働く、麻と木綿、酒・茶、はた織、麦・あわ・ひえ  
 キリスト教の禁止…幕府への反抗、宣教師、絵踏み、天草・島原の乱（大きな一揆）、鎖国、隠れて信仰（隠れキリシタン）  
 鎖国 …キリスト教の禁止、オランダ、出島、長崎、貿易・情報を独占、清・朝鮮、発展が遅れる

★ 解答例A

○大名の配置

・江戸幕府は江戸から近い位置や重要な位置に親藩や譜代大名を配置するなどの領地替えを行いました。これによって、外様大名は江戸より遠い位置に配置され、参勤交代ではお金がかかることになりました。こうして江戸幕府に反抗しにくくさせることにもつながったので、江戸幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

・武家諸法度で毎年4月に参勤交代を行うことが決められました。また、500石以上の大船をつくってはいけない、幕府に許可なく勝手に城をつくってはいけない、許可なく大名同士で結婚してはいけないなどが決められました。こういった大名への制限を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○参勤交代

・武家諸法度で定められた、毎年4月に大名行列を行うことは、特に外様大名のように遠い位置にある大名は多額の資金が必要でした。また、大名の妻や子を江戸に人質として住まわせなければなりません。このように参勤交代を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○身分制度

・わずか7%の武士を多くの農民や町人が支えていました。生まれつきの身分は変えられず、農民は朝から晩まで働かされ、麻と木綿の服、酒・茶は禁止され、女性ははた織に励むことが奨励されました。また食事は麦・あわ・ひえを食べるとされ、米は年に数回のみとされました。身分制度は武士にとっては都合のいいものだったけど、農民にとっては辛い制度だったと思います。

○キリスト教の禁止

・幕府への反抗を恐れ、キリスト教を禁止し、鎖国を行って宣教師を帰国させました。また、

天草・島原の乱（大きな一揆）をきっかけに禁止をいっそう強化し、絵踏みをして隠れて信仰しているキリスト教徒の発見に努めました。幕府がそこまでの必要はないと思います。

○鎖国

- ・江戸幕府はキリスト教の禁止を行い、長崎の出島でオランダと貿易を行いました。また、幕府は貿易・情報を独占しました。幕府は大きな利益を上げることができたけど、貿易と情報が限定されたのはよくなかったと思います。

★ 解答例B

○大名の配置

- ・江戸幕府は信頼のある大名を江戸の近くに配置し、外様大名を遠くに配置しました。これは幕府に反抗しにくくさせることにもなったので、幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

- ・武家諸法度は幕府の許しを得なければいけないことも多く、大名は大変だったと思います。でも、大名への制限を行うことで、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○参勤交代

- ・大名行列は多数の人々が列になって1か月以上移動します。とてもたくさんのお金を使いました。このように参勤交代は大名にとってすごく負担をかけました。でも、幕府に反抗する大名はいなくなり、江戸幕府が長く続いたのだと思います。

○身分制度

- ・少ない武士を多くの農民が支えていました。農民は朝から晩まで働かされ、苦しい生活をしていました。農民は辛かったと思います。

○キリスト教の禁止

- ・幕府への反抗を恐れ、キリスト教を禁止しました。絵踏みを行って、隠れながら信仰しているキリスト教徒の発見に努めました。幕府はやりすぎたと思います。

○鎖国

- ・江戸幕府はキリスト教の禁止を行い、鎖国を行いました。鎖国をしたので外国の情報が制限されて発展が遅れてしまいました。それが逆に幕府を終わらせることになるのだと思います。

★ 解答例C

○大名の配置

- ・大名の配置を工夫したので、江戸幕府が長く続くことになったと思います。

○武家諸法度

- ・武家諸法度は厳しくて大名は言うことを聞かないといけなかったのは辛かったと思います。

○参勤交代

- ・参勤交代が通ると、宿場の人たちは頭を下げなければいけなかったもので、町の人は大変だったと思います。

○身分制度

- ・身分制度によって農民は辛かったと思います。

○キリスト教の禁止

- ・キリスト教を禁止するのはよくないと思います。自由にすれば不満もなく、一揆は起こらなかったと思います。

○鎖国

- ・外国との付き合いがないので、閉じられた中での政治は幕府にとってはよかったけど、一般の人にとっては何のよさもなかったと思います。

## 8 成果と課題

### (1) 成果

#### ① 4段階の各学習過程を伴う問題解決的な学習を取り入れた学習活動

第一次は、年表や資料を使って「江戸時代はなぜ長く続くことができたのか」という単元を貫く学習問題を持ち、三武将の取組に注目させた。さらに、第二次は昔の知立に東海道が通っていたことを意識させ、江戸の政策を調べる意欲付けを図った。この導入によって、人物の営みを意識しながら問題解決的な学習が継続できたと考える。また、調べ学習を支援し、評価によって個々の学習状況を把握することが、後の話し合いに有効に作用したと考える。

## ② ワークシートによる学習支援

調べ学習は学習内容が拡散する。また、基礎的事項の共有化を図る必要もある。習得させたい用語や事実を確認するコーナーと考えさせたいワークシートを工夫することで、知識を共有化し、拡散した学習内容を焦点化して考えどころを生み出したり、話し合いを活発化させたりする発問に至ることができた。

また、各シートに記述された内容は、児童が何を調べ、何を分かっているのかを知ることができ、その評価を指導に生かすことができた。

## ③ 協同学習における話し合いの設定

問題解決的な学習の過程において、調べた事実を基にして考え、考えたことをお互いに表現し合った。第一次「武士の世の中を確立させたMVBを決めよう」、第二次「江戸幕府はなぜ長く続いたのか」という学習問題に対し、支配者の立場だけでなく、被支配者の立場からも考えることで、その政策の意義を見つめ直し、当時の人々の思いを深く考える契機となった。そして、他者との表現活動により、考え方の視野を広げ、立場を変えて社会的事象を考察することができたと考える。

### (2) 課題

#### ① ワークシート作成の在り方

調べ方やまとめ方の学び方を指導することを意図して、ヒントの多いワークシートを作成したが、中にはうまく活用できない児童もいた。ヒントの多さをどの程度にするかも依然として問われる。詳細なものにすると、調べ学習をさせた意味がない。個々の調べを把握し、授業に生かすためにはどのようなワークシートにすべきかをより考察したい。

#### ② 時間数の確保

4段階の学習過程を伴う問題解決的な学習は、時間数がかかってしまう。ほとんどの児童は興味を持続しながら授業に臨むことができたが、中には「同じことの繰り返しで飽きてしまった」と表現した児童がいた。テンポよく解答を吸収したいという意欲をもつ児童のよさを引き出しながら、また、教科書の基本的な語句や知識を確実にマスターさせながら、限られた時間数で授業展開を行っていく教材開発のスキルを磨いていかなければならない。

#### ③ 話し合いの授業をコーディネートする教師の力量向上

話し合っ、他者との考えを比較することは歴史の多面的・総合的な見方を育て、思考力・判断力を高めるのに有効であることは、単元終了後の感想からも明らかである(資料 21)。そのためにも話し合う学習問題に対し、各自の児童がどのような意見をもっているのかをワークシートで把握することは当然のことである。その上で学習問題に対する個々の意識のズレを見定め、授業の中で顕在化させながら議論を盛り

上げていくための教師の力量がますます問われる。児童が話し合いに慣れるとともに、教師がいかに話し合いをさせていくことに慣れるかが、問題解決的な学習を成功させる鍵となる。

そのために日々研さんを怠ってはならないと改めて感じている。

資料 21 単元終了後の児童の感想

江戸時代の最初の時は、お城の人物のことが分からなくて、困っていたけど、一人調べノートやワークが始まってから、3人の武士のいろいろなこととかを調べたりして、すごく江戸時代の興味をもちました。私は、3人の武士の中で、豊臣秀吉の政策などに興味を特にもちました。MVBの中でも、秀吉を選んで調べたりしました。話し合いの時に他の武士の知らなかったことがいっぱいあって、私もすごくいいことさしていろいろ分かりました。江戸幕府が長く続いた政策とかの話聞いても、いろいろな意見か出ていい点と悪い点が平等ぐらいにあり私は、おもしろかったです。でも、いろいろなことを予想したりして、すごく考えるのがおもしろかったです。江戸時代は、これまでの時代の中で、いろいろなことができたので、おもしろい時代だなと興味をもちました。	どの武将も、それぞれ独自の政策で工夫をしていたと思います。でも、どの政策もいいというような完璧な人はいないので、それなりの反発もあったと思うけれどそれを乗り越えていったから安定させられたんだと思うと思います。また、江戸幕府の政策を幕府、大名、農民、それぞれの立場に立ってメリット・デメリットを比べた時には、たれかがメリットばかりあるわけではな、いことが分かりました。池鯉鮒宿の人々の気持ちを考えた時には、大名行列に土下座をしなければいけないのが「いやだ」という意見と「いつか来てくれるようにがんばる」という意見があり、どちらの意見もあって、どちらが正しいのかはまよいました。それぞれの立場から考えるといろいろなよさや悪さが見えてきました。
---	---

### 【検証授業Ⅲ】

尾張旭市立城山小学校 6年

## 1 単元 明治の国づくりを進めた人々

### 2 単元について

本学級の児童は、積極的で自分の考えや意見を積極的に発言する児童が多数おり、発言することに臆することがない。そこで、グループでの学び合い学習を取り入れ、社会的事象に対して根拠に基づいて自分の考えもち、その考えを友達に表現したり、教え合ったりできる児童を育てたい。また、国語科で学習した討論を活用しながら、社会的な見方や考え方を身に付けさせたい。

本単元では、黒船来航、明治維新、文明開化などの歴史的事象を取り上げ、調べる活動を通して、明治の新しい政府が、富国強兵、殖産興業など欧米諸国に負けない国づくりを目指して近代化を進めたことやそこに関わる人々の思いを考えさせる。また、板垣退助や伊藤博文を調べる中で文明開化とともに、人々の行動にも変化が表れ、地租改正や徴兵令等で出た不満を武力による反乱から自由民権運動へと変化し、国会開設をもたらしたことや大日本帝国憲法が天皇に権力を集中させた意味についても考えさせていく。

本単元は、変化の激しい時代を扱っているが、幕末と明治維新後、諸外国と日本、政府と自由民権派など対になる資料を比較して提示することにより、児童が自ら問題を見付け、追究しようとする意欲を高めたい。また、内容を前半と後半に分け、前半のまとめとして第5時に明治政府の改革について、メリットとデメリットの討論を行い、学習してきた歴史的事象や人物についての理解を深めたい。さらに、後半ではグループでの協同学習を取り入れ、二つの内容で分けた課題グループによって調べて分かったことや考えたことを自分の言葉でまとめ、次に学び合いグループでそれを伝え合う活動を取り入れ、立場を変えた見方や考え方を育みたい。学び合いグループでは、グループ内の友達に学んだことを伝えるという必然性と責任感から学習意欲につなげ、分かりやすくまとめ、表現させたい。

### 3 単元目標と評価規準

#### (1) 単元目標

黒船の来航、明治維新、文明開化、大日本帝国憲法の発布とそれらに関わる人物の働きなどから学習問題を設定し、絵図や年表その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、明治政府が欧米の文化を取り入れながら廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代化を進めたことやそれらに関わる人物やその働き、また、その政府に反対する人々の願いや行動について思考・判断したことを適切に表現することができる。

#### (2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
評価規準	黒船の来航とその後の世の中の変化や明治維新に関わる人物の働きなどに関心をもち、意欲的に調べようとしている。	①明治維新、文明開化から学習問題を見だし、政府の行ったことを予想して考えている。 ②欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策の意図、またそれに反対する人々の願いについて判断し、適切に表現している。	①黒船来航、明治維新、文明開化、自由民権運動、大日本帝国憲法の発布について、資料を活用して読み取っている。 ②明治政府の政策や政府に反対する人々の行動について必要な情報を集めて読み取り、ワークシートにまとめている。	①黒船来航、明治維新、文明開化における人々の働きについて、資料等を基に理解している。 ②我が国が欧米の文化を取り入れつつ、廃藩置県や四民平等などの諸改革などを行い、近代化を進めたことを理解している。

(3) 単元計画と評価計画 (11 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)
気付く 【斉】 ①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明治時代の日本橋近くの絵図と江戸時代の同じ場所の絵図の比較し、暮らしの様子がどのように変わったのかを考える。</li> <li>○ 文明開化について調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・服装の変化, 教育内容の変化</li> <li>・江戸時代と明治時代の違い</li> <li>・郵便, 鉄道, 新聞, 電報などの新しい制度や文化</li> </ul> </li> </ul>	<p>関① 江戸時代と明治時代の違いを見付け, それらの違いに興味をもち, その理由を考えている。</p> <p>思① 明治維新がもたらした文明開化から学習問題を見だし, 明治政府の行ったことを予想し, 考えて表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代と明治時代の違いを見付け, 更には急激な変化の理由にまで興味をもち, その理由を考えている。</li> <li>・明治維新がもたらした文明開化から学習問題を見だし, 明治政府の行ったことを急激な西洋化と関連付けて予想し, 考えて表現している。</li> </ul>
	明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか。		
調べるⅠ 【個】 【斉】 ③ 【ペア】 【斉】 ④ 【グ】 ⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 黒船の来航から倒幕までの様子について調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒船の来航によって開国した。</li> <li>・幕府への不満が高まり幕府が倒れた。</li> <li>・徳川慶喜が政権を朝廷に返し, 明治新政府が誕生した。</li> </ul> </li> </ul>	<p>知① 黒船来航により我が国が混乱の中で開国し, 若い武士たちが中心となって江戸幕府を倒したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒船来航により結ばれた日米修好通商条約が国内生活を混乱させ, 江戸幕府より強い政府が必要と考えた若い武士たちが中心となって明治維新を進めたことを理解している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 欧米に学んだ大久保利通らが目指した国づくりについて調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地租改正・殖産興業・徴兵令を推進し改革を進めたこと</li> </ul> </li> </ul>	<p>知② 我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 富国強兵, 廃藩置県, 四民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国が欧米の文化を取り入れつつ, 富国強兵, 廃藩置県, 四民平等などの諸改革を行い, 近代化を進めたことを理解し, そのことが財政安定を第一に目指していたことを理解している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明治政府の改革について考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治の改革のメリットをまとめる。</li> <li>・デメリットについて討論する。</li> </ul> </li> </ul>	<p>思② 欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策について, いくつかの政策の良い点と悪い点に関連付けて自分の意見を表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策だけでなく, その意図や急激な改革による人々の不満についても考え, いくつかの政策の良い点と悪い点に関連付けて自分の意見を表現している。</li> </ul>
調べるⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題A・Bの選択で調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>A 政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる。                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・武力による反乱から言論による主張へ変わっていったこと</li> <li>・板垣退助らと自由民権運動</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>技① 政府に不満をもつ人々の行動について, 資料を活用して調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府に不満をもつ人々の行動が, 反乱から言論へと変化していったことについて, 国会開設を求める板垣退助らの願いや行動とともに資料を活用して調べている。</li> </ul>

<p>【課題グ】 ⑥ ⑦</p>	<p>B 大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色，議会と選挙制度について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊藤博文と大日本帝国憲法</li> <li>・国会の仕組み(貴族院と衆議院の二院制)</li> <li>・選挙権をもつ人は，まだ国民の一部だったこと</li> </ul>	<p>技① 大日本帝国憲法の特色について，天皇主権や選挙制度を中心に資料を活用して調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法の特色について，天皇に強い権限があることや選挙権に制限があることなどの特徴について資料を活用して調べている。</li> </ul>
<p>調べるⅡ</p>	<p>○ 調べて分かったことを伝え合う。</p> <p>A 政府の改革に不満をもつ人々の行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武力による反乱から言論による主張へ変わっていったこと</li> <li>・板垣退助らと自由民権運動</li> </ul>	<p>技② 政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことや国会の開設を唱えた理由などについて分かったことを説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことを，国会の開設を求める人々の願いや行動と関連付けて説明している。</li> </ul>
<p>【学び合いグ】 ⑧ ⑨</p>	<p>B 大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色，議会と選挙制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法では，主権は天皇にあり，強い権限が与えられたこと</li> <li>・国会の仕組み(貴族院と衆議院の二院制)</li> <li>・選挙権をもつ人は，まだ国民の一部だったこと</li> </ul>	<p>技② 大日本帝国憲法の特色を，議会や選挙制度を関連付けて説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法の特徴について，伊藤博文がどんな思いでつくったのかにも触れながら，議会や選挙制度と関連付けて説明している。</li> </ul>
<p>まとめる 【個】 ⑩ 【斉】 ⑪</p>	<p>○ 学習問題についてのまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考える。</li> <li>・政府の立場と国民の立場を比較しながら考えをまとめる。</li> </ul> <p>○ 明治政府が行った改革の見直しについて，どのような国づくりを目指したのか話し合い，まとめる。</p>	<p>思② 明治政府が進めたいくつかの政策について，いくつかを取り上げ，それらを関連付けながら自分の考えを表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願いや明治政府が進めたいくつかの政策について，それらを関連付けながら政府の立場と国民の立場から捉えて自分の考えを表現している。</li> </ul>

【斉】一斉学習 【個】個別学習 【ペア】ペア学習 【グ】グループ学習

#### 4 指導実践事例 「明治政府が目指した国づくりのまとめ」【一斉】⑪

##### (1) 目標

学制，四民平等，富国強兵，地租改正，殖産興業，徴兵令，大日本帝国憲法などの明治の改革について，根拠を基にメリットとデメリットを述べながら交流することによりいっそう考えを深め，更に資料を基に考え直し，自分の言葉で表現することができる。

##### (2) 準備

教師 メリット・デメリットカード 学習問題カード

児童 学習資料プリント

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動 (・教師の支援)
2	1 本時の学習課題をつかむ。	・課題を想起させるように諸政策を示す。
	明治政府の行った国づくりについて、見直すべきことはどんなことでしょうか。	
23	2 明治政府の政策について話し合う。 (富国強兵) ・地租改正によって国は豊かになったが国民は負担が増えて苦しんでいた。 ・強い軍隊をつくったので、国が安定した。西南戦争もすぐに解決した。 (四民平等) ・政府が積極的に差別をなくそうとしなかったため、平等にならなかった。 ・身分制度がなくなり学校には平等に通えるようになったので、平等な社会への第一歩になった。 (大日本帝国憲法) ・アジアで一番早く憲法に基づいて政治を行う国なり、欧米諸国に追いつくことができた。 ・天皇が中心で国民の意見が取り入れられなかった。 ・選挙が始まったが、一部のしか参加できず民主主義とは言えない。	・話し合うときには、資料を基に発言するように確認する。 ・自分とは違う意見が出たときにワークシートに書かせる。 ・前時のワークシートを確認してメリット、デメリットカードを作らせておく。 ・児童が明治政府の政策を違う立場から捉えられるように発言の指名は挙手だけでなく、意図的、計画的に行う。 ・政策案の検討にはペア学習を取り入れ、交流しながら深まるようにする。 ・富国と強兵に分けて説明し政策の目的を明確にする。 ・差別に苦しめられてきた人々について補足説明する。 ・四民平等と教育との関係を確認する。 ・大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色を振り返らせる。
10	3 自分と違う意見について納得できたものを発表する。 ・軍を強くすることにお金を使うことに反対だったけれど、政府の強い軍が西南戦争を抑えることで、国民の行動が武力から言論へと変わっていったことを聞いて、賛成になった。	・自分と違う意見でも、資料を基にして納得できているものを発表させる。 ・どんな政策でもメリットとデメリットは必ずあると言うことを押さえる。 ・国民にとっては苦しい政策もあったが政府としては外国に追いつき不平等条約をなくすことが目的だったことを押さえる。
10	4 単元のまとめ「明治政府はどのように国づくりを進めたのか」について、自分の言葉で書く。 ・外国との不平等条約を結んでしまったことから、外国に負けない国づくりを目指し、富国強兵では、工業を盛んにして軍隊を強くしたが、国民には負担が大きかった。	・自分とは違う意見の根拠となる資料をもう一度見直して考えを深めさせる。 ・政策名と「政府」「国民」「外国」などのキーワードを使ってまとめさせる。 ・立場を変えて捉えるために自分とは違う意見を入れてまとめることを確認する。

(4) 評価

討論を通して、政府の政策を見直し、よりいっそう考えを深め、更に資料や友達の見解を基に考え直し、政策名と「政府」「国民」「外国」などのキーワードを使ってまとめ、自分の言葉で表現することができたかについて、発表やワークシートから判断する。(思考・判断・表現)

## 5 実践の流れ

### (1) 気付く（問題設定）「江戸時代と明治時代の様子を比べよう」①②【一斉】

「江戸時代の日本橋周辺」と「明治時代の日本橋周辺」の様子を描いた絵図を提示して、人や町の変容に着目させ、比較させた。児童は、人や町の様子、その他に気付いたことをワークシート①（資料1）に書き出した後、ペアになって話し合った。本学級ではペア学習を「相談タイム」と名付け、日頃から隣席の児童と相談するペア学習を取り入れている。考えに迷いがあるときには、児童から「相談タイム」を要求することもある。江戸時代と明治時代の生活の様子の違いについて、友達と相談して自分が気付かなかったところに気づき、児童は「あ、本当だ」とか「ある、ある」などと言いながら、食い入るように学習プリントA（p.17 別資料）の二つの絵図を見比べていた（資料2）。

次に、ワークシートに書いた気づきを発表した。人物の様子について、洋服、靴、傘、髪型などが変化し、武士のシンボルである刀がなくなっていることから、この頃から武士がいなくなったのではないかという話し合いになった。町の様子については、馬車や街灯、ガラス窓、ベランダなどの新しい進んだ技術や西洋風の街並みに変化していることに気付いた。また、家族連れで歩く様子や夫婦で歩く様子から、家族の関係も変わったのではないかと考える児童も出てきた。多くの児童が気づきを発表したので、板書したことや自分が見付けたことから何か共通性や全体を見て感じるのではないかと思ねた。すると、「洋風のものが多い」「自由な感じがする」という意見や、「今の自分たちの生活にかなり近付いている」という意見が出てきた。

資料1 ワークシート①「明治時代の東京の様子」



●上の江戸を描いた絵と資料集の表紙の明治の東京の絵と比べて、人や町の変化を調べて世の中がどのように変わったのか書こう。

1900年	2000年	変わったこと(他)
人のようす	町のようす	
①50年 ②80年 ③100年 ④30年 20年		
かささしている	ガラスのまどがある	外国の文化を取り入れている
洋服やドレスを着ている	ランタがある(街灯)	門は木ではなく鉄になっている
着ている服の色があざやか	かわらぬてい、建物の	えんとう、ベランダがある
皮ごつをはいている	前はなかった(洋風の建物)	
人力車、馬車にのっている	はたがにのっている	
まげなし、新聞紙にのっている	井戸ができた	
刀なし、警官	道が広くなっている	
子どもがいる	石がき	

資料2 江戸時代と明治時代の生活様式を比較した授業



明治時代のよすの変化

江戸時代の江戸の様子	明治時代の東京の様子
1800年	30年 50年 80年 100年
9人	9人 19人 5人 3人

①人  
洋服・日かさ  
皮ごつ・人力車  
新聞・まげなし  
刀なし・警官  
子どもがいる

②町  
家の屋根のせ・庭に植物  
しつぽこ  
一軒ずつ建てる  
街灯・洋風  
ガラスはた  
井戸・石がき  
道がひろい

③変わったこと  
外国文化と  
とり入れている  
門→鉄  
えんとう  
ベランダ

2000年  
200年

最後には、「30年間でこんなに変わったのだから政府も国民もきっとすごく忙しかったと思う」「西洋風になったのは、外国人が指導者になって教えてくれたのだと思う」という予想を立てた。

第2時では、第1時で見付けたことを文明開化としてまとめた。そして、明治政府の政策の一つとして四民平等を取り上げた。第1時で武士がいなくなっていることに驚いた児童は、「武士がいなくなった理由が分かった」と書いていた。

また、学習プリントB（p.17 別資料）を使って江戸時代の身分制度と比較したが、農民が平民とな

ただけであり変わらないと感じる児童が多くいたため、差別されてきた人々の身分がなくなるということの重要性を補足した。しかし、それでも権利を回復するような政策がなされなかったため、平等な社会にはならなかったことも押さえた。すると、「平等になってよかったと思ったが、まだ差別が残っていることが残念だった。政府は武士をなくして身分制度を変える気はあっても、差別をなくす気持ちはなかったのだと思う」と、振り返りの感想の中で、政府による四民平等の目的について深く考えることができた児童もいた。なお、参考資料として使用した学習プリントは今後の学習活動でも参考にするため、綴じておくことにした。

このようにして、江戸時代から明治時代の変容を捉えた上で、学習問題を「明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか」として、単元を通して考えていくことにした。ワークシート②(資料3)は、重要な政策名を記し、その説明の一部を児童が書き入れるものとし、用語の意味や内容を考える時間を十分に確保した。

(2) 調べる I (問題追究) 「黒船の来航から倒幕までの様子について調べよう」③【個別】【一斉】

資料4 ワークシート③「明治維新をすすめた人々」

学習問題 「明治維新をすすめたのはどのような人々のどんなおもいだったのか」

●中心になった人物を調べよう

名前	大久保利通	西郷隆盛	木戸孝允	勝海舟
出身	(薩摩)藩 (鹿児島県・宮崎県)	(薩摩藩) (鹿児島県・宮崎県)	(長州)藩 (山口県)	(江戸)藩 (東京都)
	(倒幕)運動の中心となった。 (明治)政府の指導者となった。	(倒幕)運動の中心となった。 (明治)政府の指導者となったが、後に(参勤交代)制度を廃止した。	(倒幕)運動の中心となった。 (明治)政府の指導者となった。 (五箇条の御誓文)を作成した。	(幕府)の役人でありながら、(倒幕)派とも親しく、江戸を(参勤交代)から守った。

●明治維新のきっかけを調べよう。

- 1853年(アメリカ合衆国)の使者(ペリー)の来航。(開国)を求められる。
- 1854年(日米和親条約)を結んで、国交を開き、(徳川幕府)が終わる。
- 1858年(日米修好通商条約)を結んで外国との(貿易)が始まる。

●江戸幕府の終わりについて調べよう。

- 長州藩と薩摩藩は、(倒幕)に反対して、(外国)と戦うが、力の差を実感させられ、(倒幕)をつくる運動(倒幕)を始める。
- 15代将軍(徳川慶喜)は、政権を(朝廷)に返して、260年間続いた(江戸時代)が終わる。

●明治の新政府について調べよう。

- 1868年(明治)天皇の名で、政治の方針として(五箇条の御誓文)を定めた。

学習問題 「明治維新をすすめたのはどのような人々のどんなおもいだったのか」

授業の感想

江戸で生まれ、古い身分制度がやめられて、明治時代になって時代が変わるのを感じたけど、そうではなかった。差別されてきた人々は田舎の人と同じ「平民」にならなくて、名前ばかりで「目」に差別がなくなるといいことだ。差別されてきた人々によって差別がなくなるといい。たこ焼きもなかった。

五箇条の御誓文

一 政治のことは、会議を開き、みんなの意見を聞いて決めよう。

一 みんなが心を合わせ、国の政策を行おう。

一 みんなの志が、かなえられるようにしましょう。

一 これまでのよくないしきたりを改めよう。

一 新しい知識を世界に学び、国を栄えさせよう。



料7)に自分の意見を書いた。ここには、自分の考えとは違う意見も書き留めておけるようにした。

資料7 ワークシート⑤「政府の改革に賛成か反対か」

学習問題「明治の改革にあなたは賛成ですか反対ですか。」

●次の言葉を使って答えよう。  
強い・文化・外国・開国・工業・平等な条約・近代国家

江戸幕府は(開国)して、外国と(不平等な条約)を結んでしまった。  
開国したことにより外国の発達した(文化)や(工業)を知り、日本も進んだ(近代国家)にしたいと思う人たちが出てきた。

明治政府は(外国)に負けない、(強い)国づくりをめざした。

●右の資料を見て考えよう。  
明治政府が強い国づくりをめざした理由は、何でしょうか。

日本に不利で不平等な条約だ。

外国と結んだ不平等な条約	
治外法権を認める	関税自主権がない
↓	↓
外国人がおこなった事件を日本の法律でさげない	国内の製品より安い外国製品が入ってくるのをめられない
↓	↓
外国人に有利な判決が下されやすい	日本の産業が発展しない

●明治の改革のメリット(良かったこと)とデメリット(良くなかったこと)を話し合おう。

改革	メリット	デメリット
廃藩置縣	政府が任命した役人ばかりになり、地方の事情がわからなくなり、日本中に広まる。全国に日本行政を統一して、国を強くする。	地方のことはよくわからず、地方の事情がわからなくなり、地方の発展が止まってしまう。
富国強兵	工業をこまめに、お金をたくさん入れて、軍資金で軍備を強めて武器、軍需品をそろえる。	お金が足りなくて、国庫が赤字になり、機械や輸入品をたくさん買わなければならない。
殖産興業	日本の工業を近代化させて、産業を殖産させる。利権も国に帰ってくる。外国に負けない。技術も進歩する。	利権が富者の手には分らない。
地租改正	利権のしくみを改め、国の収入を増やす。税金のことも。	重税負担で苦しむ町人達が増える。
徴兵令	20才になった男子が軍隊に入ることになり、国家を強くした。	軍人がいなくなる。農業をやらなくなる。
四民平等	町人たちに所帯ではながい(地位)をよこした。差別がなくなる。(口封)もなくなる。	武士がかわいさ、差別はなくなった。

●調べたメリットとデメリットを読んで、自分の意見を書こう。  
(理由は具体的な政策名とそのメリットもデメリットも書くことと説得力があるよ)

私は、明治の改革には 賛成 です。なぜなら 少しの間、苦しいでもいち早く

外国の法に従って不平等条約を取り消すことが一番 だと思うから。そう思った政策は 地租改正 です。メリットで 重い負担に苦しむ町人達によるいざこざが起る ことを恐れたけど、それより 国の収入が安定することの方が大事 だと思うから私は 明治の改革に賛成 です。

●あなたは明治の改革についてあなたは賛成ですか？反対ですか？  
私は、明治の改革には 賛成 ・ 反対 です。(どちらかに丸をつけましょう)

なぜなら、石炭は開国して不平等条約という外国人に有利な条約ができて

そんなものをい早くなくしてしまいたいのだから早くなくさないけど、地租改正で多くの税金を収めさせて、国庫のことはおぼろげにわかってはいるけど、国庫から

思えば、少くとも国民の負担を軽くできるから、いいかと思う。

●友達の見解で自分と違う意見があったら書こう。(次の授業で聞いてみよう)

反対 改革は苦しんでいる人たちにとってはあまり変化がない。

賛成 不平等条約をなくすために強い国が必要だから、徴兵令と強い軍隊を

まず、ワークシート⑤に各政策についてのメリットとデメリットをグループで調べて書き込んだ。教科書、資料集、資料プリント集、授業メモなど、何を参考資料として考えたのかが分かるようにした。また、推測して自分の意見を書く場合には、根拠がない意見だと分かるように示しておくように指導した。すると、「平等にならなかつた四民平等にメリットが一つも思い浮かばない」という児童も、友達と資料を調べながら職業選択の自由や居住場所の自由ができたことに気付き、理解を深めていった。その中で、資料を探したが見付からなかつた児童の中には、推測であるが、「殖産興業でできた工場では、きっと安い給料で長い時間働かされていたのではないのか」「3年間の兵役があることによって労働力の低下を招いたのではないのか」という考えをもつ児童もいた。

(6) 調べるⅡ(問題追究) ⑥⑦【課題グループ】Aグループ「政府の改革に不満をもつ人々の行動」 Bグループ「大日本帝国憲法の特徴、議会と選挙制度」

10人のグループを作り、その中を更に5人ずつに分けてグループを作り、片方がAグループ、もう片方がBグループとして課題を追究した。その際の補足資料として、憲法草案についての学習プリントE(p.18別資料)を用意した。また、学習プリントF(p.18別資料)では、板垣退助と伊藤博文を取り上げ、二人の行動や思いを比較し、国民の立場と政府の立場の両面から考えられるようにした。

ワークシート⑥⑦(p.9資料8・9)では、左に基本的な用語や人物の特徴等について、教科書を基に個人で調べ、その後グループで確認を行うようにした。また、右には、調べたことを基にその内容について、友達に分かりやすく説明できるようにするためのヒントを掲載したシートを使用した。それは、キーワードと歴史の流れの一部分を矢印で示しただけのものであったが、児童は、そのワークシートをヒントに、矢印が示していない部分についてもグループで話し合いながら理解を深め、付け加えてシートに書き込むことができた。

この追究活動について、児童の多くは、「ワークシート(p.9資料8・9)に書き込むと調べたこと理由が分かる」「友達に聞きやすいし、分かるまで教えてくれる」「人に伝えることには責任を感じるからしっかりとやる」「分からないことは聞いて、後は自分で考えることができる」と、熱心に考えたり学び合ったりしていた。

資料8 ワークシート⑥「政府に不満をもつ人々の行動」

学習問題 「政府の改革に不満をもつ人々のはどのような行動をとったのですか。」

●政府に不満を持つ人々の行動について調べよう

(せいなんせんそう) 西南戦争	(西郷 隆盛)を中心に、生活に不満をもつ(士族)による(反乱)が正になる。が、(政府)によって、しずめられた。
(じゆうみんけんどう) 自由民権運動	明治維新の改革はすべて(政府)が中心となつて行い、国民は(政府)の方針に従うものとされた。国民は、社会で起きた問題を解決するために自分たちも(政治)に参加することを要求した。
(ちちぶじけん) 秩父事件	埼玉県の秩父地方の(農民)が、「借金のしはらい時期を先にのばすこと、村にはらう(税金)を安くすること」を求めて、今の秩父市を占領した。事件に加わった人の中には(自由民権)の考え方を持つ人がいた。

●板垣退助について調べよう

(いたがきていすけ) 板垣退助	・もともと(政府)の指導者だった。 ・薩摩藩や長州藩の人たちだけでなく、広く(国民の意見)を聞いて、政治にいかすためにも(国会)を開くべきだ。
--------------------	--

(政府)に不満を持つ人々の行動が(武力)から(言論)にかわつていき、板垣退助らのおこした(自由民権)運動は、(全国)に広がる政府は(国会)を約束することになった。

投票の感想  
開国により国民は苦しむほど元武士たちは不満を持ちました。そして反乱を起こり、政府は軍艦を派遣してこれを鎮めた。しかし、国民による自由民権運動という私利私利の運動ではなく、国民が政治に参加することを求めた。自由民権運動は国民が参加し自由民権を求めたことと知った。

資料9 ワークシート⑦「大日本帝国憲法」

●大日本帝国憲法について調べよう

第1条	日本は、永久に続く同じ家系の(天皇)が治める。
第3条	天皇は(神)のようなうといものである。
第4条	(天皇)は国の元首であり、(国)や(国民)を治める権限をもつ。
第5条	天皇は、(議会)の協力で法律をつくる。
第11条	天皇が(陸海軍)を統率する。
第29条	国民は、(法律の範囲)なかで、(言論)、出版、集会、結社の自由をもつ。

●第一回総選挙について調べよう

	選挙人(投票する人)	被選挙人(選挙に出る人)
年齢	25才以上	30才以上
性別	男子のみ	男子のみ
納税額	15円以上	15円以上

国民の(100人)に一人しか選挙権を持つ人がいなかった。

伊藤博文は、どのような思いをもって大日本帝国憲法を作ったのでしょうか。

国民は、(自由民権運動の高まり)によって、(政府)に(自由民権)を求めた。政府は、(国民)の要求に応じて、(国会)を開くことを約束した。

投票の感想  
自由民権運動によって、政府は憲法を国会を開くことを約束した。国民は、政府の約束を守り、自由民権を求めた。自由民権運動は、国民が政治に参加することを求めたことと知った。

(7) 調べるⅡ (問題追究) 【学び合いグループ】

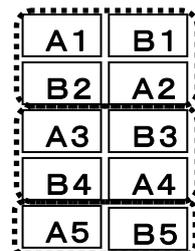
「政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる」⑧

この時間は、前半30分で学び合いグループ学習をし、後半の15分では一斉学習によるまとめを行った。学び合いでは、AグループとBグループの課題について図1の座席になり、ペアを基本としながら、周りの誰からも教えてもらえるように工夫した。

学び合いグループでは、児童は自分がまとめたワークシートを見せながら説明を行った。聞き手は、説明を書き留めるだけでなく、疑問を感じたら、必ず「どうして、そうなるの」「どこに書いてあるの」という質問をして、納得いくまで教えてもらうように指導した。それでも疑問が残るときは教師に質問するようにした。

Aグループが政府の改革に不満をもつ人々の行動について、自由民権運動の説明では、図1のA1

図1 学び合いグループ



とB1のペアでの学び合いが資料10のように行われ、分からないことを解決しようとしていた。授業後の振り返りでは、児童B1は、「授業では、少し疑問があってもすぐ挙手をして聞くことができないけど、友達同士だといつもより積極的に質問ができた」と感想を述べている。また、質問された児童A1は、「自分は分かっているつもりだったけど、質問されるともう一度考え直したり、別の方向から自由民権運動を見直したりするきっかけとなった」と述べている。

資料10 学び合いグループでのペアの話し合いA(一部)

- |    |  |
|----|--|
| A1 | 自由民権運動が、全国に広がりました。   |
| B1 | 自由民権運動が広がるって言ったけど、これってなぜ広がったのかな。   |
| A1 | 大名がいなくなったから、広がりやすくなったんだよ。  |
| B1 | 四民平等になったからってことかな。  |
| A1 | 違うよ、廃藩置県が行われて、大名がいなくなったから広まりやすくなったんだ。政府の考えも広がりやすくなったから、政党を作るのもすぐに全国に広まったんだよ。 |
| B1 | そうか、そうか。   |
| A1 | あ、やっぱり四民平等も関係あるかも。   |
| B1 | そうだよね。平等になって武士がいなくなって大名がいなくなったんだよね。  |
| A1 | そうか、それで自由で平等になったから、自由民権運動とかもできたんだね。  |

後半の一斉学習では、教えたAグループの児童は教師による質問に答えることができず、教えられたBグループの児童のみが答えられることとした。教えられた児童がしっかりと答えると、教えた児童も喜んでいる様子が見られ、学び合いグループの学習によって知識の共有ができた。

(8) 調べるⅡ (問題追究) 【学び合いグループ】

「大日本帝国憲法発布までの道のりやその特色、議会と選挙制度について調べる」⑨

第9時の学び合いでは、Bグループが課題について調べたことをAグループに説明した。国民派が作成した憲法草案と政府派が作成した大日本帝国憲法のまとめの文章にある最後の「国民派のつくった憲法と比べると、( )」の( )には、「進歩的だ」と書いていた。学び合いの時には資料や教科書をしっかりと見直し、資料11の話し合いの中で国民派の作成した憲法草案と政府派が作成した大日本帝国憲法との違いをきちんと理解し、教え直していた。授業後の児童A2の感想には「地域の若者が学習会を開いてまとめた五日市憲法は、とても進歩的で基本的人権についても書いてあるものだと分かった」とあり、話し合い後に資料を見直し、確実に理解していたことが分かる。

資料11 学び合いグループでのペアの話し合いB(一部)

- |    |  |
|----|--|
| A2 | ここには、「進歩的な憲法」が入るよね。  |
| B2 | 教科書で憲法草案と大日本帝国憲法を比べたら、政府派が作った大日本帝国憲法は天皇中心に書いてあるって分かったよ。                |
| A2 | 「天皇」「天皇」「天皇」天皇は神だと書いてあるよね。そこが進歩的ってことじゃないの。                             |
| B2 | いや、憲法草案には基本的人権が書いてあって政府の憲法より進歩的って書いてあるから、天皇中心と国民中心になっていて比べると、そこが違うと思う。 |
| A2 | 進歩的なのは憲法草案ってことかな。  |
| B2 | そうそう、だから「大日本帝国憲法は天皇中心の憲法だった」が入る。                                       |
| A2 | そうか、人権が書いてある方が進歩的なんだ。  |
| B2 | 天皇中心は、大名中心とあまり変わらないから、古いってことじゃない。                                      |

(9) まとめる 「明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考え、政府の立場と国民の立場を比較しながら考えをまとめる」【個人】⑩

まとめとして明治政府の政策の見直しを行った。政策のメリットやデメリットを今まで学んだ資料を基にもう一度考え直し、見直す必要があるのかなのか、あるならば、どんな見直し案なのかを示すことにした。また、メリットやデメリットについては、どの資料を基にした意見なのか、自分で考え、予想した内容なのかをワークシート⑧(資料12)に明記させた。

第5時での経験からメリットとデメリットは、しっかりとまとめられていた。見直し案を考える際には、その政策に賛成か反対かをはっきりと示し、見直す理由や見直さない理由も示すようにさせた。

富国強兵では、国民に負担が多いというデメリットに着目して反対とし、「国民の負担を減らす政策をした方がいい」と考える児童が多くいた。しかし、同じところに着目しても賛成意見として、「お金持ちの人に負担を多くするような政策にする」などと考える児童もいた。また、メリットとして第5時の授業では習っていなかった西南戦争を理由に「国内の戦争がすぐ収まり、武力での反対をしなくなったのは、強い軍隊のおかげだ」と賛成の意見を考える児童もおり、資料を基に考えが深まっている様子が見られた。

資料 12 ワークシート⑧「明治政府の見直し政策」

学習問題「明治政府はどのような国づくりをめざしたのか」		●友達の見聞きを書こう（特に自分とは反対の意見があれば書いておこう）	
見直し政策名「富国強兵」 <b>反対</b>		賛成の人の意見 国民の権利をへらすことの例で選挙のことを出していたこと。 「1%の人が選挙に参加できなかった。」(日本帝國憲法)	
メリット	工業を早くから機械にすることで大量生産でき、それによってお金が入る。 また、それによって国内の軍隊が強くなる。		
デメリット	機械を輸入するのにお金がかかる。 急進な改革にみんなが反対した。自由考え		
見直し案	機械を輸入するのにお金がかかり、税金を上げたいというメリットもあるけど、国内の軍隊が強いのっていい早く不平等条約を締結して早く戦争を終わらせよう。		
見直し案「四民平等」 <b>反対</b>		●明治政府はどのように国づくりを進めたのでしょうか。 (政策名、「国民」「政府」「外国」をいれる)	
メリット	名字を定める自由や結婚の自由、職業選択の自由など国民の多くに与えられた。 権利も自由も増えられた。	ハルビン条約と開国によって、幕府はぼろぼろ。そして次に明治政府をふつた。	
デメリット	今まで四民を階級別に差別してきただけで、同じ人間なのに同じように扱ってあげてくれなかった。それによって国民の間に溝ができてしまった。それによって国民の間に溝ができてしまった。	そして、政府は外国と交わした「不平等条約」を取り消すための「廃藩置県」という藩をなくして、県をふつた。役人に代わってまともな政治をやる。ヨーロッパの国に負かされたために軍を強くなる。富国強兵	
見直し案	四民階級によって今まで差別されていた人たちは自由がもたらされたけど、それによって人々の間に溝ができてしまった。それによって人々の間に溝ができてしまった。それによって人々の間に溝ができてしまった。	工業を早くから機械にすることで大量生産でき、それによってお金が入る。国民に税金を徴収してそれを国に返す。近代的な軍隊をふつた。富国強兵。国民に税金を徴収してそれを国に返す。近代的な軍隊をふつた。富国強兵。国民に税金を徴収してそれを国に返す。	
見直し政策名「大日本帝国憲法」 <b>賛成</b>		でもこうして、明治政府は新しい国をふつた。	
メリット	国民の権利を大きく広げてくれた。国会によって、アパードがなくて日本国憲法の下で国民の権利が守られた。教育費も増えた。		
デメリット	国民の権利を制限してしまっただけ。		
見直し案	国民が国会に参加するのはいけいけい国民の権利を大きく広げてくれた。それによって国民の権利を大きく広げてくれた。それによって国民の権利を大きく広げてくれた。		

次の授業では、帝国議会を開いて議論をするので、机間指導しながら対立し合う意見等を確認した。また、違う立場から捉えるのに役立つような意見を書いている児童には声をかけ、よい意見だと評価した後、考えがより整理できるように個別に指導を行った。

授業後にワークシート⑧（資料 12）をすべて集めて、次の授業を進める際、立場の違う見方から考えが発表され、議論が深まるように意図的な指名計画を考えた。

(10) まとめる 「明治政府が目指した国づくりのまとめ」【一斉】【ペア】⑪

本時は、児童が議員、教師が議長となって帝国議会を開き、明治政府の政策について議論をした。「富国強兵」「四民平等」「大日本帝国憲法」の三つの政策について、それぞれを見直すべきかどうかの議論を行った。意見を述べる前に資料があれば先に提示すること、自分とは違う意見で納得できる意見があればワークシート⑧（資料 12）に書き留めておくことにした。

写真1 政策を見直す帝国会議での意見発表



「富国強兵」に反対の児童は、「国にはお金が入って、政府は豊かになったけれど、国民は仕事も増え負担ばかりだったので、殖産興業で集まったお金をしっかり国民に戻せばいいと思う」という意見を出した。これに対して賛成派の児童は、「集まったお金で強い軍隊をつつたからこそ、西南戦争をおさえられたので、富国強兵に賛成です」「賛成だが、政府は不平等条約改正のために一分一秒でも早く政策を進めよう

としたことで、負担ばかりが国民にいつてしまった。もっと時間をかけてゆっくりと富国強兵を進めるといいと思う」と述べた。そして、「国民に集めたお金を返す」「ゆっくりと政策を進める」という二つの見直し案が出た。また、見直さないという案も出た。

議論をする目的は、各政策にはよい面と悪い面、政府派としての考えと国民派としての考えなどの多面性を友達の意見から見いだすことであり、どの見直し案が一番いいのか考えることではないので、賛成派の考え、反対派の見直し案が出たところで、次の政策について議論をした。

「四民平等」では、賛成派も反対派も国民に自由が増えたことをメリットとし、差別が残ったことをデメリットとした。その中で、見直し案として、「今まで差別されてきた人々を助ける政策も行う」「今までの差別をこの先絶対にしないという法律を作る」という意見と、「教育の力で差別をなくすようにすれば差別がなくなると思う。今の日本でそれが証明されていると思う」という意見が出た。「今の日本で証明されている」ということについては、もう一度どんな意味なのか問い直すと、「自分たちは差別をしないように教育をされていて、実際、今の自分たちは差別されていないから、教育の力で差別をなくせると思う」と答えた。

「大日本帝国憲法」では、メリットとして「欧米のような近代的な国の体制ができた」「天皇によって国民が一つにまとまる」、デメリットとして「天皇中心で、国民の権利を制限」「選挙が不平等」という意見が出た。また、「国民が天皇に意見が言えるようにする」「国民の権利を制限しない」「ちゃんと国会を開いて国民みんなで議論して決める」という見直し案が出た。そして、賛成派の意見として、「アジアで初の近代的な国の体制をつくった憲法だから賛成だ」が出た。

三つの政策について、違った立場から意見が出たので、板書を見てもう一度自分とは違う意見で納得できる意見があればワークシートに記すように促した。本時の「資料から読み取る」「自分の考えを発表する」「友達の意見を聞く」という展開の中で、児童はメモを取っていたので、板書を見返しながら、納得した意見をワークシートにしっかりと書き込むことができた。

納得できた他の意見について発表し合い、資料 13 のように児童の意見に対して教師は繰り返し要約して話したり、資料プリントなどの関係資料を示し説明を付け加えたりして学習をまとめた。

#### 資料 13 納得できた友達の意見についての発表

C 1	富国強兵について、この政策があったから西南戦争をしずめることができたところ。
T	あなたは反対だった？
C 1	いいえ、賛成でした。でも西南戦争をしずめたことまで考えていなかったから・・・
T	納得できた？
C 1	はい、すごく納得できました。
C 2	四民平等で私は賛成ですが、身分の違いや差別が残ったというところで、職や結婚が選べるならあった方がいいと思ったけれど、「差別が残った」と聞いて、やっぱりそれはだめだなと思った。
T	もともと賛成で、自由ができていいじゃないかと思ってたけれど、やっぱり差別が残ったと聞いて考えが変わった。特に、今まで差別されて苦しんできた人々の差別が残ったのですよね。資料プリントBを見ましょう。百姓や町人などからも差別された 1.5%の人々は、平等とはほど遠いものがあったね。
C 3	大日本帝国憲法について、私は反対だった。デメリットが多いし、やっぱりひどいなあと思っていたのだけれど、メリットについて、「アジアで最も進んだ国になったとか初めてだ」と聞いてとても納得できた。
T	学び合い授業でみんなで話し合ったときも、こんな憲法全くだめだって言っていたり、本気で国民の意見を聞く気があったのかという意見があったりしたよね。みんなデメリットで盛り上がったよね。でもアジアで最も進んだ国になれたと聞くと納得できたということですね。

最後に、6年生でもデメリットが考えられる政策をなぜ明治政府は押し進めたのかについて、ペアで考えた。すると、ほとんどの児童から、「不平等な条約を改正するため」「近代的な国をつくるため」という二つの理由が出てきた。

そこで、単元を貫く学習問題「明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか」について、いくつかの政策名と「国民」「政府」「外国」のキーワードを使って文章でまとめることにした。多くの児童は、欧米に負けない国づくりを目指した当時の人々の思いを表現した上で、p. 14 の評価事例のように明治政府の政策について説明ができた。

6 単元中の観点「思考・判断・表現」の評価におけるルーブリックによる評価事例 (N=39)

時	【思考・判断・表現】におけるルーブリックと評価事例	判定人数		
		A	B	C
②	<p>明治政府はどのように国づくりを進めたのか予想しよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; 明治維新によりおこった文明開化から、明治政府の行ったことを<u>急激な西洋化と関連付けて</u>予想し、変化の理由を考えて表現している。</p> <p>&lt;B判定&gt; 明治維新によりおこった文明開化から、明治政府の行ったことを予想し、変化の理由を考えて表現している。</p> <p>(例)A 30年間で自分たちと同じような生活になっているので、明治政府は外国の進んだ文化をまねしたのだと思う。</p> <p>A 文明開化によって社会が大きく変化していた。四民平等の他に何をしたら、あんなに変わるのか知りたくなった。西洋化したのは、強い外国の指導者が日本に来たからだと思うので調べたい。</p> <p>B 日本橋周辺の町以外でも変化の大きな町があれば調べたいと思った。</p> <p>B 牛乳が外国の物だということを知り驚いた。外国から他にもどんな物を取り入れたのか調べたい。</p> <p>B 四民平等で本当に武士がいなくなってしまったのか調べたい。</p> <p>C 服装が変わっていて驚いた。</p> <p>-----&gt; &lt;Cを支援する手だて&gt; 明治時代の変化を再度見せ、疑問に思うことから予想させる。</p>	3	34	2
⑤	<p>明治政府の政策について考えよう。</p> <p>&lt;A判定&gt; 欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策だけでなく、<u>その意図や急激な改革による人々の不満について</u>も考え、自分の意見として表現している。</p> <p>&lt;B判定&gt; 欧米に負けない近代国家をつくろうとした当時の人々の願いや明治政府が進めた政策について、自分の意見として表現している。</p> <p>(例)A 反対です。なぜなら、地租改正は国の財政が安定するというメリットがありますが、豊作でも不作でも同じ税を納めなくてはいけないので、国民にとっては苦しいというデメリットがあります。不平等条約改正のためであっても、国民のための政府なので国民にとって苦しい政策には賛成できません。</p> <p>A 賛成です。例えば廃藩置県では全国に政府の方針が伝わりやすくなり、殖産興業では、工業を盛んにすることで豊かな国ができていきます。地租改正で税金が増えたり、徴兵令で軍隊に行ったり、国民は大変な思いをしたと思うけれど外国に負けない国づくりができるので賛成です。</p> <p>B 賛成です。富国強兵によって国が豊かになり、軍隊も強くなるので、外国に負けない国づくりができて不平等条約が改正できるようになるからです。</p> <p>B 反対です。四民平等では、職業を選ぶことができ、誰とでも結婚できる自由があったけれど、国民は全く自由にならなかったのが苦しくなっていくばかりだからです。</p> <p>B 賛成です。どの政策も外国に負けない強い国にして不平等条約を改正するために必要だからです。</p> <p>C 反対です。どの政策も国民にとって苦しいものばかりだからです。</p> <p>-----&gt; &lt;Cを支援する手だて&gt; 「政策名と政策の説明」「メリットとデメリット」「自分の考え」を個別に確認する。</p>	15	20	4

⑪	<p>明治政府はどのように国づくりを進めたのだろうか。</p> <p>&lt;A判定&gt;  <u>欧米に負けない近代国家をつくらうとした当時の人々の願い</u>や明治政府が進めたいいくつかの政策について、それらを関連付けながら<u>政府の立場と国民の立場から捉えて</u>自分の考えを表現している。</p> <p>&lt;B判定&gt;      明治政府が進めたいいくつかの政策について、いくつかを取り上げ、それらを関連付けながら自分の考えを表現している。</p> <p>(例)A 政府は地租改正を行うことで税金を安定して集め、そのお金で富国強兵に力を入れ、外国に負けない国づくりを進めた。しかし国民にとっては不作でも決まった額の税金を納めなければならないので大変だった。</p> <p>A 政府は大日本帝国憲法をつくり、天皇中心の強い国づくりを進めた。国民や自由民権派はもっと民主的な憲法にしたかっただろうが、外国に負けない強い国にして不平等条約を変えるためには仕方がなかったと思う。</p> <p>B 政府は徴兵令を出すことで、国の力を強くしたが、国民にとっては、地租改正で負担が大きくなり大変だった。</p> <p>B 政府は、地租改正や徴兵令などの政策を出して外国に負けない国づくりを進めた。国民は喜んで税金を納め、兵士となった。</p> <p>B 政府は四民平等の政策をだし、国民が職業や住む場所を選べるようにした。</p> <p>C 政府は自由民権運動によって、大日本帝国憲法をつくった。</p> <p>-----      &lt;Cを支援する手だて&gt;      政策名とその政策についての説明を確認し、政府の立場で考えることと国民の立場で考えることを再度いっしょに行う。</p>	8	26	5
---	---	---	----	---

★記録に残す評価

## 7 単元定着後評価

単元終了時に事後テストとその1か月後に保持テストを25分間で行った。それぞれ予告なしで、教科書やノート、ワークシートを参考にさせず、必要な語句は問題文の中に提示し、選択させて文章表現をする記述式のテストで実施した。なお、ループリックのB1からB3まではB判定とした。

設問① 明治政府の行った国づくりについて、いくつかの語句を説明しながら関連付けて書きなさい。その際、「政府」と「国民」のそれぞれの立場から述べなさい。

<語句> 廃藩置県 四民平等 地租改正 学校令 徴兵令  
 殖産興業 富国強兵 不平等条約 勝海舟 大久保利通

### ★ 使用したループリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=39)	
		事後テスト	保持テスト
A	5点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	14	21
B1	3～4点の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	10	1
B2	3点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述しているが、一方の立場の論述が間違っている。	7	13
B3	3点以上の語句を使用し、一方の立場から論述していて内容も正確である。	1	0
C	2点以下の語句を使用し、一方の立場から論述しているか、間違っている。または無回答である。	7	4

★ 解答例

A ペリー来航によって、結んでしまった不平等条約を改正するため、政府は、政府の方針がすぐに伝わるように役人を送り、藩をやめて県をおく廃藩置県を行い、四民平等では、士農工商を平民とすることで平等にし、地租改正では、土地の税を改め、財政を安定させた。国民は、四民平等で職業の自由を得たり、殖産興業で工業が発展し職を得たりした人もいたけれど、本当の平等でなかったり、税や労働など、負担が増えたりするものばかりだった。

A 政府は外国と結んだ不平等条約改正のため、大久保利通を中心に富国強兵をスローガンに政策を進めた。国を豊かにするために、財政の安定と経済力をつけそれを軍事力につかう。徴兵令で、20歳の男子を3年間兵士して強い軍隊をつくる。また、学校令を出して教育の力でも国を変えていこうとした。国民にとっては政府の方針は苦しいものばかりで、富国強兵では、軍に人手をとられて、学校令で子どもを学校に行かせるとまた人手が減り、学費も高く税金も高く、負担が増えて苦しむことになった。

B1 政府は、富国強兵をすることにより、国が豊かになり、強い軍隊がもてるようにして、不平等条約の改正に力を入れた。しかし、国民にとっては、徴兵令では兵士にならなくてはいけないため、負担が増え、地租改正では不作の年でも同じ額の税金を納めなくてはならず、苦しむものだった。

B2 政府は、不平等条約の改正のために廃藩置県で藩を大名が治めるのではなく、県を役人が治めるようにして、命令が伝わりやすくし、四民平等を行い、武士を平民としたが、国民は平等にならず全くよいことがなかった。

B3 大久保利通らは、外国に負けない国づくりを目指し、殖産興業で官営工場をつくり、工業を発展させて、地租改正して税金を安定して集められるようにした。それらのお金を使い、徴兵令で人を集めた軍隊を強くしていった。

C 政府は、廃藩置県や殖産興業や地租改正や不平等条約などの政策を行った。

設問② 政府に不満をもつ人のとった行動とそれに対する政府の対策について、人物と関連付けて説明しなさい。その際、「政府」と「国民」のそれぞれの立場から述べなさい。

< 語句 > 大日本帝国憲法 自由民権運動 西南戦争 国会開設 選挙  
板垣退助 伊藤博文 西郷隆盛 天皇 憲法草案

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数(N=39)	
		事後テスト	保持テスト
A	5点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	10	16
B1	3～4点の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述し、内容も正確である。	5	3
B2	3点以上の語句を使用し、政府と国民の立場から比較、関連付け、総合してそれぞれ論述しているが、一方の立場の論述が間違っている。	11	17
B3	3点以上の語句を使用し、一方の立場から論述しているが内容も正確である。	6	0
C	2点以下の語句を使用し、一方の立場から論述しているが、間違っている。または無回答である。	7	3

★ 解答例

A 国民の生活が苦しかったため西郷隆盛を中心に武士だった人たちが集まり、西南戦争を起こしたが、結局、近代兵器をもつ政府軍に負けた。このことから武力から言論へと国民の行動は変わり、板垣退助が自由民権運動を進めた。政府は、国民の多くの声を抑えきれず、国会開設を約束

し、伊藤博文は大日本帝国憲法をつくった。

- A 政府は、言論での行動も厳しく取り締まったが、板垣退助らの自由民権運動は日本中に広がった。自由民権派に憲法草案をつくらせたが参考せず、伊藤博文はドイツの憲法を参考に天皇が中心となる大日本帝国憲法をつくった。国民は取り締まりにも負けず、自由民権運動を続け、選挙によって、政治に参加する権利を得たが、国民の1%程度の人しか選挙権がなかった。
- B1 政府に対して西南戦争を起こしたが負けたことで、武力による行動ではなく自由民権運動をするようになった。伊藤博文は大日本帝国憲法をつくった。
- B2 板垣退助を中心に自由民権運動を行い、国会を開く約束をして、憲法草案を作った。政府は、憲法草案を基に大日本帝国憲法を作った。
- B3 政府は伊藤博文にドイツの憲法を学ばせ、大日本帝国憲法を作り、国会を開き、天皇中心の国づくりを進めた。
- C 伊藤博文は、自由民権運動を進め、憲法草案や大日本帝国憲法をつくった。

## 8 成果と課題

### (1) 成果

#### ① 資料を基に考える力の育成

歴史的事象を違う立場から捉えるために、政策のメリットとデメリットをまとめさせた。その際、必ず「証拠があるか」と聞きながら資料を基に考えさせたので、児童は、「資料から事実を読み解き考える」「自分で考え予想したことから資料を探す」という二つの方法で考えを確かめることができるようになった。特に、資料が見付からない場合には、何度も資料を探す中で、「資料をしっかりと見直す」「友達と相談する」「考え直す」ことを常に行うようになり、知識の定着、違う立場から思考する方法の獲得へと進み、思考し判断する力の育成につながっていったと考える。

#### ② 教え合う、学び合う児童の育成

一斉教授型の授業では、「教師＝教える人、児童＝教わる人」という関係がある。教師の積極的な教授により、児童は意欲がなくても学ぶことになる。しかし、「学び合い」の授業形態では、一人一人が教えたり、教わったりすることの連続であるため、児童は積極的に学ばざるをえない状況になる。児童同士の人間関係を見てみると、「人間関係がよくないと学べない」→「人間関係をよくしようとする」→「教え合い学び合うことができる」→「人間関係がよりよくなる」という好循環にもつながった。昨年度の課題として意欲のない児童が含まれるグループでは、学び合いが進まないということがあったが、座席の工夫で改善した。さらに、歴史に関心の薄い児童にも資料の工夫によって興味をもたせることが可能であることが分かった。

#### ③ 知識を基に関連付けて表現する力の育成

単元定着後の評価において、1か月後の保持テストは結果がよかった。B2判定となった17人の児童のほとんどが5点以上の語句を正確に説明しており、たくさん書く中で間違いが一つあったためにB判定になる児童もいたが、知識の定着はしっかりとできており、それらに関連付けた表現ができていることが分かった。

### (2) 課題

#### ① 話型の指導

社会科だけでは、話型の定着が図れない。ワークシートの工夫によって社会的事象を違う立場から捉えられるようになったが、それを人に伝える表現までは十分ではなく、日常的に話型を指導する必要性を感じている。

#### ② 学習形態の更なる工夫による協同学習

ペア、グループでの協同学習で考えを深めることはできるようになった。その考えを一斉授業の中で十分に共有できなかった。時間が足りないこともあるが、うまく学習形態を工夫し、学び合いによる深まりのある思考の共有化を図りたい。

# 【別資料】学習プリント（A～F）

## 第1時 「江戸時代と明治時代の日本橋周辺」

### 学習プリントA



約35年間で変化した。



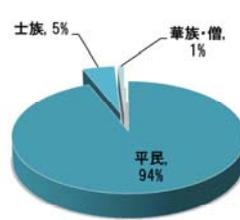
## 第2時 「江戸時代と明治時代の身分制度の比較」

### 学習プリントB

#### ①江戸の身分



#### ②明治の身分



#### ④福沢諭吉



大分県の身分の低い武士の家に生まれた。身分や家柄で将来が決められてしまう世の中に疑問をもち、長崎や大阪で西洋の学問を勉強して力をつけた。

日本が開国すると、欧米に行って自分の目で見て、その生活や文化や考え方を学んだ。そして、西洋の様子を本にして、人々に伝えた。

《学問のすゝめ》  
「天は人の上に人をつくらず、人の下の人をつくらず」という言葉で始まって有名だが、その後に続く言葉が、本当の意味で学問をすすめる内容となっている。

「人間はみな平等である。学問をすることで国民は平等であること知り、自立することができる。国民の自立により、国も自立できる」と説いている。

#### ③明治の新しい身分



## 第3時 「明治維新(紙芝居資料)」

### 学習プリントC

#### 日本人から見た黒船



#### 日本人から見たペリー



#### 不平等条約



#### イギリス兵に占領された長州藩の下関砲台



#### 二条城での大政奉還



#### 新政府軍の西郷隆盛と旧幕府軍の勝海舟の話し合い



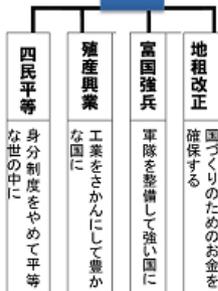
## 第4時 「明治政府の改革の意図」

### 学習プリントD

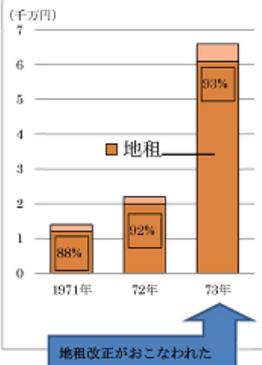
#### ⑪明治政府の改革

#### 不平等条約の改正

#### 西洋に追いつく



#### ⑫地租改正による財政の安定



第6・7時 「憲法草案」

学習プリントE

民間の憲法案「憲法草案」

1880年、どんな憲法を作るべきか、政府だけでなく民間からも憲法草案を持ちよるように決定された。現在までに60種類ほどの草案が発見されており、政府案よりも進歩的なものが数多くあった。

名称	主に書いた人	内容
日本国憲法草案 (五日市憲法草案)	千葉卓三郎	日本国民は法律の前では平等の権利を持っている。
日本国憲法按	植木枝盛	政府が憲法を無視するなら、国民は抵抗する権利をもつ。
日本憲法見込案	立志社	基本的人権を保証する。

第6・7時 「板垣退助と伊藤博文」

学習プリントF

	板垣退助	伊藤博文 (政府)
	土佐藩 (高知県) の武士の家に生まれ、倒幕運動に参加する。政府の役人になるが、大久保利通らと意見が対立して1973年に役人をやめた。	長州藩 (山口県) の農家に生まれ、倒幕運動に参加する。大久保利通らと欧米諸国を視察し、大久保の死後、政府の中心的存在に。
歴史の流れ	考え 政治とは、一部の人間や役人だけですすめるのではなく、欧米のように憲法を作り、議会を開き、国民の意見を聞いておこなうべきだ。	今は、国民に不満があっても、天皇のもと、政府の役人が中心になつて、富国強兵の国づくりを強くすすめる必要がある。今すぐ、国会を開くと、かえって政治が混乱してしまう。
	行ったこと ○政府に国会を開くようにもとめて、全国の自由民権運動を広め指導した。 ○演説会や新聞、雑誌を通じて、国民に自分たちの考えをうたえた。 ○国会を開くことを求める多くの署名を集め、政府に提出した。	○政府への不満を武力で解決しようとする士族が西南戦争を起こしたとき、軍隊の力でおさえた。 ○政府を批判する演説会や新聞記事などを、きびしく取りしまった。
	自由民権運動が高まると、政府は、1881年(明治14年)に、10年後に国会を開くことを約束した。	
	行ったこと ○政府が国会開設の約束をする、政党をつくって、国会開設にそなえた。また、様々な立場の人たちが、議院政治のもととなる、憲法の草案をつくった。	○ヨーロッパへ渡り、天皇中心のドイツの政治や憲法を学んだ。 ○帰国した伊藤は、内閣の制度をつくり、初代内閣総理大臣となり、大日本帝国憲法をつくりあげた。

## 【別資料】 自作紙芝居「明治維新への道のり」

(第3時 資料)

### ① 明治維新への道のり

ときは、西暦 1853 年。160 年前。  
江戸の世の中も 250 年ほど続き、  
もちろん鎖国もずっと続いていたそ  
んな時代・・・

ロシア、イギリス、アメリカなど  
という国の船が日本の近くに来るこ  
ともちらほら・・・

江戸幕府は外国船打ち払い令など  
の命令を出して、必死に鎖国を続け  
ていました。・・・すると、  
とつじよ、浦賀（神奈川県）の海に  
現れた四つの黒い影・・・

（左に少し抜きながら話す）  
何に見える？レーザービームかな？  
（半分抜く）

大砲の数も射程も半端ではない  
2キロ先まで飛ぶ大砲が、  
4隻で合計 63 門

② その大砲がこっちを向いて、に  
らみつける。

船の大きさ全長約 80 m  
江戸の巨大船の約 4 倍

巨大どころではない・・・黒船だ。この 4 隻の軍  
艦には、いったい誰が乗っているのだろう  
（左に抜きながら、紙芝居を立てる）中から出て  
きたのは・・・

③ この男、天狗か、お化けか、宇宙人か・・・  
これを見ると、当時の人々が、どれだけおそれ  
ていたのか、よく分かりますね。

彼の名は、ペリー。アメリカ大統領の手紙を持  
って、日本に開国を迫りに来た。

江戸幕府はどうしたと思う??  
すぐ、返事できたと思う? 200 年以上続けてきた  
鎖国だよ。どうしよう?

アメリカは一年待ってくれるって・・・  
すると、半年後、(突然、大きな声で)

ドーン (③の紙芝居を上に入れて、黒船を見せる) と、大砲が鳴ったとか鳴らな  
かったとか、いろいろ噂はあるけれど、とにかく 7 隻でやって来た。

①

## 明治維新への 道のり

②

## 「日本人から見た黒船」 の絵

(学習プリントC 参照)

③

## 「日本人から見た ペリー」の絵

(学習プリントC 参照)

④⑤ 幕府は開国だけでなく、二つの不平等な約束もしてしまいました。

どんな約束かというところ・・・

(④⑤の紙芝居を順に出して)

- ・ 治外法権を認めている
- ・ 関税自主権がない

そうですね。

不平等条約によって、人々の生活が苦しくなる。幕府のせいで、そんな幕府を見て、

「戦ってやる」

っていう藩だってあった。

それが、長州藩、今の山口県。すると・・・

⑥ 自慢の砲台でやっつけることができるって思ったんだよね。

でも、あっという間にイギリスやアメリカに負けてしまいました。

外国を倒すのは今のままでは無理だ。

今のままでは・・・

「日本はもっと強い国にならなくては」

でも、あの幕府では、国ごとやられてしまう。

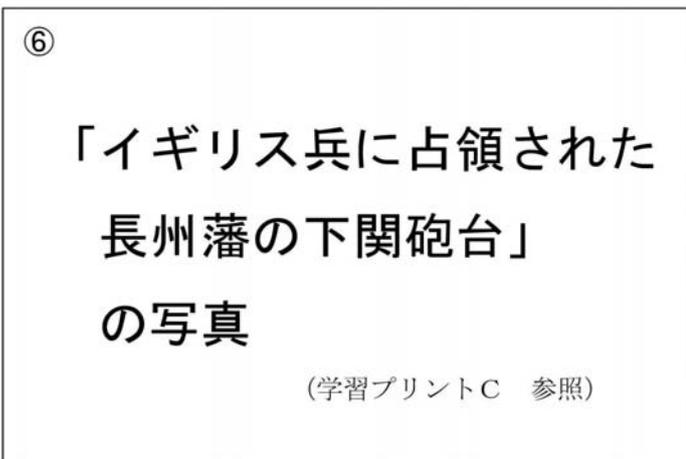
「よし、幕府を倒そう！」

江戸幕府のままでは国が倒れる。新しく、もっと強い国づくりをという考えをもつ人々が増えました。

活躍した人物3人は誰ですか？

- ・ 西郷隆盛 (薩摩藩)
- ・ 大久保利通 (薩摩藩)
- ・ 木戸孝允 (長州藩)

そして、



⑦ 修学旅行でも行った京都の二条城。

江戸幕府の将軍の徳川慶喜は、朝廷に政権（政治をする権利）を返すことにしたことを大名やこれに代わる重臣たちを集めて伝えました。

江戸時代は 260 年、武士が世の中をまとめるようになって 700 年、武士の時代が終わる。

そんな歴史の大きな 1 ページがまさにみんなが見学したあの部屋で行われたのです。その様子が再現されていましたね。

⑦

## 「二条城での大政奉還」 の絵

(学習プリントC 参照)

ところで、そんなに簡単に終わることができるだろうか。700 年間、武士が支配していた世の中です。・・・武士は納得できるのだろうか。

江戸城に集まる旧幕府軍。みんな、もちろん武士です。

それを取り囲む新政府軍。江戸を完全に包囲しました。

新しい政府がつくった軍隊です。もちろんこちらも武士達です。

明日にも新政府軍は、江戸の町に攻め入ってきます。

260 年間、日本の中心で、町民文化が栄え、世界に誇ることができる大都市、江戸。

明日にもおこる戦いは、江戸を支えた武士同士が、江戸を壊しながら戦うのだろうか。

⑧右 旧幕府軍、勝海舟

左 新政府軍 西郷隆盛

二人は、何を思い、向き合っているのだろう。

次の日、旧幕府軍は、江戸城の明け渡しを約束し、江戸幕府のシンボル江戸城は、血を流すことなく、政府軍へ明け渡されたのである。

本当に江戸の時代が終わったのである。

⑧

## 「新政府軍の西郷隆盛と 旧幕府軍の勝海舟の 話し合い（江戸城無血開城）」 の絵

(学習プリントC 参照)

旧幕府も新政府も同じ思いをもっていたからこそ戦わずにすんだのだろう。

二人がともに思ったことは何だったのだろう。

勝海舟と西郷隆盛、それぞれの思いをワークシート②の吹き出しに書きましょう。

それから、二人がともに思い、戦いを終わらせ、江戸時代を終わらせた、二人に共通する思いを考えてワークシート②のハートの中に書きましょう。

## 6 研究の結果と考察

思考力・表現力・判断力を育成するには、その基礎となる社会的事象の用語を正確に知識として知り、それらの用語のいくつかを関連付け、総合して理解することが必要である。その知識の積み重ねを暗記に頼るのではなく、問題解決的な学習を取り入れ、子どもが主体的に学習に取り組む中で、用語を理解し、活用することができるようにしていきたいと考えた。

そこで、思考の方法を系統的に習熟できるように、各学年の単元の学習内容の中に「比較」「関連付け」「総合」を段階的に位置付けた (p. 3～p. 4)。これは、各学年の単元の学習過程を「気付く・調べるⅠ・調べるⅡ・まとめる」の4段階とし、「調べるⅠ」と「調べるⅡ」の中で、思考を段階的に深め、「まとめる」中で、さらにその思考を再構成させて表現するように位置付けたものである。例えば、「比較」という見方・考え方を意図的に位置付けることによって、子どもは社会的事象を双方向の立場で多面的・総合的に考える習慣を身に付けることが可能になる。また、内容の重なり部分や差異の部分も明確になると考えられる。そのため、見学や資料活用などの体験的な活動を多く取り入れ、社会的事象の複雑さに気付かせながら、それらを関連付けて「つまり」という帰納的な思考ができるようにすることを目指してきた。高学年では、一つの社会的事象や事実などから、「例えば」といくつかの関連事項を見いだす演繹的な思考もできるように、話し合い活動やワークシートの中で思考する視点や着眼点を示唆するようにしてきた。

そして、主体的な学びへと導くために、子どもが興味・関心をもち、「知りたい」「調べたい」と意欲を引き出すような単元の導入でも工夫をすることにした。

### (1) 単元の導入（気付く段階）の工夫による効果

「気付く」段階において、子どもが興味・関心をもち、学習意欲を喚起できるような単元の導入は、子どもの疑問を学習問題へとつなげ、一人一人の主体的な学びが期待できる。子どもが「なぜ」「どのようにして」と疑問をもつような対象との出会わせ方を工夫することにより、3年生では学習問題を選択・把握したり、6年生では学習問題を導き出したりすることを目指した。

1年次の研究における調査では、子どもは学習問題を見いだすことを得意としていないことが分かった。そのため、子どもが単元のねらいに迫る学習問題を見だし、その後、学習意欲をもって追究活動へ向かうことができるように意識して単元の導入を設定した。

具体的には、3年生「店ではたらく人々の仕事」では、家庭での買い物調べを持ち寄り、学級全体のデータをグラフ化し、突出して目立つ店について、教師から「なぜ？」を問いかけ、子どもが予想した理由を実際に確かめるための学習問題を設定した。子どもの「なぜAスーパーにたくさんの人が行くのか知りたい」「駐車場が広いし、近いからかな」などという事後の感想から、興味・関心をもつ子どもが多くいたことが分かる。

6年生「武士の世を安定させたのは誰だ！」では、時代の長さが分かる年表や「長篠合戦図屏風」と「江戸図屏風」の比較を基に、「どのように安定した武士の世の中を築いたのか」という学習問題を設定した。子どもは「たくさん戦いが起きているのに、どうして安定させることができたのかが気になった」「一つの家だけでずっとつぶされることなく天下を治め続けたのは不思議」などという単元を見通す事後感想を述べている。

また、6年生「明治の国づくりを進めた人々」でも、江戸時代と明治初期の日本橋周辺の絵図の比較を基に、「この急激な変化にはどんな秘密があるのか」「明治政府はどのように国づくりを進めたのか」という学習問題を設定した。子どもは「急激な変化のわけを知りたい」「不思議だから調べたくなった」と意欲を見せた。

単元の導入段階における興味ある資料の提示は、子どもの関心を高め、意欲を喚起することができる。実践例では、子どもの既習の知識や体験とズレのある資料や疑問をもつような資料の提示によって、子どもは興味・関心をもって楽しく学習に取り組めた。特に、地域にある素材の教材化は知的好奇心を高め、学習への動機付けや学習の深化を図ることにつながったと言える。

導入時の授業について、図3と図4の子どもへの意識調査による結果からも学習への興味・関心、

意欲の持続が分かる。

図3の意識調査①によると、単元導入時の工夫により、ほとんどの子どもが事象に対して興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組むことにつながったと回答している。また、意欲がもてた子どもについては、単元終了の問題解決の段階まで、または問題追究終了までと、導入時の学習追究への意欲は比較的長く持続したことも分かる(図4)。

図3 子どもに対する意識調査①「授業で使った資料から学習への興味・関心がわいて意欲がもてたか」

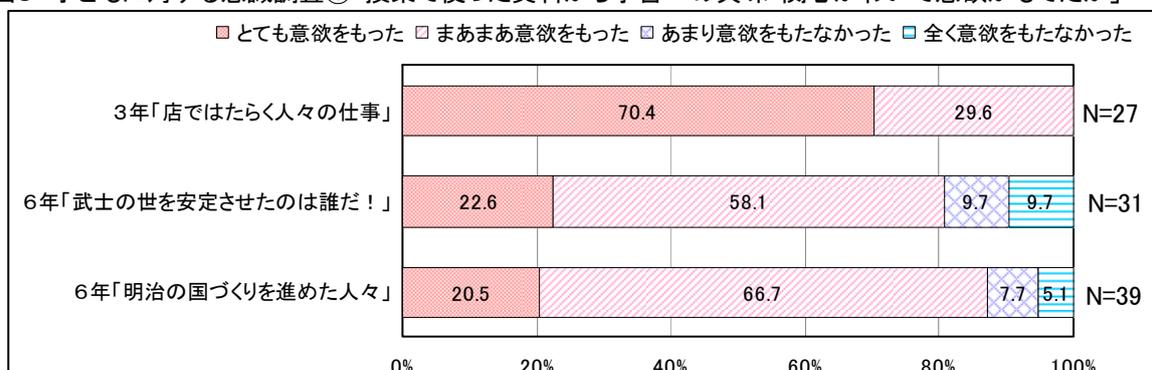
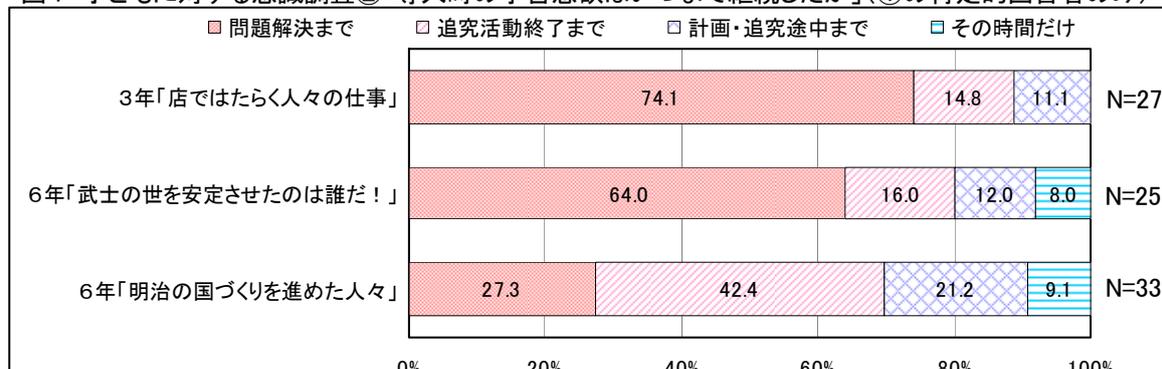
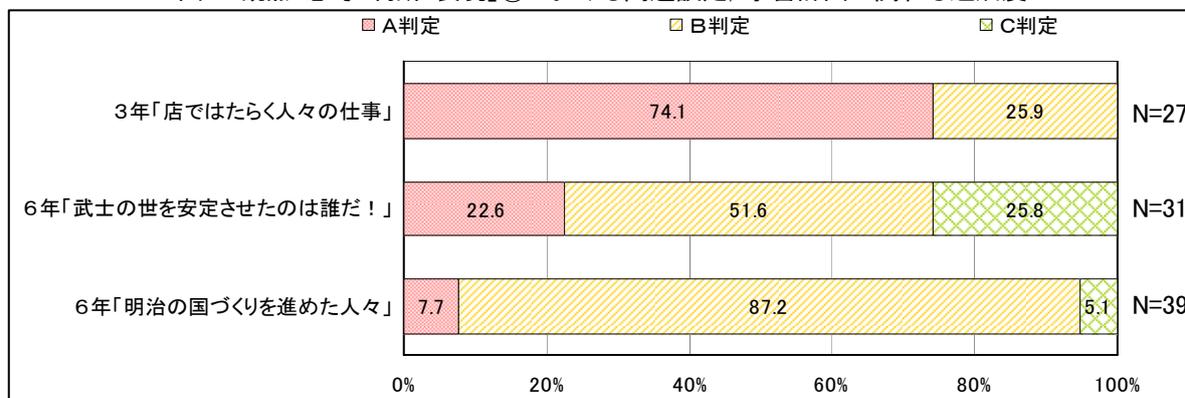


図4 子どもに対する意識調査②「導入時の学習意欲はいつまで続いたか」(①の肯定的回答者のみ)



そして、図5は観点「思考・判断・表現」における問題設定、予想や学習計画について、あらかじめ設定したルーブリック(西川端小 p. 11, 知立西小 p. 17, 城山小 p. 13)に照らし合わせて判定し、その達成度を示したものである。この達成度からは、多くの子どもが学習問題を把握し、今後の学習計画の見通しができたと言える。しかし、図3と図5の比較から、事象に対する興味・関心、意欲の喚起が学習を見通した問題設定や計画立案に大きく影響するということも言える。達成できない子どもには、意欲をもって次の段階に進めるように個別の支援が重要であることが分かる。

図5 観点「思考・判断・表現」①における問題設定、学習計画に関わる達成度



## (2) 協同学習における話し合い活動の効果

「社会科における思考」することを社会的事象について「比較・関連付け・総合する」として実践してきた。p. 3～4の「各学年の学習過程の内容及び指導の留意点」

を基本に、学年の系統性を考慮し、ペア、グループでの話し合い活動による協同学習を取り入れ、子ども同士が考えを出し合いながら協同で問題に対して取り組んだり、互いに説明し合ったりすることにより、思考力や表現力が鍛えられることを期待した。そこでは、「友達はどのように考えているのか」や「友達が自分の考えをどう捉えているのか」という学び合いの中から考えは深められると思われる。

3年生は、ペアで相談した後、グループで話し合いや体験活動、分かったことのまとめを行い、グループ発表を通じて全体での共有化を図る取組を行った。

6年生「武士の世を安定させるのは誰だ！」では、グループでの伝え合いによる基礎的・基本的な内容の習得を行い、考えをまとめた上で、全体での意見交換を中心に行った。

6年生「明治の国づくりを進めた人々」では、気軽に相談タイムとしてペア学習を取り入れるとともに、グループ学習を「課題別」と「学び合い」という目的別で位置付けた。そして、考えをまとめた上で、全体での意見交換を行った。

このような「調べるⅠ」「調べるⅡ」「まとめる」段階での話し合い活動による学び合いは、子どもの思考活動にどのように影響したのかについて、意識調査や感想から見ると、以下のことが言える。

自分と友達の考えを比較、関連付け、総合させるために、まず「調べるⅠ」の段階において、考えの共通点や相違点を見いだすことができるかどうかが問題になる。図6の意識調査では、ほとんどの子どもが繰り返しの話し合いにより、考えの共通点や相違点を見いだしていることが分かる。そして、「調べるⅡ」で学習内容を理解し、考えを広げたり、深めたりしていく。図7の調査からは、話し合い活動による学び合いは学習内容の理解につながっていると言える。「よく分からなかったとき、グループやみんなで話し合ったとき、みんなが発表してくれたおかげでよく分かった」「友達の意見を聞くと、いろいろな視点で情報が入ってくる」「みんなやグループで話し合うといろいろな考えが浮かんでくる」「ペアで話し合うときいろいろ教えてもらった」などの感想から、知識の広がりや意見、考えの深まりを感じていることが分かる。一方で、「話し合いは好きではない」「友達の意見に左右されるからいやだ」という学び合いそのものを受け入れられない数名の子どもがいることも理解しながら、よりよい話し合いの在り方を探っていく必要があることも分かった。

図6 子どもに対する意識調査③「話し合い活動において友達との考えの共通点・相違点が分かったか」

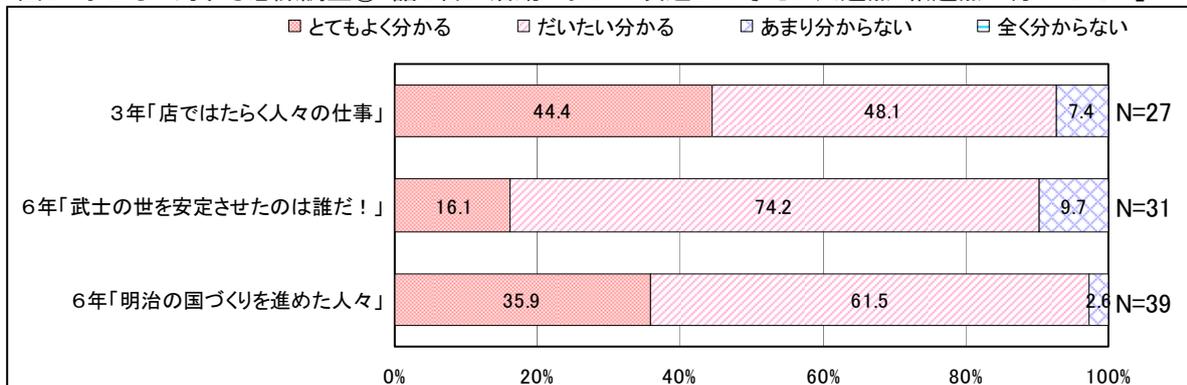
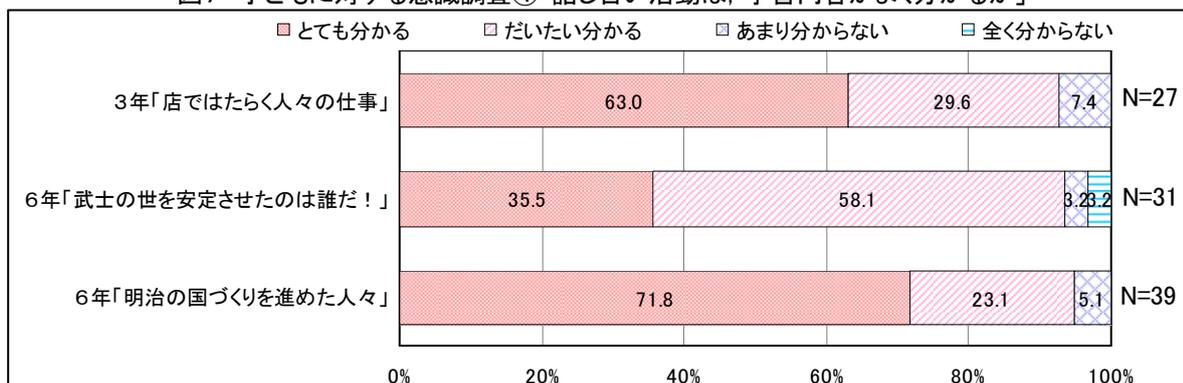


図7 子どもに対する意識調査④「話し合い活動は、学習内容がよく分かるか」



このように、ペアやグループでの意見交換から全体での練り合いを基本型として、対話のさせ方や練り合いにおける支援、思考を整理する板書などを通して思考活動を工夫してきた。最後に、「まとめる」段階では、「学習問題」に対する「まとめ」として最終的な自分の考えを文章で表現させた。その再構成した考えの記述内容について、観点「思考・判断・表現」②としてループリックを設定したパフォーマンス評価で行い、その達成度を示したものが図8である。ここでは、単元を貫く学習問題に対して、繰り返して行った学び合いの中で自分の考えを捉え直し、再構成させた考えを各実践の表現活動として適した方法で文章表現させたものを評価した。具体的には、3年生ではスーパーマーケット見学のお礼の手紙文で、6年生「武士の世の中を安定させたのは誰だ！」第2次では江戸時代の政策についての記述内容で、6年生「明治の国づくりを進めた人々」では話し合い後の捉え直した考えの記述内容から評価をした。ここで設定したループリック（西川端小 p.12, 知立西小 p.18, 城山小 p.14）は、学習問題を言語化してまとめることを目的とし、比較・関連付け・総合または双方向の立場で思考、判断した表現について、段階別に分けた達成度の基準で示したものである。

図8 まとめる段階における記述内容についての観点「思考・判断・表現」②の達成度

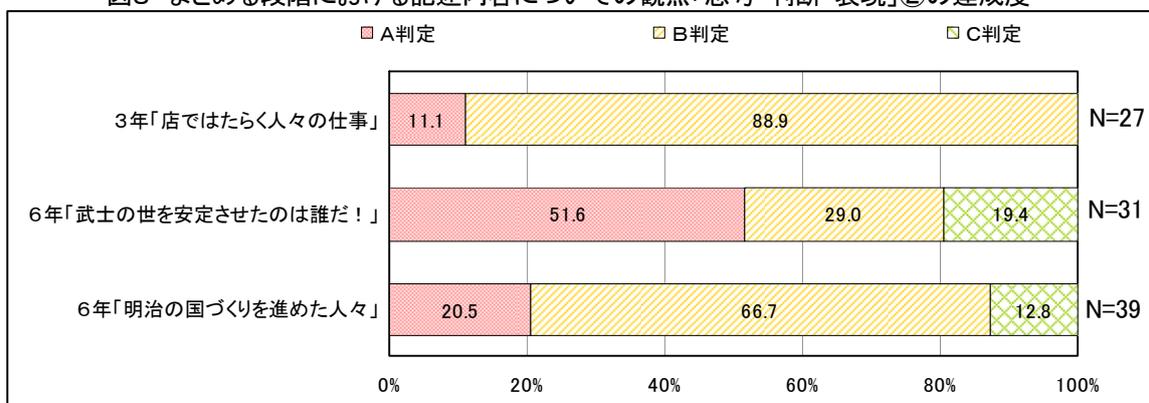


図8の結果から、協同学習による学び合いから自分の考えを捉え直し、表現することはおおむね達成していると言える。特に、3年生では、2度のスーパーマーケット見学による体験的な学習を基にした話し合い活動は、具体的に思考ができ、十分な練り合いを可能にした結果である。6年生でのC判定が目立つのは歴史学習という抽象的な内容について思考することによるものであると考えられる。抽象的な思考をするためには、知識の習得や理解が十分でなければならない。そのため、C判定の子どもには、興味・関心のある人物の業績や歴史的事象の確認を行って補充し、正しい概念を身に付けさせる繰り返しの学習が必要である。

(3) 思考を促すワークシートによる工夫の効果

「調べるⅠ」「調べるⅡ」「まとめる」段階では、学習に見通しをもちながら、調べたことや考えたことを記入できるワークシートを作成した。特に、知識として必要な言葉や調べ学習のポイントとなる項目をワークシートに入れ、学びの補助的役割を果たすようにするとともに、思考が確認できるように自分とは違う考えを整理する欄も設定した。

3年生の「店ではたらく人々の仕事」では、図

図9-1 思考を促すワークシート例(3年)

第2～4時  
 <お店ではたらく人びとのしごと> 3年 組 番 名前

1 どうしてスーパーAは多くの人たちが買い物に行くのかな。よそうしてみよう。  
 (とりのおだちとそうだんしてみよう) ※第2時でペアで考えを整理を書く。  
**学び方①予想 (ペア→グループ)**  
 (グループで考えてみよう) ※第2時でペアの考えを整理し、グループの考えを書く。

2 スーパーマーケットのひみつをさぐる。自分たちがよそうしたことの「しょうこ」を見つけられるといいですね。  
**学び方②見学の視点 (予想に対して)**

3 スーパーAは、ほかの店とどんなところがちがうのかな。お店を見ながら書いてみよう。 ※違いを整理させるから、お店の人の工夫に結び付けてさせる。  
**学び方③見学の視点 (他と比較して)**

9-1のようにスーパーマーケットの見学の視点を与えたり、協同学習がペアからグループへと広がるように話し合いの焦点化を図るヒントを与えたりして、学びの視点や手順を示す工夫をした。朱書きの部分は、教師が子どもにワークシートへの記入を促すポイントである。実際のワークシートには、記載されていない。

6年生「武士の世の中を安定させたのは誰だ！」では、図9-2のワークシートのように、学習の基礎となる用語や社会的事象を確認できるようにするとともに、それらを基に自分の考えを書く欄や話し合い活動後に捉え直した自分の考えを書く欄を設けた。その際、思考させる視点を示したり、協同学習の学びのヒントになるような資料を与えたりして工夫した。

このように、発達の段階に応じた問題追究のヒントや協同学習での学び方を示しながら自分の言葉で記入できるワークシートを工夫した。

図10は、学習に使ったワークシートによる知識の習得と理解について、子どもへ意識調査をした結果である。ワークシートの役立ち度を示している。子どもにとって、ワークシートは、新しい用語や社会的事象について知り、それらをつなげて理解できるものであったと言える。

また、子どもの感想からは、「学習を進めていくのに役立った」「調べたことをワークシートに書けばよく分かる」などの肯定的な意見が多かった。一方では、「いきなり理由も浮かばないから考えが書けない」という否定的な感想もあった。これは、調べて書くことに慣れていないということが理由の一つに考えられる。しかし、ワークシートには、協同学習後に捉え直した自分の考えを記述するようにしてきたので、子どもは友達の見聞き、自分の考えを修正したり、納得したりして書くことに抵抗が少なくなり、単元末には、ほとんどの子どもがB判定以上の記述ができるようになったことはp.12の図8の評価からも分かる。

図9-2 思考を促すワークシート例(6年)

学習問題「江戸幕府はどのようにして武士の世の中を安定させていったのだろうか。」  
～ 大名の支配について ～

**A 大名の配置** **学習の基礎の確認**

江戸の近くや重要な土地に配置  
( ) 大名・・・徳川氏一族の大名  
( ) 大名・・・関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従った大名

江戸から遠い地域に配置  
( ) 大名・・・関ヶ原の戦い以後に徳川氏に従った大名

①徳川家康や三代将軍の徳川家光は、大名の配置をどのように工夫したかを文章で説明しよう。

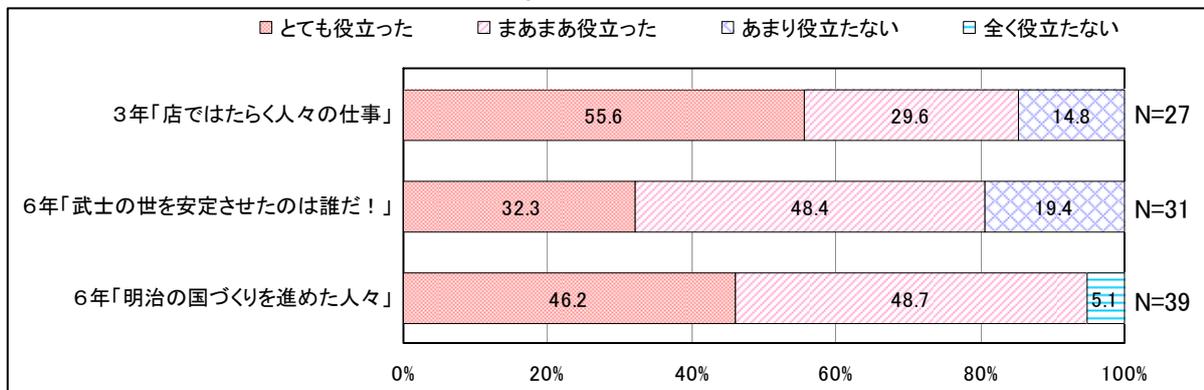
**捉え直した考えの欄**

**学びのヒント**

取りつぶされた大名の数 → → → 気がついたこと

大名	徳川家康	徳川秀忠	徳川家光	徳川家綱
取りつぶされた大名の数	91家	39家	40家	15家
残存	1家	21家	27家	16家

図10 子どもに対する意識調査⑤「ワークシートによる知識・理解への役立ち度」



以上のように、学習を見通せるワークシートを繰り返し使用し、自分の考えを自分の言葉でまとめることを目標にしてきた。それでも、自分の考えや意見がもてない子には、次のような助言をして考える視点を与えてきた。3年生では、「品物の並べ方はどうだったかな」「商品を買ってしまう工夫は

どんなことだったかな」など、体験活動を想起させるようにした。6年生「明治の国づくりを進めた人々」では、「国民の願いは税や兵をどうしたかったのか」「明治政府は税や兵をどうしたかったのか」など、立場を対立させて考えさせるようにして考え方を学ばせた。

一方、新しい用語の獲得については、発達の違いによるものが大きい。3年生では主に観察、見学、聞き取り等の体験や経験と連動して概念化を図ることが多いので、それらを記録できるようにワークシートを工夫できる。しかし、6年生では体験や経験が間接的であり、抽象的思考から言葉のもつ正しい概念を獲得する思考が求められる。したがって、ワークシートのみで新しい用語の獲得は困難であることも考えられ、分かりやすい読み物資料や動画等の活用も必要であることが分かった。

問題解決的な学習における4段階の学習過程の「気付く」段階では、子どもが主体的に学習に向かうような資料等との出会いから学習問題を見だし、「調べるⅠ」段階では、調査して分かったことから自分の考えをもち、友達の考えと比較または関連付けをする。そして、「調べるⅡ」段階では、さらにグループで考えや意見の追究をし、「まとめる」段階では、学級全体での交流から最終的な考えや意見を再構成する。このように、単元の導入の工夫、協同学習の形態の工夫に思考を促すためのワークシートの活用を連動させ、4段階の学習過程を展開してきた結果、子どもの学習状況から思考力・判断力・表現力は育成されたとと言える。したがって、仮説①は検証されたと考える。

#### (4) パフォーマンス評価による思考力・判断力・表現力の測定

1年次の研究では、観点「思考・判断・表現」の評価について、単元末の問題解決の記述による評価と単元終了1～2か月後のパフォーマンス課題による保持テストの評価を比較し、ほぼ同じ結果を得た。したがって、問題解決的な学習による単元中に育成された思考力・判断力・表現力は、単元終了後ある程度の日数が経過しても、それらの力は確実に生きて働いているということが分かった。

2年次は、さらに、単元中に育成された思考力・判断力・表現力は、単元終了後にどのように変容するのかに着目した。そこで、単元終了時の事後テストとその1～2か月後の保持テストを実施し、比較・分析をすることにした。

図 11 事後テストと保持テストの評価の比較

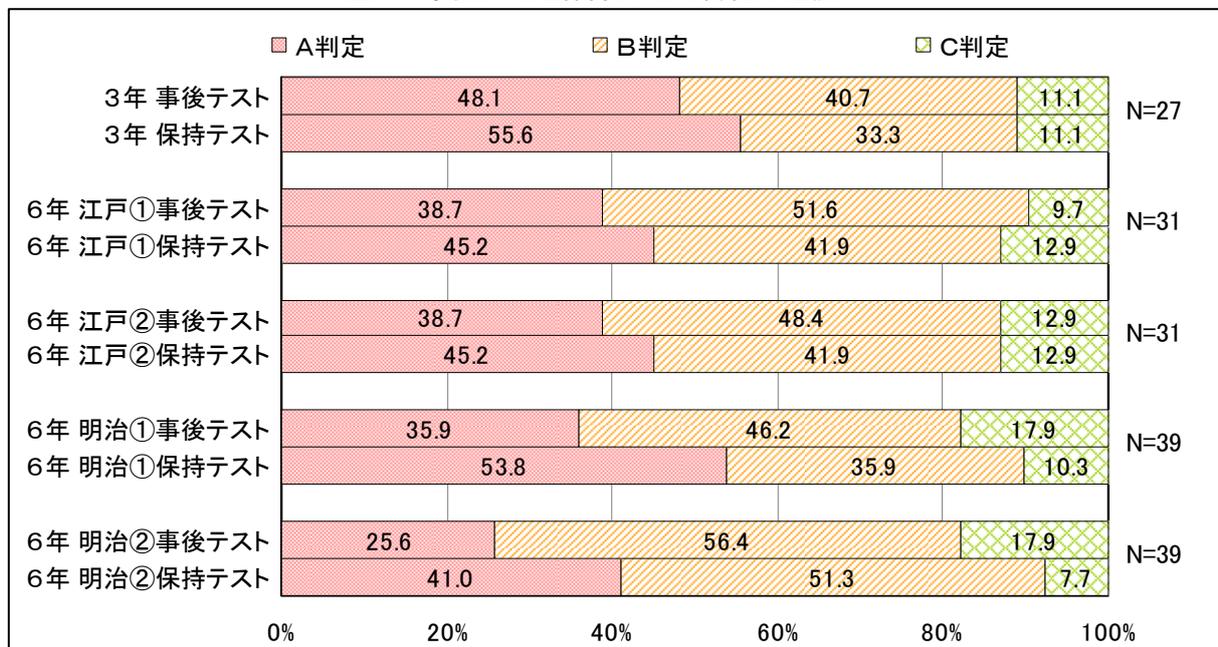


図 11 は、各実践の単元終了時の事後テストと1～2か月後の保持テストの結果の比較である。テストは、単元の中で学習した社会的事象や人物等について、用語を比較・関連・総合しながら概念化して文章表現できるように作問したものである。1年次には、設問中に使用させたい用語を提示しなかったが、2年次では、用語をいくつか提示し、社会的事象等を文章で表現させ、用語の使用数や論理の一貫性の正確さから思考力の育成を判断する手法をとった。ここでは、用語のもつ概念が正しく理

解された上で、いくつかの用語を結び付けて説明できることが、思考力・判断力・表現力であるとした。

また、事後テストと保持テストは同じ問題である。思考力・判断力・表現力がどの程度、育成されているのかを比較するために実施したものである。具体的なテストの設問とルーブリック、解答例は、各実践（西川端小 p. 12, 知立西小 p. 18, 城山小 p. 14）で示したとおりである。

図 11 より、単元終了時の事後テストとその 1～2 か月後の保持テストは、ほぼ同じ結果になっていることが分かる。ただし、6 年明治①と 6 年明治②では、それぞれ事後テスト後に解説を行い、その 1 か月後に保持テストを行った結果である。

つまり、あらかじめルーブリックを設定し、単元を問題解決的な学習で展開したことは、思考力・判断力・表現力の確実な育成につながるということが実証されたと言える。また、適切なルーブリックを設定したパフォーマンス評価は、客観性と信頼性の高い評価であるということも確認できた。したがって、仮説②は検証されたと言える。

## 7 研究の成果と課題

### (1) 研究の成果

1 年次及び 2 年次の研究の成果として、以下のようなことが言える。

- ① 各単元の各時間の学習問題において、問題解決的な学習の中で、考える視点や観点を与えることにより、各学習問題について多面的・総合的に捉えるようになった。

3 年生は消費者の立場と販売者の立場の両面から、6 年生では支配者（武士、政府など）の立場と被支配者（農民、国民など）の立場とそれぞれのメリットとデメリットの多様な利害関係から思考できるようになった。特に、6 年生では、同じパターンでの指導と学習の繰り返しにより、思考することが態度化されてきた。

- ② 協同学習により、話し合い活動のスキルが向上し、定着してきたことにより、考えを深め、問題を追究していくことができた。

ペア、グループ、一斉学習での話し合い活動は、学級の雰囲気は親和的になり、子ども相互の人間関係が深まり、少し分からないことを恥ずかしがらずに聞くことができた。また、そのスキルも向上することにつながった。話し合い活動はスキルの態度化を明確にした p. 7 の表 6 のような到達目標一覧表の作成とその活用が有効である。教師が絶えずこの一覧表を意識し、継続して指導を繰り返した成果である。

- ③ 事後テストと保持テストの結果より、社会的事象を正しく認識するための基礎となる用語を学ぶ資料やワークシート等は、思考力・判断力・表現力の育成に役に立った。特に、6 年生の歴史学習では、各時代の学習の仕方が繰り返し行われ、思考、判断する学び方やその追究方法の習得にもつながった。

思考力を伸ばすためには、用語の正しい理解と習得が前提となる。児童の意欲的な学習への取組には、用語の正しい概念の獲得が重要である。そのためには、教師の的確な用語の解説や身近な各種資料（資料集、歴史漫画、インターネット情報、DVD 等）や体験的活動が必要である。

- ④ 適切なルーブリックを作成し、実施したパフォーマンス評価は、客観性と信頼性の高い評価法であることが確認できた。

実践の前にルーブリックを作成しておくことは、どの授業者が判定しても主観的な判断の余白が極力排除され、客観性が担保される。また、事後テストと保持テストの結果にかなり相関が見られることから信頼性も保障される。

### (2) 課題

問題解決的な学習では、教師が発達段階に対応した思考のスキルを教示することで、子どもは考え方を身に付け、表現できるようになることが実践を通して分かった。

3～4年生の具体的操作の段階では、体験的活動（見学や観察など）を通じた思考は、かなり容易にできるが、6年生での歴史や公民は、間接的な体験学習と各種の資料等からの抽象的な思考が要求される。そのため、教師は以下のような指導の工夫が必要である。

① 用語の解説

興味をもたせる歴史上のエピソード、身近にある地域教材として旧跡や資料、施設等の話題を提供する。

② 結論を短い文で要約するスキルの習得

一斉学習での討論や話し合いなど後で、結論を短くまとめて文にし、歴史の必然性と因果関係が的確に把握できるようにする。

③ 話し合いの活動の点検

話し合い活動がどの程度定着したのかを定期的に点検し、日常の指導に生かす。

④ ルーブリックの事前提示

単元を通して目標を明確にするため、ルーブリックの各段階の達成度の目安を子どもに理解できる言葉に置き換えて、授業の際に明確に提示する。

⑤ 社会的事象への見方や考え方のいっそうの育成

思考力を高める方策としては、社会的事象のもつまざまな面を多様な角度から追究し、考察することが重要である。

問題解決的な学習は、子どもの思考力、判断力、表現力を高めるためには有効であることは言うまでもない。しかし、調べ学習や話し合い活動に時間がかかり、教師の準備等にも労力が必要である。見方や考え方を学ばせる範例学習としてどの単元で実施するのかを十分に年間計画を練って設定していきたい。

また、思考力の評価方法についても、思考力が本当に高まったのかどうかの判定は難しい。よりよい評価法について、今後も探していきたい。

【参考文献】

- ・『小学校学習指導要領解説社会編』文部科学省 平成20年8月
- ・『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料』【小学校 社会】  
文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成23年11月
- ・澤井陽介『初等教育資料』「社会科における指導力の向上と授業研究の充実」文部科学省  
平成23年8月号
- ・松下佳代『パフォーマンス評価 ― 子どもの思考と表現を評価する ―』日本標準 2007.12
- ・ダイアン・ハート著 田中耕治監訳『パフォーマンス評価入門「真正の評価」論からの提案』  
ミネルヴァ書房 2012.1